The essentials of imaging

bizhub 750/600

ユーザーズガイド［ネットワークファクス機能編］

もくじ

1 ご使用いただく前に
2 送信する
3 受信する
4 トラブル処置
5 仕様
6 便利な送信
7 便利な受信

8 登録／設定する

9 設定メニュー
10 レポート／リストの見かた
11 PageScope Web Connection
12 付録
13 索引

3
受信する
4
トラブル処置
5
仕様
6
便利な送信
7
便利な受信
8
登録／設定する
9
設定メニュー
10
レポート／リストの見かた
12
付録

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いを行った場合、死亡や重傷を負う可能性がある行為を示しています。ユーザーズガイド（コピー機能編）にまとめて記載されていますので、必ずご一読ください。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いを行った場合、軽傷や中程度の傷害および物的損傷を負う可能性がある行為を示しています。ユーザーズガイド（コピー機能編）にまとめて記載されていますので、必ずご一読ください。

はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドは、ネットワークファクス機能（インターネットファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクス）を使用するために必要な機械の操作方法および使用上の注意事項について記載しています。ぜひご一読ください。

最適な状態でインターネットファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクス機能をご使用いただくために、このユーザーズガイドをお読みになった後も、すぐに使用できる場所に保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「ユーザーズガイドコピー機能編『設置取扱い注意』」をお読みください。

■ 登録商標について

- KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、The essentials of imaging は、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。
- PageScope、bizhub は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat ロゴ、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。
- 本書に記載されているその他の会社名、商品名は、該当各社の登録商標です。

Copyright

(c)2006 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC., All Rights Reserved.

■ 免責

- 本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書を運用した結果の影響につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- このユーザーズガイドに記載されている情報は、予告なく変更される場合があります。

こんな機能があります

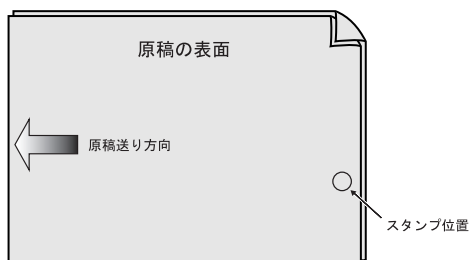
ネットワークファクス機能でできることを説明します。

それぞれの機能に、インターネットファクス、SIP ファクス、IP アドレスファクスが対応しているかどうかをアイコンで確認できます。

I-FAX	インターネットファクスに対応
SIP FAX	SIP ファクスに対応
IP FAX	IP アドレスファクスに対応

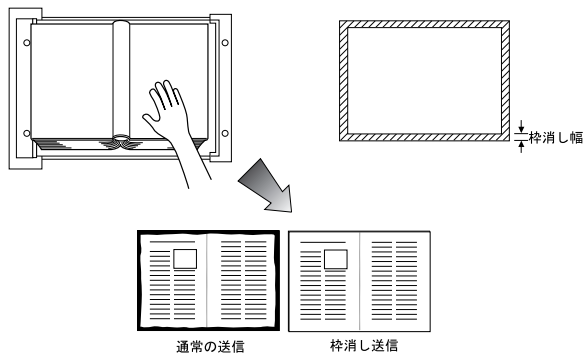
読み取ったことを確認する

I-FAX SIP FAX IP FAX

読み取った原稿に済みスタンプを押すことができます。

詳しくは、p. 6-23 をごらんください。

黒い影を消して送る

I-FAX SIP FAX IP FAX

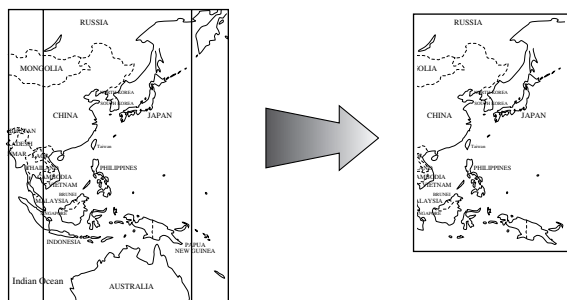
冊子になっている原稿を読み込むときなどに、上下左右に写る黒い影を消して送信できます。

詳しくは、p. 6-18 をごらんください。

原稿を読み込むサイズを指定して送る

I-FAX　SIP FAX　IP FAX

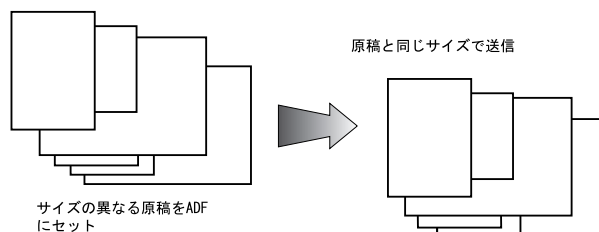
読み込むサイズを指定して送信できます。原稿の一部だけを送信したい場合に便利です。

参照

詳しくは、p. 6-25 をごらんください。

サイズの異なる原稿を一度の操作で送る

I-FAX　SIP FAX　IP FAX

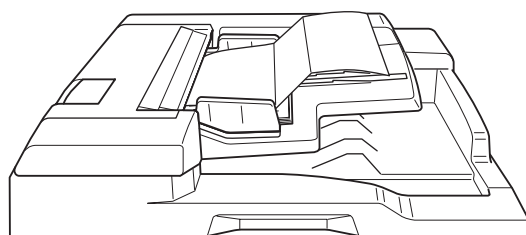
サイズの異なる原稿をセットし、それぞれの原稿サイズを正しく認識して送信できます。

参照

詳しくは、p. 6-7 をごらんください。

折り目のある原稿を送る

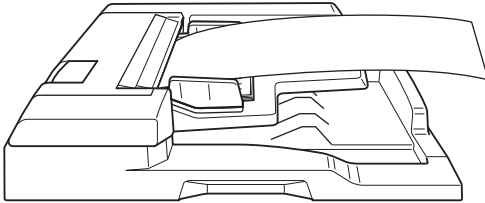
I-FAX　SIP FAX　IP FAX

折り目がついているために原稿サイズを正しく検知できない原稿を正しいサイズで送信できます。

参照

詳しくは、p. 6-9 をごらんください。

長い原稿を送る

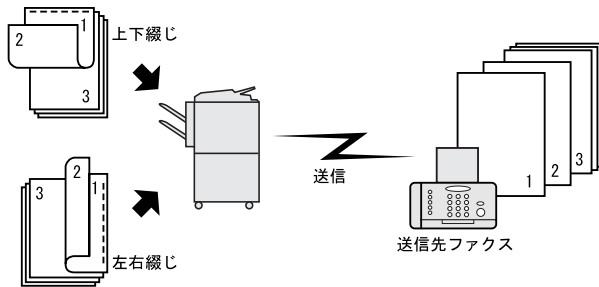
I-FAX SIP FAX IP FAX

432 mm より長い原稿を送信できます。

詳しくは、p. 6-12 をごらんください。

両面原稿の綴じ位置を指定する

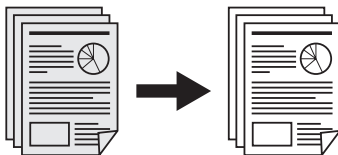
I-FAX SIP FAX IP FAX

原稿の綴じ位置を指定し、原稿の裏面の上下関係を補正して送信できます。

参照

詳しくは、p. 6-15 をごらんください。

背景色の濃度を調整して送る

I-FAX SIP FAX IP FAX

原稿の背景色の濃さを調整して送信できます。

詳しくは、p. 6-21 をごらんください。

受信文書のプリントを禁止する (強制メモリ受信)

I-FAX SIP FAX IP FAX

受信した文書をメモリに蓄積し、必要に応じてプリントすることができます。この機能を強制メモリ受信と呼びます。

詳しくは、p. 7-2 をごらんください。

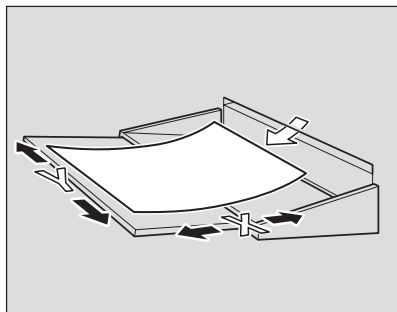
ページの見かた

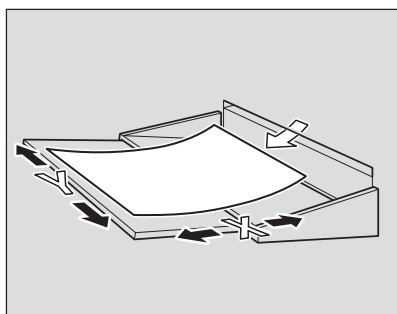
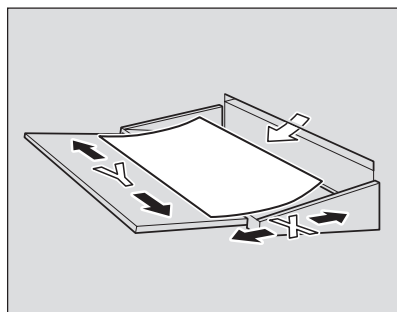
※このページは実際には存在しません。

原稿および用紙の呼び方と表示

本文中に出てくる原稿や用紙の呼び方と、その表示について説明します。

■ 幅と長さ

原稿／用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅と呼び、X 辺を長さと呼びます。

■ ▭ と ▯

幅 (Y) よりも長さ (X) のほうが大きいものを ▭ と表示します。

幅 (Y) よりも長さ (X) のほうが小さいものを ▯ と表示します。

マニュアル体系について

本機には、次のユーザーズガイドが用意されています。

■ ユーザーズガイド（コピー機能編）

基本操作、コピー機能の操作について記載しています。

- 設置・取扱の注意事項、電源の入れ方 / 切り方、用紙補給のしかた、紙づまりなどのトラブル対処のしかたなど、本機の操作に関する内容を知りたい場合はこのユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ネットワーク / スキャナ機能編）

標準装備のネットワーク機能の設定方法、スキャナ機能の操作について記載しています。

- ネットワーク機能、Scan to E-Mail、Scan to FTP、Scan to SMB の使い方を知りたい場合はこのユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ボックス機能編）

ボックス機能の操作について記載しています。

- ハードディスクを利用したボックス機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（拡大表示機能編）

コピー機能、ネットワーク／スキャナ機能、ファクシミリ機能の操作を拡大表示画面で行う方法について記載しています。

- 【拡大表示】を押したあとの操作方法を知りたい場合はこのユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（FK-502 ファクシミリ機能編）

ファクシミリの操作について記載しています。

- FAX キットを装着した場合のファクシミリ機能の使い方を知りたい場合はこのユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ネットワークファクス機能編）< 本書 >

ネットワークファクスの操作について記載しています。

- ネットワークファクス機能（インターネットファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクス）の使い方を知りたい場合はこのユーザーズガイドをごらんください。

■ IC-202 ユーザーズガイド / クイックガイド

オプションのイメージコントローラ IC-202 が装着されて使用できるプリンタ機能の操作について記載しています。

- プリンタ機能の使い方を知りたい場合は、IC-202 に付属の User Software CD-ROM 内にあるユーザーズガイド（PDF データ）またはクイックガイド（印刷物）をごらんください。

第 1 章
ご使用いただく前に

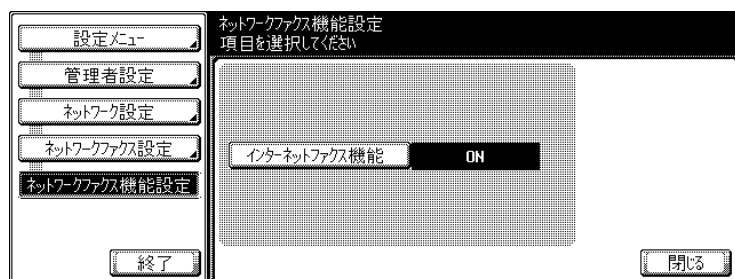
ご使用いただく前に知っておきたいことについて説明します。

1.1 ご注意（インターネットファクス）

■ 使用環境について

インターネットファクス機能を使用する場合は、サービス技術者による設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

インターネットファクス機能を使用することのできる環境は次のとおりです。

- 本機にオプションのハードディスクとイメージコントローラが装着されていること
- 本機がネットワークに接続され、電子メールの送受信ができるように設定されていること
- 【設定メニュー / カウンタ】の［管理者設定］-［ネットワーク設定］-［ネットワークファクス設定］-［ネットワークファクス機能設定］で、インターネットファクス機能が ON に設定されていること

■ 電子メールの送受信について

- ネットワークの状況などにより、送信文書（電子メールの添付ファイル）が破損する場合があります。送信文書が破損していないか、必ず確認してください。
- 送信結果画面（ジョブ確認＞ファクス送信＞履歴リスト＞通信リスト）や通信管理レポートの結果欄に [----] と表示されても、インターネット網の途中経路の問題により、受信側に電子メールが到着しない場合があります。送信結果画面や通信管理レポートに表示される [----] は、サーバまで正常に送信できたことを示すものです。受信確認（MDN）を受信すると送信結果画面や通信管理レポートの結果欄に [OK] が表示されます。重要な内容を送受信する場合は、受信確認（MDN）などによる確認をお願いします。

電源の OFF/ON を続けて繰り返すと故障の原因となります。
本機の電源を OFF にした場合は、5 秒以上待ってから ON してください。

1.2 ご注意（SIP ファクス /IP アドレスファクス）

SIP ファクス /IP アドレスファクス機能を使用する場合は、サービス技術者による設定が必要です。
詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

SIP ファクス /IP アドレスファクスを使用することのできる環境は次のとおりです。

- 本機にオプションのハードディスクと、イメージコントローラー、FAX キットが装着されていること（ただし、増設回線は使用できません）
- SIP ファクス機能を使用するには、SIP サーバと SIP-FAX アダプタが必要
- 【設定メニュー / カウンタ】の［管理者設定］-［ネットワーク設定］-［ネットワークファクス設定］-［ネットワークファクス機能設定］で、SIP ファクス機能または IP アドレスファクス機能が ON に設定されていること

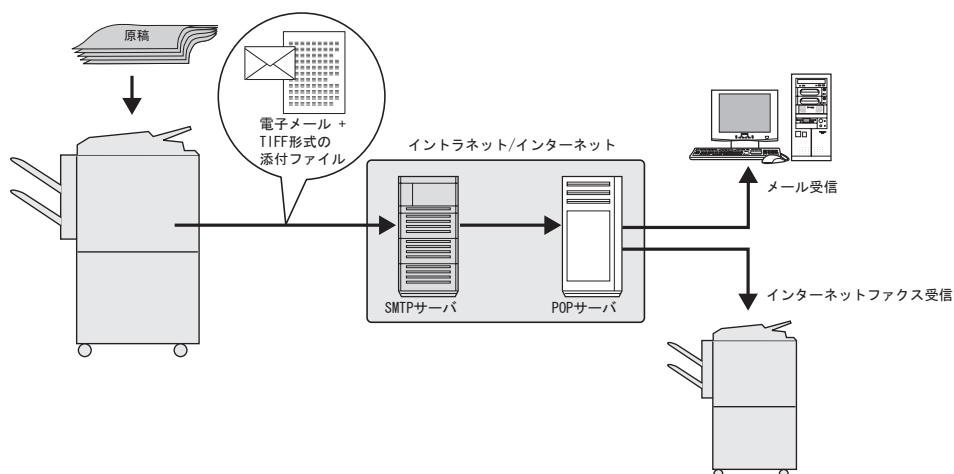
SIP ファクス /IP アドレスファクスは、弊社の対応機種間でのみ動作します。
対応機種以外での動作は保証できません。

電源の OFF/ON を続けて繰り返すと故障の原因となります。
本機の電源を OFF にした場合は、5 秒以上待ってから ON してください。

1.3 インターネットファクスの特長

インターネットファクスは、イントラネット (企業内ネットワーク) やインターネットを経由して、読み取った原稿を電子メールの添付ファイル (TIFF 形式) として送受信します。イントラネット / インターネット経由で通信するため、一般のファクス通信に比べて通信コストを大幅に削減できます。

原則

メールサーバが必要です。

- 相手先の電子メールアドレスを指定して送信します。
- メールサーバからメールを受信します。

1.4 SIP ファクスの特長

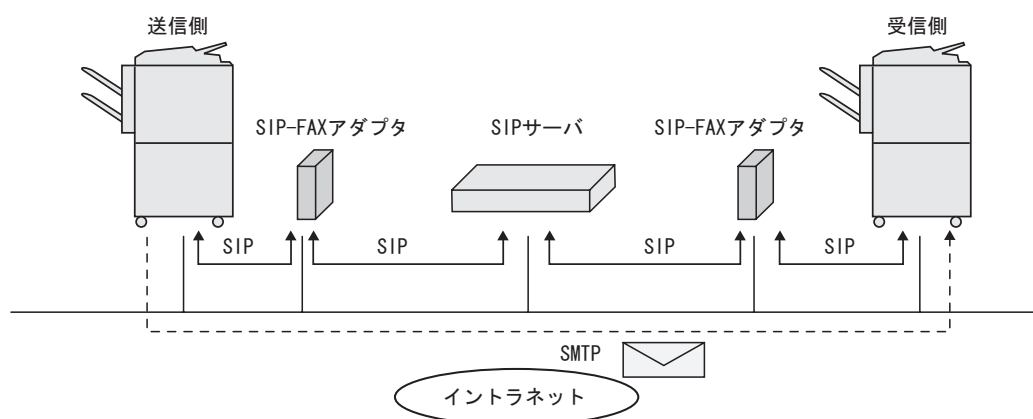
1

SIP ファクスとは、IP ネットワーク上で通信可能なファクスです。

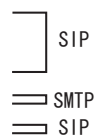
相手先の SIP ファクス番号を指定して送信します。

SIP ファクスでは、SIP(Session Initiation Protocol) を用いて相手先とセッションを確立し、ピアツーピア通信を行います。

原則

SIP ファクスを使用するには、SIP サーバ、SIP-FAX アダプタが必要です。
送受信プロトコルには SMTP を使用します。
イントラネット内でのみ使用可能です。
インターネットファクスのようにメールサーバは必要ありません。

送信の流れ

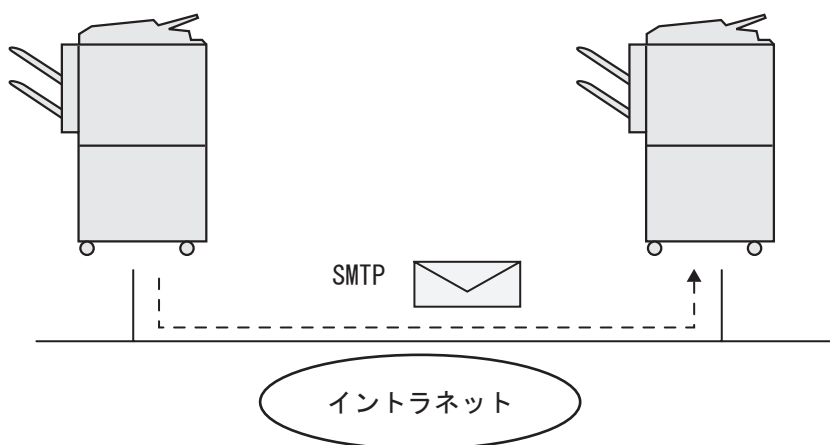
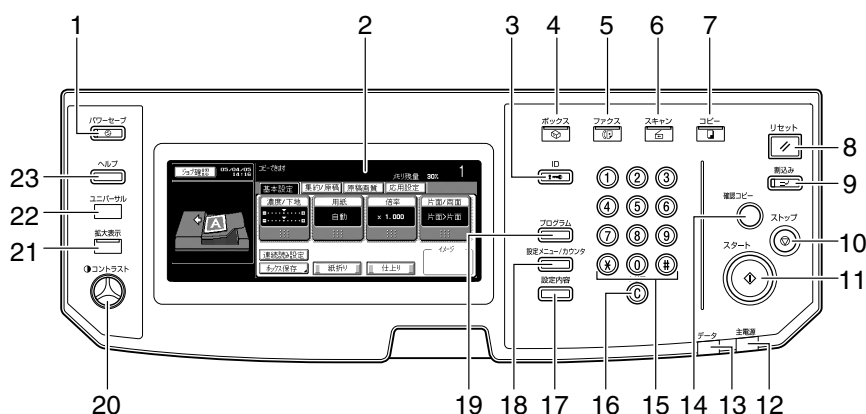
1. 相手先のSIPファクス番号を指定して送信指示する。
2. SIPサーバ/SIP-FAXアダプタを使用して、アドレス解決(ファクス番号→IPアドレス)と、相手先とのセッション確立を行う。
3. 文書を送信する。
4. セッションを切断する。

SIP
SMTP
SIP

1.5 IP アドレスファクスの特長

IP アドレスファクスとは、IP ネットワーク上で通信可能なファクスです。
相手先の IP アドレスまたはホスト名を指定して送信します。

原則

送受信プロトコルには SMTP を使用します。
イントラネット内でのみ使用可能です。
インターネットファクスのようにメールサーバは必要ありません。

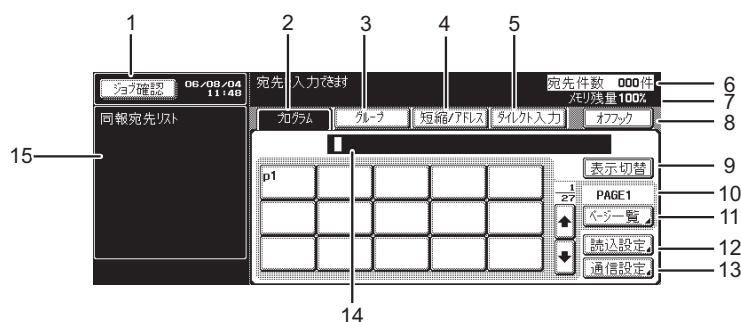
1.6 操作パネルの使いかた

■ 操作パネル

No.	名称	説明
1	【パワーセーブ】キー	パワーセーブ機能に切換わります。パワーセーブ機能中は【パワーセーブ】が緑色に点灯し、タッチパネルの表示が消えます。パワーセーブ機能中に【パワーセーブ】を押すとパワーセーブ機能は解除されます。
2	タッチパネル	各設定画面やメッセージが表示されます。 タッチパネルに直接タッチして各設定を行います。
3	【ID】キー	ユーザ認証および部門管理を設定している場合、ユーザ名とパスワード（ユーザ認証）、部門名とパスワード（部門管理）を入力したあとにこのキーを押すと本機が使用できるようになります。
4	【ボックス】キー	ボックス機能に切換わります。 ボックス機能中は【ボックス】が緑色に点灯します。 詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
5	【ファクス】キー	ファクス機能に切換わります。 ファクス機能中は【ファクス】が緑色に点灯します。
6	【スキャン】キー	スキャン機能に切換わります。スキャン機能中は【スキャン】が緑色に点灯します。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。
7	【コピー】キー	コピー機能に切換わります。（初期設定ではコピー機能が選択されています。）コピー機能中は【コピー】が緑色に点灯します。 詳しくは、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
8	【リセット】キー	操作パネル、またはタッチパネルで入力した全ての設定（登録した設定は除く）がリセットされます。
9	【割込み】キー	割込み機能に切換わります。割込み機能中は【割込み】が緑色に点灯し、タッチパネルに「割込み中です。」と表示されます。割込み機能中に【割込み】を押すと割込み機能は解除されます。

No.	名称	説明
10	【ストップ】キー	原稿の読込みを停止します。
11	【スタート】キー	各ボックス、ファクス、スキャン、コピーの選択されているモードの動作を開始するときに押します。ファクスモードが選択されているときは、ファクス通信を開始します。本機が動作を開始できる状態のときは、【スタート】が緑色に点灯します。【スタート】がオレンジ色に点灯しているときは動作を開始できません。
12	主電源ランプ	【主電源スイッチ】が ON のときに緑色に点灯します。
13	データランプ	ファクスの送受信時や、掲示板ボックス、ポーリング送信ボックス、強制メモリ受信ボックス、再送信ボックス内に文書が保存されているときに点灯します。
14	【確認コピー】キー	ファクス機能では使用しません。
15	テンキー	数字を入力します。電話番号や各種設定値の入力に使用します。
16	【クリア】キー	テンキーで入力した数値が取消されます。
17	【設定内容】キー	各設定の確認画面に切換わります。
18	【設定メニュー / カウンタ】キー	設定メニュー画面、セールスカウンタ画面に切換わります。
19	【プログラム】キー	ファクス機能では使用しません。
20	コントラスト調整ダイアル	タッチパネルのコントラストを調整します。
21	【拡大表示】キー	拡大表示画面に切換わります。
22	【ユニバーサル】キー	ユニバーサル機能の設定画面に切換わります。
23	【ヘルプ】キー	ヘルプ画面に切換わります。 本機機能の解説や操作方法を画面上に表示できます。

タッチパネルに強い力を加えると、タッチパネルに傷が付いて破損の原因となります。
タッチパネルを強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。
サービスコール画面（p. 4-11）が表示されコピーできなくなったときは、故障の原因になるおそれがありますので、トラブルコードを書き留め、直ちに本体電源プラグを抜いてサービス実施店にご連絡ください。そのとき、書き留めたトラブルコードをお知らせください。

1.7 ネットワークファクス機能で表示される画面

操作パネルのファクスボタンを押すと、ファクス画面が表示されます。

ファクス画面には、[プログラム]、[グループ]、[短縮 / アドレス]、[ダイレクト入力] が用意され、設定別に分けられています。

番号	名称	説明
1	ジョブ確認	実行待ちのジョブ、ジョブ履歴、エラージョブの一覧が表示されます。
2	プログラム	プログラム宛先選択画面が表示されます。
3	グループ	グループ宛先選択画面が表示されます。
4	短縮 / アドレス	短縮宛先選択画面が表示されます。
5	ダイレクト入力	トーンやポーズなどの特殊記号を使ってダイアルするための画面が表示されます。インターネットファクスを使う場合は、[I-Fax 送信] を押します。SIP ファクスを使う場合は、[SIP 送信] を押します。 IP アドレスファクスを使う場合は、[IP アドレス送信] を押します。
6	宛先件数	設定した送信先の件数が表示されます。
7	メモリ残量	作業中に使用するメモリの残量が表示されます。
8	オフフック	手動で送信 / 受信する場合に押します。 このキーを押すと、回線上の音がスピーカーから流れます。インターネットファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクスでは使用しません。
9	表示切替	表示切替 : 表示されている宛先の登録名と電話番号の表示を切り替えることができます。
10	ページ表示部	プログラム宛先のリストのページが表示されます。
11	ページ一覧	プログラム宛先のリストのページを指定できます。

番号	名称	説明
12	読込設定	原稿画質、解像度、応用設定など、原稿の読み込み方法を設定するメニューが表示されます。
13	通信設定	タイマー通信、ポーリング受信など、通信方法を設定するメニューが表示されます。インターネットファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクスでは使用しません。
14	宛先表示部	設定した宛先が表示されます。
15	サブエリア	右側で設定中の操作に応じた内容が表示されます。ファクスの操作では、各機能の説明や、送信先リストが表示されます。

1.8 はじめに設定してください

■ 設定が必要な項目（インターネットファクス）

本機の設置が終了したら、インターネットファクス機能を使うために、次の項目を設定します。これらの項目が正しく登録されていないと、ファクス通信できない場合があります。必ず登録してください。

- 管理者 / 本体登録
  - ❍ 本体アドレス登録
    E-mail アドレス
- ネットワーク設定
  - ❍ TCP/IP 設定
  - ❍ ネットワークファクス機能設定＞インターネットファクス機能（ON/OFF*）
  - ❍ E-Mail 設定
    E-mail 送信 (SMTP)
    E-mail 受信 (POP)
- ファクス設定
  - ❍ 発信元 / ファクス ID 登録
  - ❍ ネットワークファクス設定
    I-Fax 自機受信能力
    I-Fax 拡張設定
  - ❍ レポート出力設定
    NW ファクス受信エラーレポート (ON*/OFF)
    MDN メッセージ（印刷しない / 印刷する *）
    DSN メッセージ（印刷しない */ 印刷する）
    正常受信メール本文（印刷しない / 印刷する *）

インターネットファクス機能を使用する場合は、サービス技術者による設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

参 照

詳しくは、「第 9 章 設定メニュー」をごらんください。

ネットワークファクス設定は、ネットワーク設定の 2/2 画面に表示されます。

発信元名は、通常の G3 ファクスと共用です。

■ 設定が必要な項目（SIP ファクス）

SIP ファクス機能を使うために、本機で次の項目を設定します。

また、SIP-FAX アダプタの設定を行う必要があります。

本機の IP アドレス、本機との通信用ポート番号を、SIP-FAX アダプタに設定する必要があります。

詳しく説明します

SIP ファクス機能を使用する場合は、サービス技術者による設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

参照

- 詳しくは、「第 9 章 設定メニュー」をごらんください。
- SIP-FAX アダプタの設定については、SIP-FAX アダプタの取扱説明書をごらんください。

- 管理者 / 本体登録
  - ❍ 管理者登録

    E-mail アドレス
- ネットワーク設定
  - ❍ TCP/IP 設定
  - ❍ ネットワークファクス設定

    SMTP 送信設定（接続タイムアウト）

    SMTP 受信設定（SMTP 受信（使用する */ 使用しない）、接続タイムアウト）

    SIP ファクス使用時は、SMTP 送信設定 /SMTP 受信設定のポート番号設定は無効です。SIP ファクス使用時の SMTP ポート番号は 25 固定です。
  - ❍ ネットワークファクス機能設定＞ SIP ファクス機能 (ON/OFF*、IP アドレス (SIP-FAX アダプタの IP アドレス)、ポート番号 (SIP-FAX アダプタとの通信用ポート番号))
- ファクス設定
  - ❍ ネットワークファクス設定

    白黒 2 値圧縮方法 (MH*/MR/MMR)
  - ❍ レポート出力設定＞ NW ファクス受信エラーレポート (ON*/OFF)
  - ❍ 発信元名 / ファクス ID 登録

ネットワークファクス設定は、ネットワーク設定の 2/2 画面に表示されます。

- SIP ファクス機能は、IP アドレスファクス機能を ON にすると、自動的に OFF に設定されます。
- SIP ファクス機能設定の IP アドレス、ポート番号を変更した場合は、主電源の OFF/ON が必要になります。

発信元名 / ファクス ID は、通常の G3 ファクスと共用です。

＊はお買い上げ時の初期値です。

TCP/IP 設定、SIP-FAX アダプタの IP アドレスとポート番号については、SIP-FAX アダプタの設定と合わせる必要があります。設定を変更する場合は、本機と SIP-FAX アダプタ両方で変更する必要がありますのでご注意ください。

＜接続確認＞

設定完了後は、以下の手順で SIP-FAX アダプタとの接続確認を行います。

1. 【設定メニュー / カウンタ】を押し、管理者設定画面を表示します。
2. ［ファクス設定］、［ネットワークファクス設定］、［SIP アダプタ接続確認］の順に押します。
3. ［接続確認実行］を押します。

■ 設定が必要な項目（IP アドレスファクス）

- 管理者 / 本体登録
  - ❍ 管理者登録
    E-mail アドレス
- ネットワーク設定
  - ❍ TCP/IP 設定
  - ❍ ネットワークファクス設定＞ネットワークファクス機能設定＞ IP アドレスファクス機能 (ON/OFF*)
  - ❍ ネットワークファクス設定
    SMTP 送信設定 (ポート番号、接続タイムアウト)
    SMTP 受信設定 (SMTP 受信 (使用する */ 使用しない)、ポート番号、接続タイムアウト)
- ファクス設定
  - ❍ ネットワークファクス設定
    白黒 2 値圧縮方法 (MH*/MR/MMR)
  - ❍ レポート出力設定＞ NW ファクス受信エラーレポート（ON*/OFF）
  - ❍ 発信元名 / ファクス ID 登録

* はお買い上げ時の初期値です。

IP アドレスファクス機能を使用する場合は、サービス技術者による設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

詳しく説明します

- IP アドレスファクス機能は、SIP ファクス機能を ON にすると、自動的に OFF に設定されます。
- ネットワークファクス設定は、ネットワーク設定の 2/2 画面に表示されます。

発信元名 / ファクス ID は、通常の G3 ファクスと共用です。

1.9 ユーザ認証と部門認証について

本機を使用するときに、ユーザ名、部門名、パスワードを入力するように設定されている場合があります。表示された画面で、必要な情報を入力すると、通常の画面が表示されます。部門名やユーザ名は管理者に確認してください。

■ ユーザ認証が設定されている場合

■ 部門認証が設定されている場合

参照

ユーザ認証と部門認証について詳しくは、ユーザーズガイド（コピー機能編）をごらんください。

第 2 章
送信する

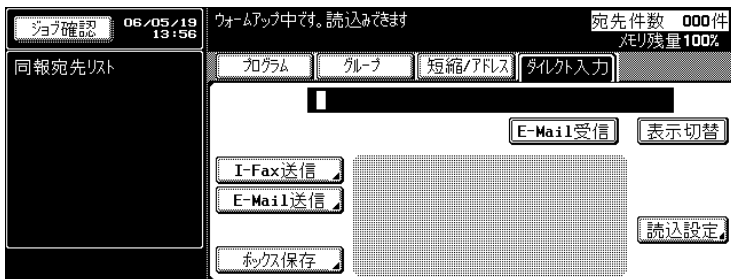
ネットワークファクス送信の操作について説明します。

2.1 操作のながれ（インターネットファクス）

インターネットファクス機能で電子メールを送るときの操作の流れを説明します。

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2. ［ダイレクト入力］を押して表示される画面で、［I-Fax送信］を押します。

   以下の方法でも宛先を指定できます。
   - プログラム
   - グループ
   - 短縮 / アドレス

3. 送信先のメールアドレスを入力します。

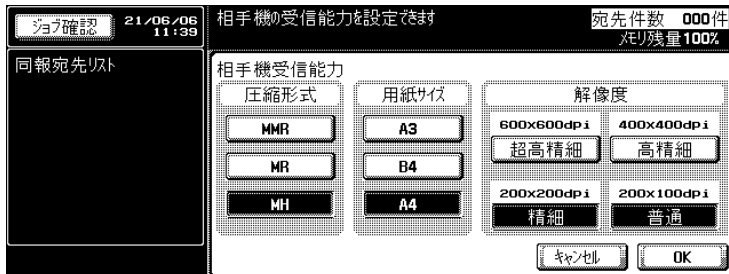
ここでは、片面の原稿を基本的な操作で送信する方法を説明します。本機には、さらに便利にファクス送信をするためのいろいろな機能が用意されています。詳しくは「第 6 章 便利な送信」をごらんください。

［相手機受信能力］を押して表示される画面で、相手先の受信能力にあわせ、圧縮形式、用紙サイズ、解像度を選択して［OK］を押します。

❍ 初期値は、次のように設定されています。

圧縮形式：　MH

用紙サイズ：　A4

解像度：　精細 / 普通

5

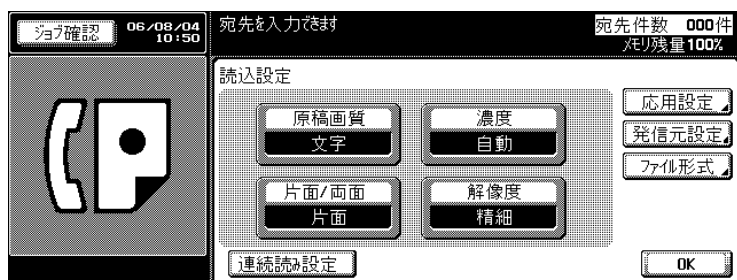
［OK］を押して、ダイレクト入力画面に戻ります。

入力したメールアドレスが、サブエリアの同報宛先リストに表示されます。

6

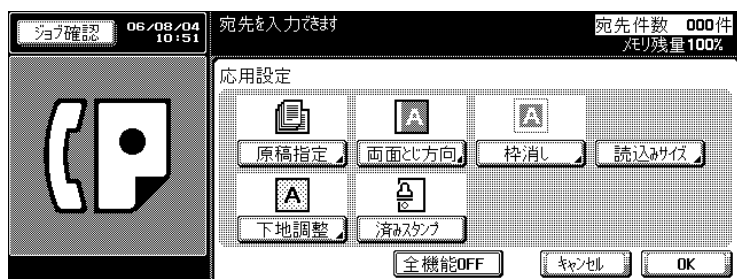
［読込設定］を押し、機能を設定し、［OK］を押します。

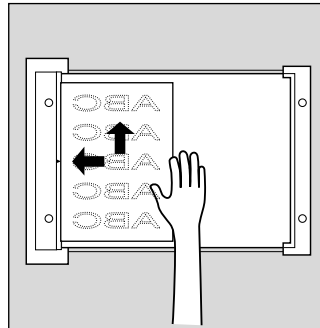
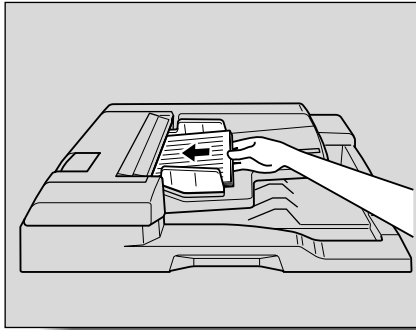
❍ お買い上げ時は、読込設定の機能は次のように設定されています。
［原稿画質］: 文字
［濃度］: 自動
［片面 / 両面］: 片面
［解像度］: 精細

参照

- 読込設定画面の原稿設定については、p. 2-16 をごらんください。
- 応用設定画面の詳細については、p. 6-2 をごらんください。

7 必要に応じて［応用設定］を押し、応用機能を設定し、［OK］を 2 回押します。

参照

応用設定画面の詳細については、p. 6-2 をごらんください。

原稿をセットします。

原稿セットについては、
p. 2-10 をごらんください。

9

操作パネルの【スタート】を押します。

原稿の読み込みが始まり、送信されます。

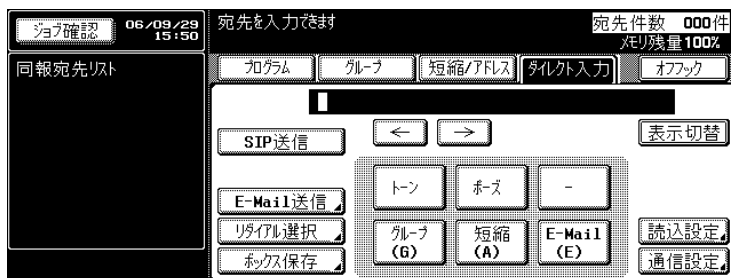
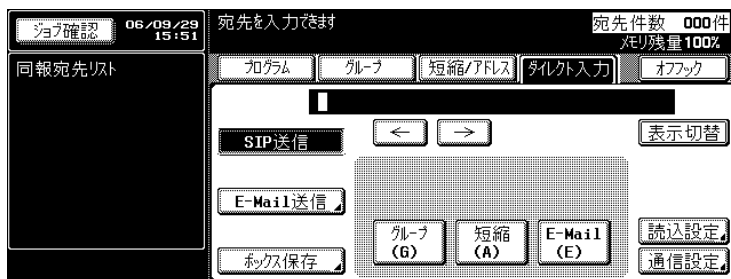
ネットワークの Email 送信 (SMTP 設定) で、SMTP サーバ容量が設定されている場合、設定されているサイズを超えると、エラーとなり送信できません。詳しくは、p. 9-30 をごらんください。

- 宛先確認表示機能が設定されている場合は、宛先確認一覧画面が表示されるので、宛先が正しいことを確認して［送信］を押します。詳しくは、p. 6-30 をごらんください。
- 送信を中止する場合は、【ストップ】を押します。
- 送信できない場合は、p. 4-2 をごらんください。
- 送信できなかった場合は、送信結果レポートが出力されます。詳しくは p. 9-53 をごらんください。（送信結果レポートをプリントするように設定している場合）

■ SIP ファクスの場合

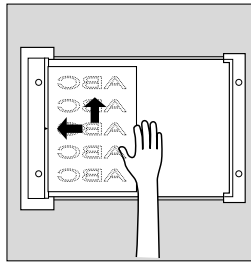
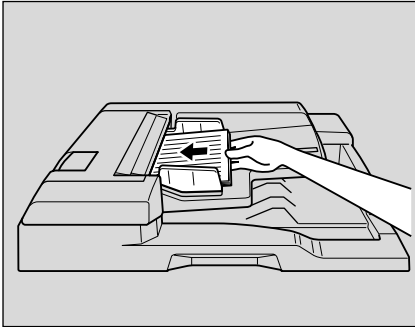
1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2. ［ダイレクト入力］を押して表示される画面で、［SIP 送信］を押します。

❍ 以下の方法でも宛先を指定できます。
- ❍ プログラム
- ❍ グループ
- ❍ 短縮 / アドレス

3. 相手のファクス番号を指定します。

4. ［読込設定］を押し、機能を設定して、［OK］を押します。

SIP ファクスの電話番号と、通常のファクスの電話番号は異なります。お間違えのないようにご入力ください。

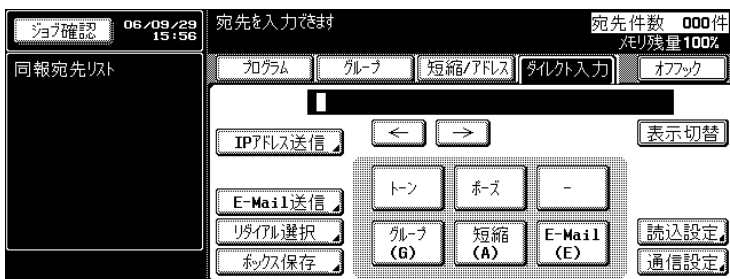
原稿をセットします。

6

操作パネルの【スタート】を押します。

2.3 操作のながれ（IP アドレスファクス）

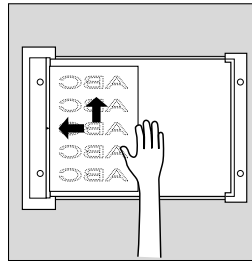
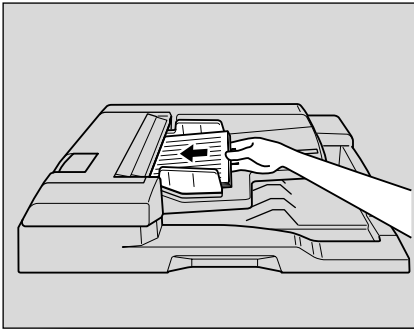
1 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2 ［ダイレクト入力］を押して表示される画面で、［IP アドレス送信］を押します。

- 以下の方法でも宛先を指定できます。
  - プログラム
  - グループ
  - 短縮 / アドレス

3 相手の IP アドレスまたはホスト名を指定します。

4 ［読込設定］を押し、機能を設定して、［OK］を押します。

原稿をセットします。

6

操作パネルの【スタート】を押します。

2.4 原稿をセットする

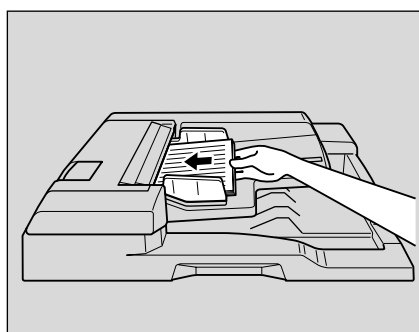
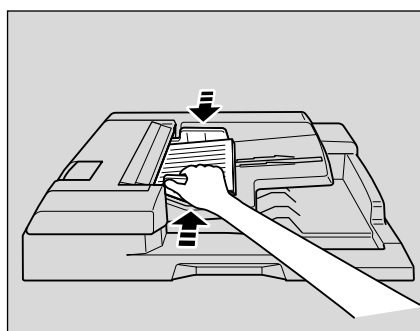
本機では、ADF と原稿ガラスに原稿をセットできます。ADF に原稿をセットすると、自動的に ADF から読み込まれます。

■ ADF に原稿をセットする

ADF を使用すると、複数枚の原稿を自動的に読み込むことができます。また、両面原稿を送信することもできます。

1 ADF を閉じます。

2 1 ページ目から順に原稿を揃えます。

3 送信する面を上にして ADF に原稿を置きます。

正しく送信元情報を記録するためには、原稿の先端を ADF に挿入します。

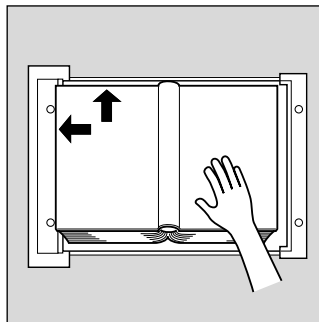
4 原稿ガイド板を原稿に沿わせます。

混載原稿の場合、原稿ガイド板を原稿の最大幅にして、原稿を奥側に突き当てます。

■ 原稿ガラスに原稿をセットする

原稿ガラスを使用すると、ADF にセットできない原稿（本などのように厚みのある原稿や薄い原稿など）を送信することができます。

ADF を開きます。

送信する面を下に向け、左側のスケール板に合わせて原稿を左奥側に突き当てます。

3

ADF を静かに閉じます。

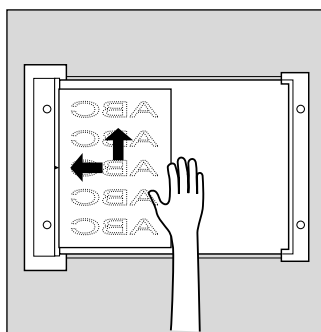
■ 原稿ガラスで複数枚の原稿を送るには

ADF で送ることのできない複数枚の原稿を、原稿ガラスを使って送信することができます。

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2. 宛先を指定します。

3. 必要に応じて機能を設定します。

4. 原稿ガラスに原稿をセットし、［読込設定］、［連続読み設定］、［OK］の順に押し、【スタート】を押します。

5. 原稿ガラスに続きの原稿をセットし、【スタート】を押します。

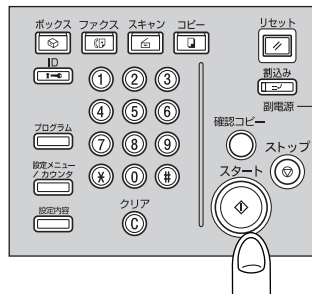
   ❍ この操作を送信したい原稿すべてを読み込むまで繰り返します。

   読み込んだ原稿がメモリに蓄積されます。

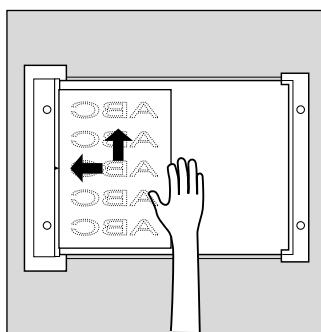
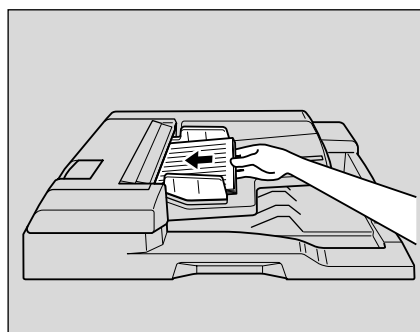
6. ［読込み終了］を押します。

   原稿読込モードが解除されます。

7 【スタート】を押します。

送信が開始されます。

■ ADF/ 原稿ガラスの両方を使って原稿を送るには

ADF と原稿ガラスの両方を使って原稿を読み込んだり、大量の原稿を何回かに分けて ADF にセットして読み込むことができます。

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。
2. 宛先を指定します。
3. 必要に応じて機能を設定します。
4. ADF、または原稿ガラスに原稿をセットし、[読込設定]、[連続読み設定]、[OK] の順に押し、【スタート】を押します。

詳しく説明します

- 原稿ガラスと ADF では、ADF が優先されます。
- 原稿セットについては、p. 2-10 をごらんください。

5 ADF、または原稿ガラスに続きの原稿をセットし、【スタート】を押します。

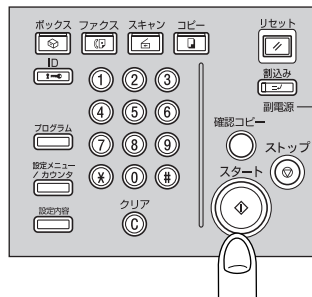
❍ この操作を送信したい原稿すべてを読み込むまで繰り返します。

読み込んだ原稿がメモリに蓄積されます。

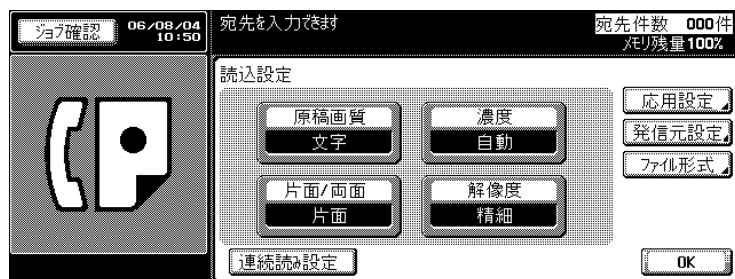
6 ［読込み終了］を押します。

原稿読込モードが解除されます。

7 【スタート】を押します。

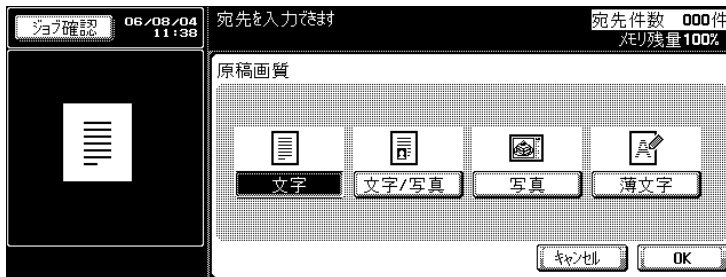
送信が開始されます。

2.5 送信条件を設定する

ファクス画面の［読込設定］を押すと、［原稿画質］、［濃度］、［片面 / 両面］、［解像度］が表示され、送信する原稿に合わせて送信条件を設定できます。

1 ファクス画面の［読込設定］を押します。

2 設定したいキーを押します。

ページ単位で送信条件を設定することはできません。

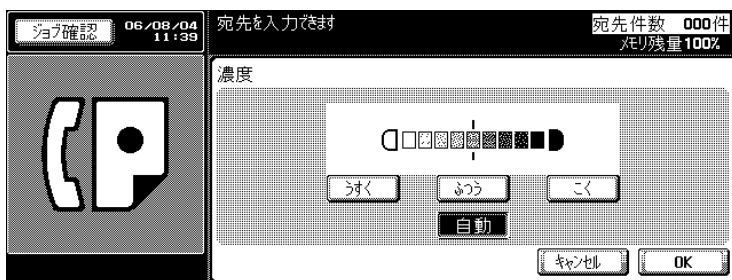
■ 原稿画質

原稿の内容に応じて原稿画質を設定します。

原稿画質には、次の 4 種類があります。

お買い上げ時は、［文字］に設定されています。

- ［文字］:
  文字だけの原稿を読込む場合に押します。このモードを選択して写真原稿を読込むと、写真の中間色が再現されず、黒くなります。
- ［文字 / 写真］:
  文字と写真（ハーフトーン）が混ざった原稿を読込む場合に押します。1 ページ中に文字と写真が混ざっているとき、文書の中に文字のページと写真のページが混ざっているとき、どちらのときもこのモードを選択します。
- ［写真］:
  写真（ハーフトーン）だけの原稿を読込む場合に押します。
- ［薄文字］:
  鉛筆書きなど、薄く書かれた文字の原稿を読込む場合に押します。

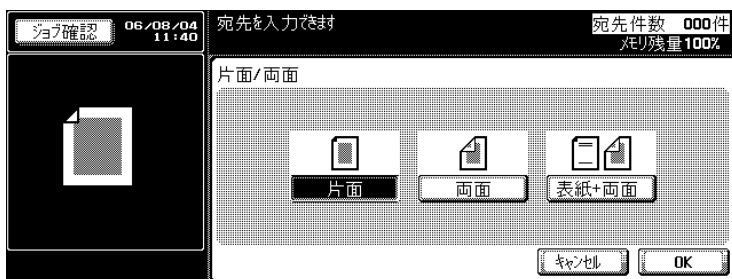
■ 濃度

原稿の濃度に応じて濃度を設定します。

濃度は 9 段階に設定できます。

お買い上げ時は［自動］に設定されています。

- ［うすく］:
  うすく読込みたい場合に押します。
- ［ふつう］:
  ［こく］と［うすく］の中間で読み込みたい場合に使用します。
- ［こく］:
  こく読込みたい場合に押します。

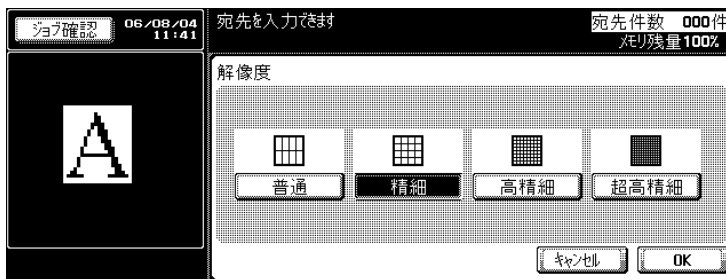
■ 片面 / 両面

原稿の状態に応じて ADF での読込み方法を設定します。

読込み方法には、次の 3 種類があります。

お買い上げ時は、［片面］に設定されています。

- ［片面］: 片面原稿を読込む場合に押します。
- ［両面］: 両面原稿を読込む場合に押します。
- ［表紙 + 両面］: 表紙と両面原稿を読込む場合に押します。

■ 解像度

原稿を読込む細かさを設定します。

解像度には、次の 4 種類があります。
お買い上げ時には、[精細] に設定されています。

- [普通]：
  送信時間を短くしたい場合に押します。
- [精細]：
  通常の原稿を読込む場合に押します。
- [高精細]：
  小さな文字や図などがある原稿を読込む場合に押します。
- [超高精細]：
  精細な図面や文字などがある特に細かい原稿を読込む場合に押します。

より精細に読み込むほど、送信する情報量が増え、通信時間が長くなります。

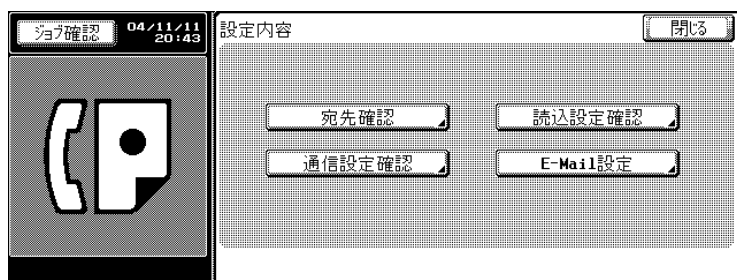
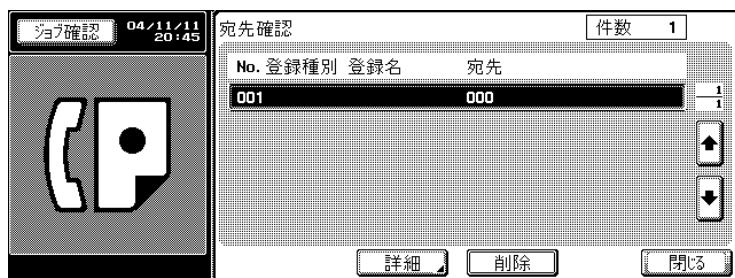
■ 設定状態を確認する

操作パネルの設定内容ボタンを使い、機能の設定状態や宛先を確認できます。

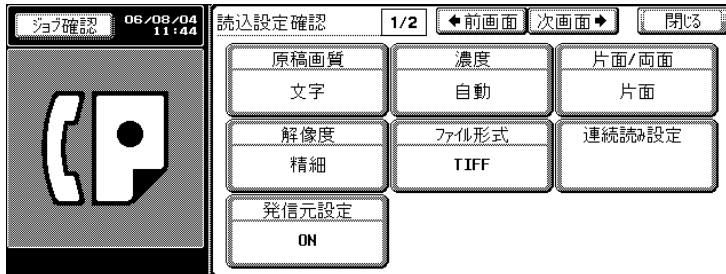
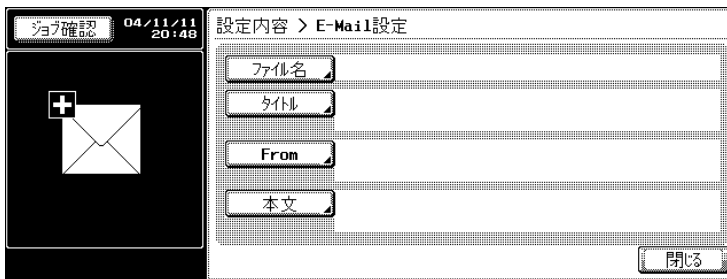
1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2. 操作パネルの【設定内容】を押します。

3. 確認したい設定内容のキーを押します。

SIP ファクス /IP アドレスファクスでは、［通信設定］、［E-mail 設定］は使用しません。

4. 確認したい項目を押し、設定内容を確認します。

   • 宛先確認
   宛先を確認できます。

［詳細］を押して表示される画面で、［宛先］を押すと、ダイレクト入力の宛先を変更することができます。

- 読込設定確認
  読込設定の確認ができます。画面上の各設定を押すと、対応する読込設定画面が表示され、設定を変更できます。

- E-Mail 設定
  インターネットファクスの場合は、タイトルと本文を変更できます。SIP ファクス /IP アドレスファクスの場合は、E-mail 設定は使用されません。

5 確認が終了したら、[閉じる] を 2 回押します。

ファクス画面に戻ります。

読込設定画面について詳しくは、「読込設定と応用設定の機能一覧」(p. 6-4) をごらんください。

次の画面を表示したい場合は [次画面→]、前の画面を表示したい場合は [←前画面] を押します。

インターネットファクスの場合、From(送信者のメールアドレス) には本体 E-mail アドレスが使用されます。変更はできません。

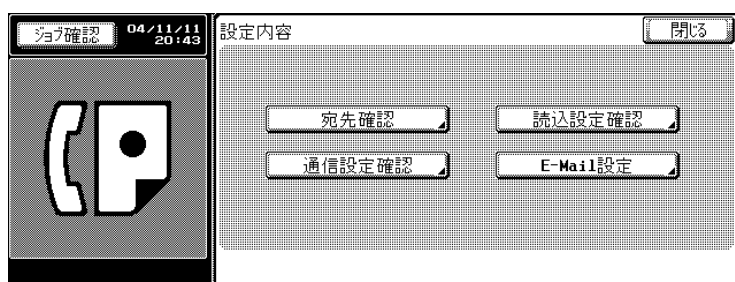
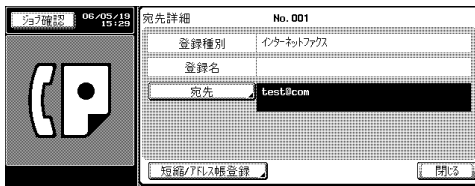
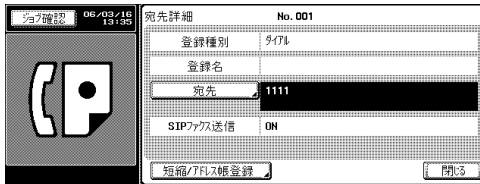
参照

- 本体 E-mail アドレスについては、p. 9-27 をごらんください。
- 本文、タイトルの初期設定値について詳しくは、p. 8-21、p. 8-27 をごらんください。

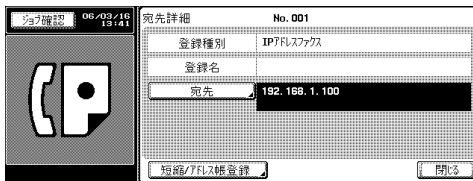
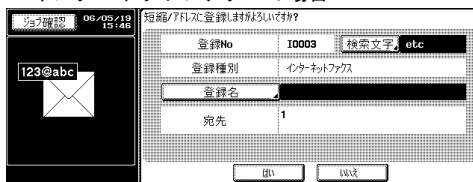
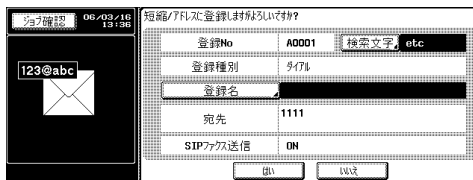
読込設定、通信設定を変更した場合は、読込設定画面、通信設定画面へ移動します。設定内容画面には戻りません。

■ 宛先確認画面から短縮宛先を登録するには

宛先確認画面で表示される送信先を［短縮 / アドレス帳］に登録することができます。

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。
2. 操作パネルの【設定内容】を押します。
3. ［宛先確認］を押します。

4. ［短縮 / アドレス帳］に登録したい送信先を選択して、［詳細］を押します。

[短縮 / アドレス帳登録] を押します。

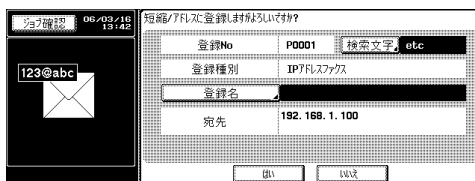
インターネットファクスの場合

SIP ファクスの場合

IP アドレスファクスの場合

6

[検索文字] を押し、検索文字を設定して、[OK] を押します。

インターネットファクスの場合

SIP ファクスの場合

IP アドレスファクスの場合

- 送信先がすでに登録済みの場合は、[短縮 / アドレス帳登録] は表示されません。
- ボックスを宛先にした場合は、[通知先指定] が表示されます。[通知先指定] にメールアドレスを入力しておくと、ジョブ終了後に、ジョブ終了を知らせる E-Mail を送信させることができます。
- 宛先を変更できるのは、ダイレクト入力で指定した宛先のみです。

7 ［登録名］を押して登録名を入力し、［OK］を押します。

8 登録内容に問題がなければ、［はい］を押します。

9 ［閉じる］を 3 回押して、ファクス画面に戻ります。

選択した送信先が［短縮宛先］に登録されます。

登録を中止する場合は、［いいえ］を押します。

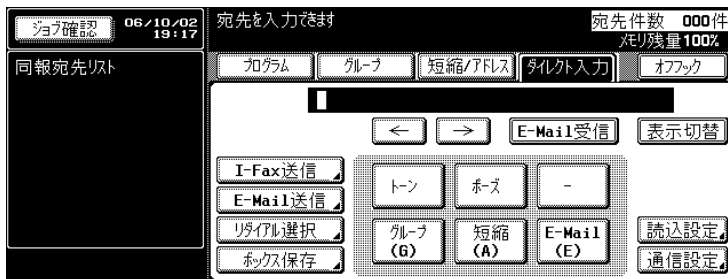
■ メールアドレスを１か所だけ指定する（インターネットファクス）

インターネットファクスで宛先を１か所だけ指定する方法には、次の方法があります。

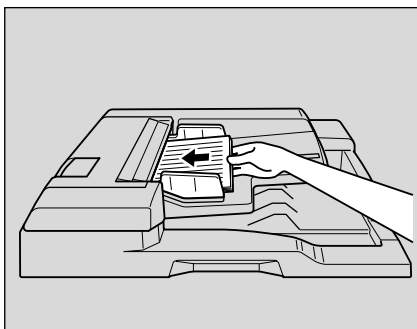
- メールアドレスを直接入力する
- プログラムを使う
- 短縮 / アドレスを使う

●メールアドレスを直接入力する

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を示します。

2. ［ダイレクト入力］を押して表示される画面で、［I-Fax送信］を押します。

3. 送信先のメールアドレスを入力し、［OK］を押します。

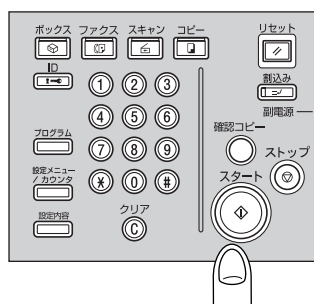
入力したメールアドレスが、サブエリアの同報宛先リストに表示されます。

原稿をセットします。

原稿セットについては、
p. 2-10 をごらんください。

5

【スタート】を押します。

送信が開始されます。

2

プログラムを使う

プログラムに宛先が登録されている場合は、［プログラム］を押すと選択できます。

1. ファクス画面の［プログラム］を押します。

2. 使用したいプログラムのキーを押します。

   指定したプログラム宛先が、サブエリアの同報送信先リストに表示されます。

3. 【スタート】を押します。

   送信が開始されます。

プログラム宛先を 1 件指定できます。

次の画面または前の画面を表示したい場合は、↑ または ↓ を押します。

●短縮 / アドレスを使う

短縮宛先が登録されている場合は、登録されている検索文字から検索して選択できます。

1 ファクス画面の［短縮 / アドレス］を押します。

2 検索したい検索文字の検索キーを押します。

3 送信したい宛先のキーを押します。

指定した短縮宛先が、サブエリアの同報送信先リストに表示されます。

- ［表示切替］を押すと、ファクス番号と登録名の表示を切替えることができます。
- 複数の短縮宛先を指定できます。
- 検索は先頭一致で行われます。

キーの前に表示されているアルファベットは、短縮宛先に登録された次の内容を表します。

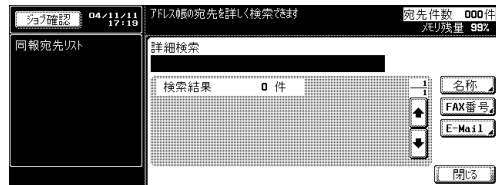
A　ダイアル宛先
B　ボックス宛先
E　E-Mail 宛先
I　インターネットファクス宛先
P　IP アドレスファクス宛先

❍［詳細検索］で検索するには

1 ［詳細検索］を押します。

2 ［名称］、［ファクス番号］、または［E-Mail］を押して、検索したい内容を入力します。

3 ［OK］を押します。

検索結果が表示されます。

4 【スタート】を押します。

送信が開始されます。

■ 宛先を1か所だけ指定する（SIP ファクス /IP アドレスファクス）

SIP ファクス /IP アドレスファクスで宛先を 1 か所だけ指定する方法には、次の方法があります。

- プログラムを使う
- 短縮 / アドレスを使う
- ダイレクト入力を使う

●プログラムを使う

プログラムに宛先が登録されている場合は、［プログラム］を押すとダイアルできます。

プログラム宛先を 1 件指定できます。

1 ファクス画面の［プログラム］を押します。

2 使用したいプログラムのキーを押します。

指定したプログラム宛先が、サブエリアの同報送信先リストに表示されます。

次の画面または前の画面を表示したい場合は、▲ または ▼ を押します。

3 【スタート】を押します。

送信が開始されます。

●短縮 / アドレスを使う

短縮宛先が登録されている場合は、登録されている検索文字から検索してダイアルできます。

1 ファクス画面の［短縮 / アドレス］を押します。

2 検索したい検索文字の検索キーを押します。

❍［詳細検索］で検索するには

1 ［詳細検索］を押します。
2 ［名称］、［ファクス番号］、または［E-Mail］を押して、検索したい内容を入力します。
3 ［OK］を押します。
検索結果が表示されます。

3 送信したい宛先のキーを押します。

指定した短縮宛先が、サブエリアの同報送信先リストに表示されます。

- 複数の短縮宛先を指定できます。
- 検索は先頭一致で行われます。

キーの前に表示されているアルファベットは、短縮宛先に登録された次の内容を表します。

A　ダイアル宛先
B　ボックス宛先
E　E-Mail 宛先
I　インターネットファクス宛先
P　IP アドレスファクス宛先

【スタート】を押します。

送信が開始されます。

●ダイレクト入力を使う

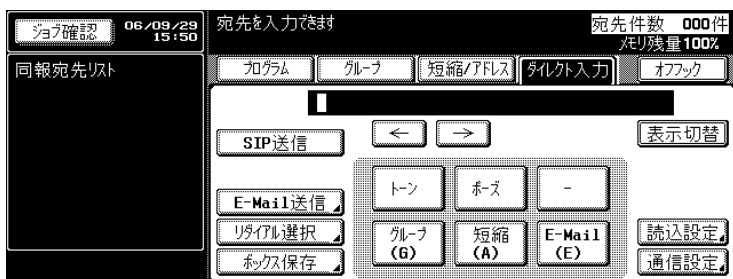
SIP ファクス /IP アドレスファクスの宛先をダイレクト入力することができます。

原則

SIP ファクス /IP アドレスファクス機能を使用するには、設定メニュー画面の［ネットワークファクス機能設定］で、［SIP ファクス機能］または［IP アドレスファクス機能］を ON に設定する必要があります。詳しくは、p. 9-34 をごらんください。

ファクス画面の［ダイレクト入力］を押します。

2 宛先を指定します。

- SIP ファクスの場合は、［SIP 送信］を押し、相手先のファクス番号を設定します。

設定メニューの［セキュリティ設定］にある［手動宛先入力］を禁止にすると、［ダイレクト入力］が表示されません。［手動宛先入力］の設定については、管理者にお問い合わせください。

SIP ファクスの電話番号と、通常のファクスの電話番号は異なります。お間違えのないようにご入力ください。

❍ IP アドレスファクスの場合は、[IP アドレス送信] を押し、相手先の IP アドレスまたはホスト名を設定します。

[短縮]
テンキーで短縮 No.（0001 ～ 2000 までの 2,000 種）を入力し、短縮宛先で登録した宛先を指定します。
画面には「A0001:FAX1」のように、A 短縮番号：宛先名の形式で表示されます。

[グループ]
テンキーでグループ No.（01 ～ 99、00 までの 100 グループ）を入力し、グループ宛先で登録した宛先を指定します。
画面には「G01:FAX1」のように、G グループ No.：宛先名の形式で表示されます。

3 【スタート】を押します。

送信が開始されます。

- 短縮宛先の登録については、p. 8-3 をごらんください。
- グループ宛先の登録については、p. 8-9 をごらんください。

■ 複数の宛先を指定する（同報送信）

一度の操作で複数の宛先に原稿を送信することができます。この機能を同報送信と呼びます。

インターネットファクスのみの同報送信	短縮 500 件、ダイレクト入力 5 件の計 505 件。圧縮形式、用紙サイズ、解像度は最低能力固定 (MH/A4/精細または普通) で送信。
インターネットファクス /G3 ファクスの混在同報送信	短縮 500 件、ダイレクト入力 105 件 (インターネットファクス宛先 5 件、G3 ファクス宛先 100 件) の計 605 件。インターネット宛先については、圧縮形式、用紙サイズ、解像度は最低能力固定 (MH/A4/ 精細または普通) で送信。
SIP ファクスのみの同報送信	短縮 500 件、ダイレクト入力 100 件の計 600 件。
IP アドレスファクスのみの同報送信	短縮 500 件、ダイレクト入力 5 件の計 505 件。
SIP ファクス /G3 ファクスの混在同報送信	短縮 500 件、ダイレクト入力 100 件の計 600 件。
IP アドレスファクス /G3 ファクスの混在同報送信	短縮 500 件、ダイレクト入力 105 件 (IP アドレスファクス宛先 5 件、G3 ファクス宛先 100 件) の計 605 件。
インターネットファクス /SIP ファクス /G3 ファクスの混在同報の場合	短縮 500 件、ダイレクト入力 105 件 (SIP ファクス / G3 ファクス宛先 100 件、インターネットファクス宛先 5 件) の計 605 件。
インターネットファクス /IP アドレスファクス /G3 ファクスの混在同報の場合	短縮 500 件、ダイレクト入力 105 件 (G3 ファクス宛先 100 件、インターネットファクス /IP アドレスファクス宛先 5 件) の 605 件。

複数の宛先を指定するには次の方法があります。

- テンキーを使う
- グループを使う
- 短縮 / アドレスを使う
- ダイレクト入力を使う

上記の指定方法を組み合わせて指定することもできます。

インターネットファクスの同報送信時は、MDN/DSN 要求は送信しません。

「宛先を 1 か所だけ指定する（SIP ファクス /IP アドレスファクス）」（p. 2-30）を参照して、送信したい宛先を必要なだけ指定します。

❍ グループを使う場合

1. ファクス画面の［グループ］を押します。
2. グループ No. のキーを押します。
3. グループ内の宛先のキーを押して選択します。
   全てを選択するときは、［全選択］を押します。

2

【スタート】を押します。

テンキーまたはダイレクト入力を使う場合、宛先を指定して表示される［次宛先］を押すと、次の送信先を指定することができます。

詳しく説明します

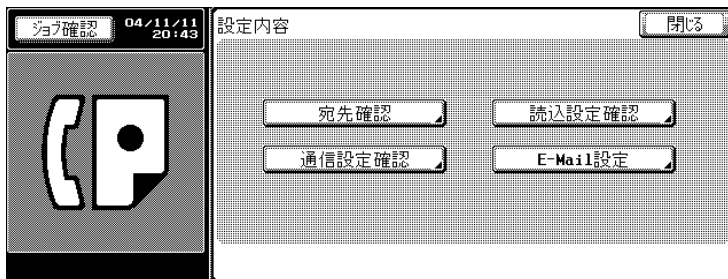
- ［ダイレクト入力］で［グループ］を押し、グループ No.（01 ～ 99、00）を入力して指定することもできます。
- 上記の方法で指定した場合は、グループに登録されているすべての宛先へ送信されます。

SIP ファクスの電話番号と、通常のファクスの電話番号は異なります。お間違えのないようにご入力ください。

■ 宛先を確認 / 削除するには

指定した宛先を確認したり、削除したりすることができます。

1. 【ファクス】を押してファクス画面を表示して、操作パネルの［設定内容］を押します。

2. ［宛先確認］を押します。

3. 送信先を確認します。

4. 送信先を削除する場合は、宛先の一覧から削除したい宛先を選択して［削除］を押します。

   確認メッセージ画面が表示されます。

5. ［はい］を押します。

6. ［閉じる］を 2 回押します。

   ファクス画面に戻ります。

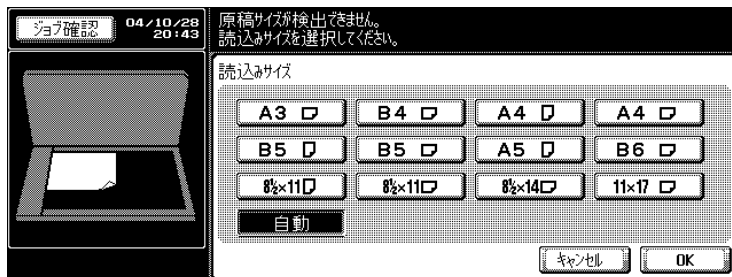
SIP ファクス /IP アドレスファクスでは、［通信設定］、［E-mail 設定］は使用しません。

- ［詳細］を押すと、詳しい情報の画面を表示できます。
- ▼ または ▲ を押すと前後のページが表示されます。

2.7 原稿読み込み中の動作

■ 原稿サイズが検知できないときは

原稿サイズが検知できない場合は、読込みサイズの画面が表示されます。原稿サイズを設定してください。

1 原稿サイズのキーを押します。

2 ［OK］を押します。

■ メモリオーバーしたときは

メモリ送信の場合、原稿のページ数が多い場合や、原稿の画質が細密なために情報量が多い場合はメモリオーバーすることがあります。

詳しくは、p. 4-6 をごらんください。

■ 原稿の自動回転について

A4（ ）や 8 1/2 x 11（ ）の原稿は送信時に自動的に、A4（ ）や 8 1/2 x 11（ ）に回転して送信されます。

自動回転を行いたくない場合は、サービス管理店までお問い合わせください。

2.8 送信できないときは

SIP ファクス /IP アドレスファクスを使用する場合、相手機がビジー状態などで送信できないときは、リダイアル機能をつかってもう一度送信することができます。

本機のリダイアル機能は、オートリダイアルと手動リダイアルがあります。

原則

オートリダイアル、手動リダイアルとも、宛先を変更することはできません。

リダイアルを行っても、回線異常などで送信できない場合は、p. 4-3 をごらんください。

インターネットファクスでは、メール再送機能はありません。送信できない場合は、p. 4-2 をごらんください。

■ リダイアルについて

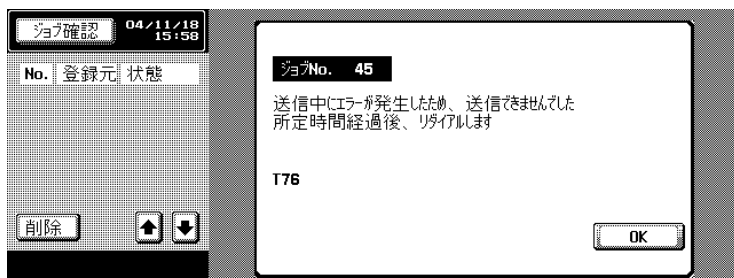
同じ宛先にもう一度ダイアルすることをリダイアルと呼びます。

相手機がビジー状態などで送信できない場合は、一定時間が経過してから再度ダイアルされます。リダイアルされるまでの間、送信文書はリダイアル待機の予約文書として扱われます。

■ オートリダイアル機能

相手機がビジー状態などで送信ができなかった場合は、回線パラメータ設定で設定されているオートリダイアル回数にしたがって自動的にオートリダイアルされます。

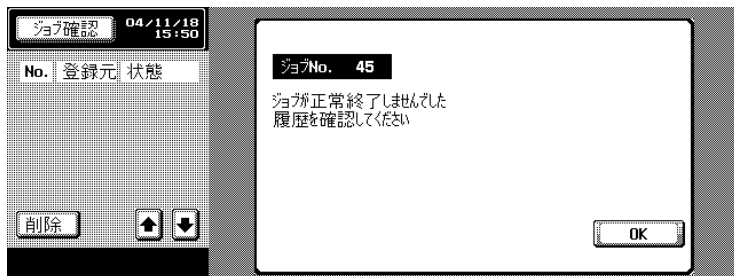
リダイアル確認画面

回線異常などで送信できないときは、リダイアルを確認する画面が表示されます。

［OK］を押します。

設定時間経過後、リダイアルが開始されます。

リダイアルしても、なお送信できない場合は、ジョブが正常終了しなかった事を確認する画面が表示されます。

2

［OK］を押します。

送信に失敗したジョブを削除するには、［ジョブ確認］を押して該当するジョブを削除します。

オートリダイアル回数はお買い上げ時は、3 分おきに 3 回リダイアルするように設定されています。オートリダイアル回数の設定については、p. 9-44 をごらんください。

■ 手動リダイアル

リダイアル待ちの文書を、手動でリダイアルします。

1. ［ジョブ確認］を押します。
2. ［ファクス送信］タブを押します。
3. 状態が［リダイアル待ち］の文書を選択し、［リダイアル］を押します。

4. リダイアル画面が表示されるので、［実行］を押して、選択文書のリダイアルを実行します。

2.9 送信を中止する

本機では、蓄積されている送信指示や画像を予約ジョブと呼びます。ジョブリスト画面から、予約中のジョブをキャンセルできます。

■ 予約ジョブを取り消す

予約ジョブを削除することで送信を取り消すことができます。

1. ［ジョブ確認］を押します。
2. ［ファクス送信］タブを押します。
3. ［実行中リスト］を押します。
4. ［タイマージョブ］を押します。
5. 中止したいジョブを選択して、［削除］を押します。

6. ［はい］を押します。

ジョブが削除されます。

次の画面または前の画面を表示したい場合は、▼または▲を押します。

［終了］を押します。

ファクス画面に戻ります。

2.10 送信予約ジョブを確認する

メモリに蓄積されている送信予約状態を、画面に表示されるジョブリストで確認することができます。

1. ［ジョブ確認］を押します。
2. ［ファクス送信］タブを押します。
3. ［実行中リスト］を押します。
4. ［タイマージョブ］または［動作中ジョブ］を押します。
5. 確認が終了したら、［終了］を押します。

   ファクス画面に戻ります。

- 次の画面または前の画面を表示したい場合は、▼または▲を押します。
- ジョブを選択して［設定内容］または［詳細］を押すとジョブの詳しい内容を確認できます。

2.11 通信結果を確認する

［ジョブ確認］を押すと、通信結果を確認することができます。

1 ［ジョブ確認］を押します。

2 ［プリント］タブ、［ファクス送信］タブまたは［受信/保存］タブを押します。

3 ［履歴リスト］を押します。

通信結果を確認します。

ジョブ確認　プリント　スキャナ送信　ファクス送信　受信/保存　終了

実行中リスト　履歴リスト　エラージョブ　終了ジョブ　全ジョブ　通信リスト

No.	送信種別	宛先	登録時間	原稿	実行結果
23	E-Mail	000001	04/11/11 16:59	1	正常終了
22	ファクス	000000	04/11/11 15:02	1	エラー消去
21	E-Mail	000001	04/11/11 13:51	1	正常終了
22	ファクス	0000000	04/11/09 20:33	1	エラー消去
21	ファクス	0896	04/11/09 20:22	1	エラー消去

詳細

・ファクス送信

- ❍ 送信種別　：ファクス、E-Mail、ボックスの種別が表示されます。
- ❍ 宛先　：相手のファクス番号、E-Mail アドレス、ボックス名が表示されます。
- ❍ 登録時間　：送信を指示した日時が表示されます。
- ❍ 原稿　：送信した枚数が表示されます。
- ❍ 実行結果　：正常終了、ユーザ消去、エラー消去、解除（ステープル、パンチ等）、ジョブ中断のいずれかが表示されます。

・受信 / 保存

- ❍ 登録元　：ユーザ認証中は［ユーザ名］、部門管理中は［部門名］が表示されます。それ以外の場合は、COPY、PRINT、FAX-RX 等の登録元が表示されます。
- ❍ ドキュメント名：受信または保存した文書名が表示されます。
- ❍ 登録時間　：受信した日時が表示されます。
- ❍ 原稿　：受信した枚数が表示されます。
- ❍ 実行結果　：正常終了、ユーザ消去、エラー消去、解除（ステープル、パンチ等）、分割プリント、登録完了、登録失敗、ジョブ中断のいずれかが表示されます。

詳しく説明します

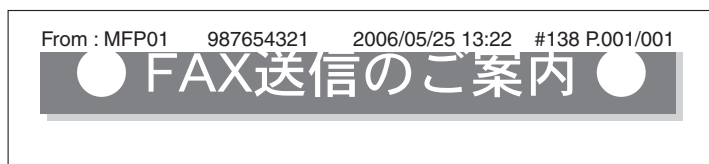
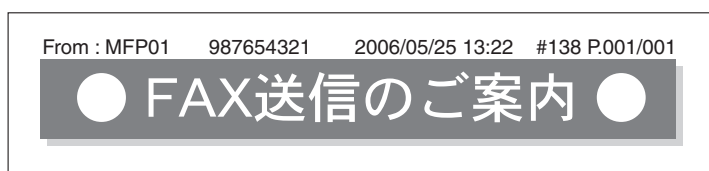
- ［通信リスト］を押すと、ファクス送信レポート、ファクス受信レポートの形式で通信結果を確認できます。このとき通信管理レポート、送信管理レポート、受信管理レポートをプリントできます。
- ［詳細］を押すと、ジョブの詳細情報を確認できます。
- インターネットファクスの場合、［通信リスト］を押して表示される通信結果画面で、結果欄が［---］は最寄りのサーバまで送信できたことを示します。結果欄が［OK］は MDN 結果応答を受信できたことを示します。

5 確認が終了したら、[終了] を押します。

ジョブ確認前の画面に戻ります。

2.12 発信元情報について

送信した原稿は、受信側で次のように記録されます。

■ 発信元情報が［原稿内］に設定されているとき

■ 発信元情報が［原稿外］に設定されているとき

■ 発信元情報が［OFF］に設定されているとき

- 設定については、p. 9-42 をごらんください。
- 発信元情報の FROM 欄には、設定メニューの［管理者設定］の「発信元 / ファクス ID 登録」で設定した、発信元名およびファクス ID が表示されます。発信元情報は、通常のファクス機能と共用します。

第 3 章
受信する

受信の操作について説明します。

3.1 受信する（インターネットファクス）

電子メールの受信には、自動取得と手動取得の 2 つの方法があります。本機が電子メールを受信すると、メール本文と添付ファイルが自動的に印刷されます。

設定メニューで、強制メモリ受信設定を ON にしている場合は、「強制メモリ受信ボックス」に保存されます。保存文書は、必要に応じて印刷することができます。

詳しくは、「受信文書のプリントを禁止する（強制メモリ受信）」（p. 7-2）をごらんください。

添付ファイルの最大ページ数は 2,000 ページ、本文は最大 20KByte まで受信できます。

■ 自動取得

POP サーバに対し、一定の間隔で電子メールの取得が自動的に行われます。

- メールを取得する間隔を 1 ～ 60 分の範囲で変更できます。
- 設定方法については、p. 9-32 をごらんください。
  お買い上げ時は 15 分に設定されています。

■ 手動取得

POP サーバから手動で電子メールの取得を行うこともできます。

1. 【ファクス】を押してファクス画面を表示して、［ダイレクト入力］を押します。
2. ［E-Mail 受信］を押します。

3.2 受信する（SIP ファクス /IP アドレスファクス）

本機が SIP ファクス /IP アドレスファクスを受信すると、自動的に印刷されます。

設定メニューで、強制メモリ受信設定を ON にしている場合は、「強制メモリ受信ボックス」に保存されます。保存文書は、必要に応じて印刷することができます。

詳しくは、「受信文書のプリントを禁止する（強制メモリ受信）」（p. 7-2）をごらんください。

3

3.3 受信できないとき

受信できない場合は、エラーメッセージが表示されます。p. 4-5
を参照して処置をしてください。エラーメッセージの表示は、
【ストップ】を押すと消えます。

メモリが一杯で受信できない場合があります。用紙トレイに用紙がセットされていることを確認してください。

3.4 メモリ代行受信とは

用紙づまりなどで受信した文書をプリントできない場合は、プリントできる状態になるまで受信文書がメモリに蓄積されます。この機能をメモリ代行受信といいます。

- 紙づまりなどのトラブル処置が終了すると、蓄積されていた受信文書のプリントが開始されます。
- メモリが一杯で代行受信できない場合があります。

3.5 受信時の記録について

受信文書を記録する場合は、受信した文書の用紙サイズと、用紙トレイにセットされている用紙サイズを比較し、設定された縮小率で縮小して記録する、用紙におさまるように縮小して記録するのいずれかで記録されます。なお、等倍で記録するように設定している場合は、受信した文書の用紙サイズにかかわらず、等倍で記録されます。

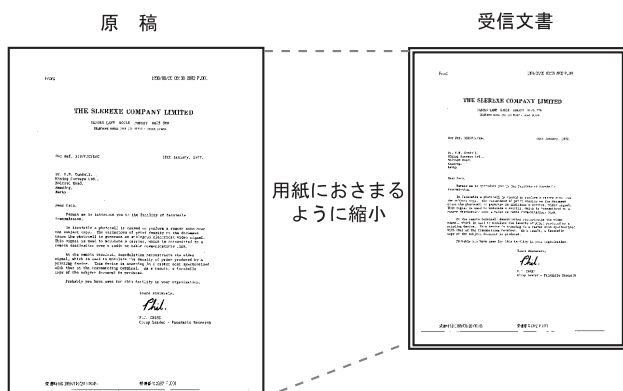
■ 縮小して記録するとき

定形サイズの文書を受信した場合は、そのサイズの用紙に設定された縮小率で縮小して記録されます。（初期値は 96%）

縮小率については、p. 9-46 をごらんください。

■ 用紙におさまるように縮小して記録するとき

定形サイズより長い文書を受信した場合は、受信文書の幅と長さから最適な用紙サイズを決定し、そのサイズの用紙に記録されます。最適な用紙サイズが用紙トレイにセットされていない場合は、近いサイズの用紙に縮小して記録されます。

3

最適な用紙サイズの決定と、用紙選択の基準は次のとおりです。

Step 1 最適な用紙を選択する

- 受信文書の幅と長さから、最適な用紙サイズを次の原則で決定します。

受信原稿の幅	受信情報の記録位置	受信文書の長さ			
A4 幅	［OFF］または［原稿内］	0 ～ 154	155 ～ 314	315 ～ 386	387 ～
	［原稿外］	0 ～ 146	147 ～ 306	307 ～ 378	379 ～
選択される用紙サイズ		A5	A4	B4	A3
B4 幅	［OFF］または［原稿内］	0 ～ 195	196 ～ 395	396 ～	
	［原稿外］	0 ～ 186	187 ～ 386	387 ～	
選択される用紙サイズ		B5	B4	A3	
A3 幅	［OFF］または［原稿内］	0 ～ 226	227 ～		
	［原稿外］	0 ～ 217	218 ～		
選択される用紙サイズ		A4	A3		

Step 2 実際にプリントする用紙を選択する

- Step 1 で決定した最適な用紙サイズが、本機にセットされているかをチェックします。
  - ❍ 最適な用紙がセットされている：
    記録開始
  - ❍ 最適な用紙がセットされていない、または該当する用紙トレイの自動トレイ切替機能が禁止になっている：
    次に最適な用紙を表の上から順にチェックします。このとき、設定メニューで［ページ分割記録］が［ON］に設定されている場合は、ページ分割をして記録するように用紙をチェックします。

❍［ページ分割記録］が［OFF］のとき：
上段から順に記録紙が選択されます。

最適記録用紙	A5 ▯	A4 ▭	B5 ▯	B4 ▭	A4 ▯	A3 ▭
記録紙選択順序（上段から下段）	A5 ▯	A4 ▭	B5 ▯	B4 ▭	A4 ▯	A3 ▭
	A5 ▭	A4 ▯	B5 ▭	A3 ▭	A4 ▭	B4 ▭
	A4 ▭	F4 ▭	B4 ▭	A4 ▭	F4 ▭	A4 ▭
	A4 ▯	B4 ▭	A4 ▭	A4 ▯	B4 ▭	F4 ▭
	B5 ▯	A3 ▭	A4 ▯	F4 ▭	A3 ▭	
	B5 ▭		F4 ▭			
	F4 ▭		A3 ▭			
	B4 ▭					
	A3 ▭					

❍［ページ分割記録］が［ON］のとき：
上段から順に記録紙が選択されます。

最適記録用紙	A5 ▯	A4 ▭	B5 ▯	B4 ▭	A4 ▯	A3 ▭
記録紙選択順序（上段から下段）	A5 ▯	A4 ▭	B5 ▯	B4 ▭	A4 ▯	A3 ▭
	A5 ▭	F4 ▭	B5 ▭	B5 ▯	A4 ▭	A4 ▯
	A4 ▭	B4 ▭	B4 ▭	B5 ▭	F4 ▭	A4 ▭
	A4 ▯	A3 ▭	A4 ▭	A3 ▭	B4 ▭	
	B5 ▭		A4 ▯	A4 ▯	A3 ▭	
	F4 ▭		F4 ▭	A4 ▭		
	B5 ▯		A3 ▭	F4 ▭		
	B4 ▭					
	A3 ▭					

* B5 ▭、B5 ▯、A4 ▭、A4 ▯ の場合にはページを分割して記録されます。

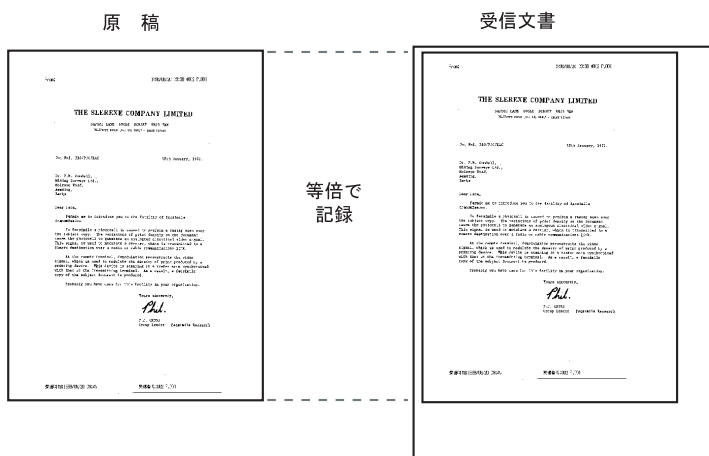
- ［ページ分割記録］が［OFF］のときでも長尺原稿または高解像度で受信した場合は、ページ分割記録される場合があります。

- ［ページ分割記録］が［ON］のときでも受信文書の画像幅より選択された記録紙の幅が短い場合には用紙幅に合わせて縮小されます。

詳しく説明します

- 実際にプリントする用紙が、Step 1 で決定した用紙より小さい場合は、縮小してプリントされます。
- ページ分割記録が OFF の場合は、実際にプリントする用紙の方向と、Step 1 で決定した用紙の方向が一致しない場合は、自動的に 90 度回転してプリントされます。
- 異なるサイズが混在した文書をプリントする場合は、1 ページごとにこれらの処理が行われます。
- Step 1、Step 2 で決定した用紙サイズが、複数の用紙トレイにセットされている場合は、自動紙サイズ選択機能で設定された設定に従い、用紙トレイが選択されます。詳しくは「ユーザーズガイド（コピー機能編)」をごらんください。
- 必要な用紙サイズが手差しトレイのみにセットされている場合は、手差しトレイから給紙してプリントされます。ただし手差しトレイが、自動紙サイズ選択機能 / 自動トレイ切替機能禁止給紙段に設定されている場合、手差しトレイは対象外となります。
- ページ分割を ON に設定している場合、設定メニューの［送信 / 受信設定］が次のように設定されているときはページ分割されません。
  - ［給紙トレイ固定］が設定されている
  - ［縮小率］が［等倍］のとき
  - ［記録紙用紙優先選択］が［サイズ固定］または［サイズ優先］のとき
  - ［受信原稿両面プリント］が［ON］のとき
- プリントできる用紙がセットされていない場合は、用紙をセットするようにメッセージが表示されます。
  - ［記録用紙優先選択］が［サイズ優先］に設定されているとき
    最適な用紙サイズとして A4、B4、A3 のいずれか 1 種類が選択されます。そのサイズがない場合は、通常の用紙選択を行い記録されます。
  - ［記録用紙優先選択］が［サイズ固定］に設定されているとき
    最適な用紙サイズとして A4、B4、A3 のいずれか 1 種類が選択されます。そのサイズがない場合は、用紙が補給されるまでメッセージが表示されます。
  - ［給紙トレイ固定］が［自動］以外に設定されているとき
    ［給紙トレイ固定］で設定されている用紙トレイ（手差しトレイを除く）の用紙に記録されます。受信文書よりサイズが小さい場合は、縮小して記録されます。設定されている用紙トレイに用紙がない場合は、用紙が補給されるまでメッセージが表示されます。
  - ［記録用紙優先選択］が［自動］以外に、［給紙トレイ固定］も［自動］以外に設定されているとき
    ［給紙トレイ固定］の設定が優先されます。

■ 等倍で記録するとき

設定メニューで［縮小率］が［等倍］に設定されている場合は、同じサイズの用紙に等倍で記録されます。同じサイズの用紙がセットされていない場合は、大きいサイズの用紙に記録されます。

- ページ分割をすることはできません。
- A3 サイズより大きな画像は記録できません。
- 最適なサイズの用紙がない場合は、用紙が補給されるまでメッセージが表示されます。

3

■ 受信時の記録方法

受信文書の用紙サイズと実際に記録される文書の関係は次のとおりです。

受信した用紙のサイズ		[縮小率]の設定 等倍	[縮小率]の設定 96〜87%	[給紙トレイ固定]でトレイを指定
定形サイズ（A3〜A5） ABC		ABC 大きめの用紙に等倍で記録	ABC 同じサイズの用紙に縮小して記録	ABC 指定されている用紙トレイの用紙に縮小して記録
長尺印刷（定形サイズより長め） ABCD	ページ分割記録 OFF	ABCD 大きめの用紙に等倍で記録	ABCD 最適なサイズの用紙に縮小して記録	ABCD 指定されている用紙トレイの用紙に縮小して記録
	ページ分割記録 ON	ABCD 大きめの用紙に等倍で記録	AB / CD 用紙によっては分割して記録	ABCD 指定されている用紙トレイの用紙に縮小して記録

［受信原稿両面プリント］を指定しておき、用紙の両面に記録することもできます。詳しくは、p. 9-46 をごらんください。

3.6 受信情報について

設定メニューの発信元 / 受信情報で、受信情報が原稿内、原稿外に設定されている場合は、受信文書に受信情報（日付、時刻、受信番号、ページ番号）が記録されます。

詳しく説明します

［受信情報］の設定は、通常のファクス機能と共用します。

参照

設定については、p. 9-42 をごらんください。

■ 受信情報が［原稿内］に設定されているとき

■ 受信情報が［原稿外］に設定されているとき

■ 受信情報が［OFF］に設定されているとき

第 4 章
トラブル処置

トラブルが発生した場合の処置について説明します。

4.1 送信できない（インターネットファクス）

電子メールを送信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に送信できない場合は、サービス管理店にお問い合わせください。

参照

- 送信できなかった場合は、送信結果レポートが出力されます。詳しくは p. 10-9 をごらんください。（送信結果レポートをプリントするように設定している場合）
- Nxx 形式のエラーコードが表示された場合は p. 4-6 をごらんください。
- 原稿がつまった、用紙がつまった、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては「ユーザーズガイド（コピー編）」をごらんください。

チェックポイント	処　置
送信しようとしている電子メール容量が SMTP サーバ容量を超えていませんか？	SMTP サーバ容量が設定されている場合、設定されているサイズを超えると、エラーとなり送信できません。 SMTP サーバ容量の設定については、「ユーザーズガイド（ネットワーク / スキャナ編）」をごらんください。
送信の手順は正しいですか？	送信手順を確認してもう一度送信してください。 送信の手順については、p. 2-2 をごらんください。
ネットワークの設定や接続は正しいですか？	ネットワークの設定や接続を確認してください。ネットワークの設定については、「ユーザーズガイド（ネットワーク / スキャナ編）」をごらんください。
本体メールアドレスは設定されていますか？	本体メールアドレスを設定してください。 本体メールアドレスの設定については、p. 9-27 をごらんください。

送信結果画面（ジョブ確認＞ファクス送信＞履歴リスト＞通信リスト）や通信管理レポートの結果欄に［----］と表示されても、インターネット網の途中経路の問題により、受信側に電子メールが到着しない場合があります。送信結果画面や通信管理レポートに表示される［----］は、サーバまで正常に送信できたことを示すものです。受信確認（MDN）を受信すると送信結果画面や通信管理レポートの結果欄に [OK] が表示されます。重要な内容を送受信する場合は、到着したかどうかの確認をお願いします。

4.2 送信できない（SIP ファクス /IP アドレスファクス）

送信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に送信できない場合は、サービス管理店にお問い合わせください。

参照

- Nxx 形式のエラーコードが表示された場合は p. 4-6 をごらんください。
- 原稿がつまった、用紙がつまった、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては「ユーザーズガイド（コピー機能編）」をごらんください。

4

チェックポイント	処　置
送信の手順は正しいですか？	送信手順を確認して、もう一度送信してください。
相手のファクス番号は正しいですか？　短縮宛先やプログラム宛先は、正しく登録されていますか？	短縮宛先やプログラム宛先を使用している場合は、ファクス番号の登録に誤りがある場合があります。 短縮宛先リストをプリントするなどして、正しく登録されているかを確認してください。 誤りがある場合は修正してください。
ネットワークの設定は正しいですか？	設定メニューの［ネットワーク設定］の［TCP/IP 設定］を確認して、誤りがある場合は修正してください。 また、［ネットワークファクス機能設定］の［SIP ファクス機能］にある SIP-FAX アダプタの IP アドレスと、SIP-FAX アダプタとの通信用ポート番号が正しいかどうか確認してください。
ネットワークケーブルの接続は正しいですか？	ネットワークケーブルの接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
受信側にトラブルはありませんか？	受信側のファクスの電源が切れている、用紙がないなどのトラブルはありませんか？ 受信側に電話をかけて確認してください。
管理者メールアドレスは設定されていますか？	管理者メールアドレスを設定してください。管理者メールアドレスの設定については、p. 9-26 をごらんください。

N00 ～ N06 のエラーコードが頻発する場合は、SIP-FAX アダプタ側にトラブルが発生している可能性があります。

以下の手順にしたがって、確認および再起動を行ってください。

■ SIP-FAX アダプタ側の確認事項

1. ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？
2. ハブなどを経由している場合、使用中のポートの通信ランプは点滅していますか？
3. SIP-FAX アダプタの LED 表示は正常ですか？
4. SIP サーバは利用可能な状態ですか？

■ 再起動の手順

1. SIP-FAX アダプタの電源を OFF にして、約 10 秒待ちます。
2. SIP-FAX アダプタの電源を ON にして、約 1 分待ちます。
3. 本機の主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にします。
4. 約 5 分待ってから、SIP-FAX アダプタとの接続確認を行います（管理者設定＞ファクス設定＞ネットワークファクス設定＞ SIP アダプタ接続確認）。
5. 約 5 分待ってから、送信テストを行います。

4.3 受信できない

受信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に受信できない場合は、サービス管理店にお問い合わせください。

参照

- サポートしていないファイル形式を受信した場合等は、ネットワークファクス受信エラーレポートが印刷されます。ネットワークファクス受信エラーレポートについては、p. 10-13 をごらんください。
- Nxx 形式のエラーコードが表示された場合は p. 4-10 をごらんください。
- 原稿がつまった、用紙がつまった、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては「ユーザーズガイド（コピー機能編）」をごらんください。

トラブルの内容	チェックポイント	処　置
受信できない	用紙はセットされていますか？	用紙補給アイコンが点灯している場合は、用紙がなくなり、メモリに受信原稿が蓄積されています。 用紙を補給してください。 用紙補給の操作については、「ユーザーズガイド（コピー機能編）」をごらんください。
	紙がつまっていませんか？	紙づまりが発生している場合は、用紙がつまり、メモリに受信原稿が蓄積されています。 つまっている用紙を取り除いてください。 紙づまりの処置については、「ユーザーズガイド（コピー機能編）」をごらんください。
	トナーが切れていませんか？	トナーがなくなると、受信できません。 すぐにトナーボトルを交換してください。 トナーボトルの交換操作については、「ユーザーズガイド（コピー機能編）」をごらんください。
	ネットワークケーブルの接続は正しいですか？	ネットワークケーブルの接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	メモリ不足、ハードディスクの容量不足ではありませんか？	メモリ残量、ハードディスクの残量を確認してください。 残量が不足している状態の場合は、受信できない、または受信しても印刷できない場合があります。
プリントされない	強制メモリ受信が設定されていませんか？	強制メモリ受信が設定されている場合は、次の手順で受信文書をプリントします。 1. 【ボックス】を押します。 2. ［システムボックス］を押します。 3. ［強制メモリ受信ボックス］を押します。 4. パスワードを入力して［OK］を押します。 5. プリントしたい文書を選択し、［プリント］を押します。 6. プリントが終了したら、［閉じる］を押します。 または、強制メモリ受信設定を［OFF］にします。

4.4 エラーメッセージが表示された

本機にトラブルが発生するとエラー画面が表示され、次のエラーメッセージが表示されます。次の表を参照して処置をしてください。

処置をしても正常に通信できない場合は、サービス管理店にお問い合わせください。

■ 送信系エラーコード

コード	分類	エラー内容	リダイアル有無	処置
N00	接続エラー	宛先エラー	無	• 宛先に誤りがないか確認してください。 • 相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N01	相手ビジー	相手機ビジー	有	• 相手機の状態を確認してください。 • しばらく待ってからもう一度送信してください。
N02	サーバ	サーバエラー	無	SIP サーバが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。
N03	サーバ	グローバルエラー	無	• SIP サーバが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。 • 相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N04	LAN 接続	接続タイムアウト	無	• 宛先に誤りがないか確認してください。 • ケーブル抜け等、ネットワーク異常が発生していないか確認してください。
N05	プロトコル	プロトコルエラー	無	本機または SIP-FAX アダプタの設定を確認してください。
N06	プロトコル	ステータスコードエラー	無	• SIP サーバが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。 • 相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。

コード	分類	エラー内容	リダイアル有無	処置
N10	接続エラー	相手機接続エラー	無	• 相手機の状態を確認してください。 • 本機のネットワーク設定を確認してください。 • ネットワークが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。 • SIP サーバの設定が正しいかを、ネットワーク管理者に確認してください。
N11	接続エラー	相手機接続拒否	無	受信が拒否されています。相手機の状態を確認してください。
N12	接続エラー	回線切断	有	ケーブル抜け等、ネットワーク異常が発生していないか確認してください。
N13	接続エラー	ネットワーク応答なし	無	• 相手機の状態を確認してください。 • 本機のネットワーク設定を確認してください。 • ネットワークが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。 • SIP サーバの設定が正しいかを、ネットワーク管理者に確認してください。
N14	プロトコルエラー	メール配信エラー	無	相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N15	プロトコルエラー	相手機接続リセット	有	相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N16	プロトコルエラー	自機ネットワークビジー	有	相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N17	プロトコルエラー	通信タイムアウト	無	相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。

コード	分類	エラー内容	リダイアル有無	処置
N18	その他エラー	その他エラー	無	• 各設定が正しいかを確認してください。 • ケーブル抜け等、ネットワーク異常が発生していないか確認してください。 • 主電源を OFF/ON した後、もう一度送信してください。
N20	メモリエラー	メモリオーバーフロー	無	メモリがいっぱいです。 • 他の処理中のジョブがないことを確認してください。 • 送信枚数を減らしたり、読み込み解像度を下げて、もう一度送信してください。
N21	HDD エラー	HDD エラー	無	HDD がいっぱいです。 • 不要なファイルを削除してください。 • 送信枚数を減らしたり、読み込み解像度を下げて、もう一度送信してください。
N22	変換エラー	変換エラー	無	主電源を OFF/ON した後、もう一度送信してください。
N25	メモリオーバフロー	メモリオーバフロー	無	メモリがいっぱいです。 • 他の処理中のジョブがないことを確認してください。 • 送信枚数を減らしたり、読み込み解像度を下げて、もう一度送信してください。
N30	シーケンスエラー	LAN 切断中に送信起動要求が来た	無	• 送信ジョブを削除し、主電源を OFF/ON してください。 • 宛先に誤りがないか、ケーブル抜け等のネットワーク異常が発生していないかを確認し、もう一度送信してください。
N31	シーケンスエラー	SDK 初期化未完了で送信起動要求が来た	無	しばらく待ってから、もう一度送信してください。

コード	分類	エラー内容	リダイアル有無	処置
N32	シーケンスエラー	SDK 初期化未完了で接続確認要求が来た	無	• SIP-FAX アダプタとの接続を確認してください。 • 本機や SIP-FAX アダプタの設定を確認し、しばらく待ってからもう一度送信してください。
N33	設定不良	アダプタ設定不良	無	• SIP-FAX アダプタとの接続や設定を確認して下さい。
N34	シーケンスエラー	切断応答待ち中に送信起動要求が来た	無	• 本機や SIP-FAX アダプタとの接続や設定を確認し、しばらくたってからもう一度送信して下さい。

■ 受信系エラーコード

コード	分類	エラー内容	処置
N50	SMTP 受信	SMTP 受信エラー	着信の呼接続後、60 分間 SMTP 受信が始まらない場合、本エラーとなります。 送信側に再送を依頼してください。
N51	デコード	受信長オーバー	送信側に、送信原稿長を短くして再送するよう依頼してください。
N52	デコード	受信頁オーバー	送信側に、送信原稿枚数を少なくして再送するよう依頼してください。
N53	デコード	ファイル・エラー	送信側に、以下の正しいファイル形式で再送するよう依頼してください。 インターネットファクス： TIFF SIP ファクス /IP アドレスファクス： PDF または TIFF
N54	デコード	デコード・エラー	不正な形式のデータを受信しました。送信側に正しい形式での再送を依頼してください。

4.5 「サービスに連絡してください」と表示されたら（サービスコール）

お客様では処置できないトラブルが起こったとき、「サービスに連絡してください」というメッセージが画面上に表示されます。（サービスコール画面）

サービスコール画面中央には、通常、お客様のサービス管理店の電話番号とファクス番号が表示されます。

ここでは、サービス管理店に電話でトラブルを知らせる手順を説明します。

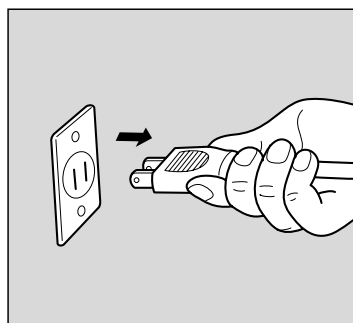
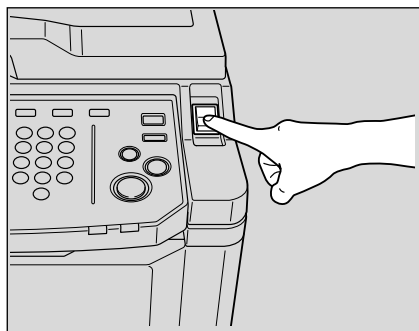
注意

思わぬ事故になる恐れがありますので、サービスコール画面が表示され通信できなくなった場合は、次の処置をしてください。

1.トラブルコード番号を書き留めます。

2.操作電源スイッチ、主電源スイッチを OFF にします。

3.電源プラグをコンセントから抜きます。

4.サービス管理店に連絡し、トラブルコード番号をお知らせください。

第 5 章
仕様

ファクス機能の仕様について説明します。

5.1 仕様（インターネットファクス）

インターネットファクスに関する仕様は次のとおりです。製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

項　目		仕　様
画像メモリ容量		30 GB*（ハードディスク 40GB 中 30GB をメモリとして使用）
蓄積枚数		約 9000 枚 * A4 判 700 文字程度の当社標準原稿を、解像度［精細］で蓄積した場合の枚数です。
解像度		超高精細：　600 dpi x 600 dpi 高精細：　400 dpi x 400 dpi 精細：　200 dpi x 200 dpi 普通：　200 dpi x 100 dpi
送信モード（ファイル形式）		モノクロ（TIFF）
送信符号化方式		TIFF-S(MH), TIFF-F(MR/MMR)
最大読み取りサイズ		420 x 297 mm（A3 サイズ） 幅：297 mm 長さ：最大 1000 mm （解像度が 600 dpi の場合は、最大 432 mm）
最大記録サイズ		420 x 297 mm（A3 サイズ） 1000 mm を超える原稿は受信できません (解像度が 600 dpi の場合は、460 mm を超える原稿は受信できません)。 セットされている用紙サイズより長い原稿を受信した場合は、ページ分割設定にしたがって印字されます。
送信エラー時の処理	メール再送	なし
	送信エラーレポート	SMTP サーバに送れない場合、送信エラーレポート印刷する / しないを設定可能
		MDN/DSN 応答受信時、プリントする / しないを設定可能
		MDN/DSN 応答受信時、送信結果を送信管理レポートに記載
		MDN/DSN 応答監視時間を 0 〜 99 h の範囲で設定可能
メール受信	メール取得間隔	1 〜 60 分設定可能
	POP 手動受信	可能
	BOX 指定受信	不可（強制メモリ受信のみ可）
	受信原稿サイズ	受信原稿幅：A4/B4/A3
	受信符号化方式	TIFF-S(MH)、TIFF-F(MH/MR/MMR)

項　目		仕　様
リスト / レポート	DSN メッセージ印刷	可能
	MDN メッセージ印刷	可能
	正常受信メールの本文印刷	可能
	インターネットファクス通信管理レポート	ファクスの通信管理レポートと共用で、最大 100 件。
	インターネットファクス受信エラーレポート	可能

5

5.2 仕様（SIP ファクス /IP アドレスファクス）

SIP ファクス /IP アドレスファクスに関する主な製品仕様は次のとおりです。製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

項　目	仕　様
画像メモリ容量	30 GB*（ハードディスク 40GB 中 30GB をメモリとして使用）
蓄積枚数	約 9000 枚 * A4 判 700 文字程度の当社標準原稿を、解像度［精細］で蓄積した場合の枚数です。
SIP サーバ （UNIVERGE 認証対応）	UNIVERGE SV7000
解像度	超高精細： 600 dpi × 600 dpi 高精細： 400 dpi × 400 dpi 精細： 200 dpi × 200 dpi 普通： 200 dpi × 100 dpi
送信モード（ファイル形式）	モノクロ（TIFF）
符号化方式	MH / MR / MMR
最大読み取りサイズ	420 × 297 mm（A3 サイズ） 幅：297 mm 長さ：最大 1000 mm （解像度が 600 dpi の場合は、最大 432 mm）
最大記録サイズ	420 × 297 mm（A3 サイズ） 1000 mm を超える原稿は受信できません（ 解像度が 600 dpi の場合は、460 mm を超える原稿は受信できません)。 セットされている用紙サイズより長い原稿を受信した場合は、ページ分割設定にしたがって印字されます。

* コピー、スキャン、プリンタ、ボックスの各機能とハードディスクを共通使用

第 6 章
便利な送信

読込設定や応用設定のメニューを使った、便利なファクス送信について説明します。

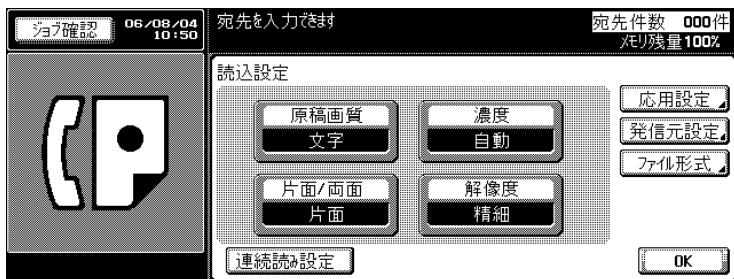
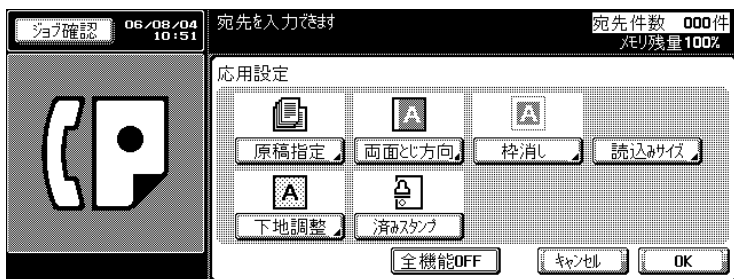
6.1 読込設定の画面を表示するには

便利な機能を使ってファクス送信をするときは、読込設定画面を表示し、使いたい機能を設定します。

1 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2 ［読込設定］を押します。

3 使いたい機能のキーを押します。読込設定画面で［応用設定］を押すと、応用設定の画面が表示されます。

❍ 読込設定

❍ 応用設定

4 次のいずれかの操作を行います。

❍ さらに機能を設定する画面が表示された場合：
表示された画面で機能を設定し、［OK］を押します。

- ネットワークファクスでは、通信設定画面は使用しません。
- 設定したい機能のキーを押すと、それぞれの機能専用の画面が表示されます。
- 複数の機能を組み合わせて設定することができますが、併用できない機能キーは、選択できません。

- ❍ 機能が選択された場合：
  ［OK］を押します。
- ❍ 元の通信条件に戻すときは、［キャンセル］を押します。

ファクス画面に戻ります。

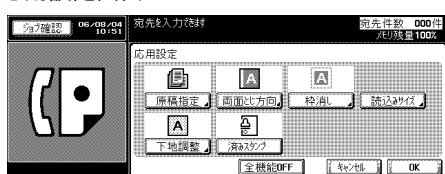
6.2 読込設定と応用設定の機能一覧

読込設定や応用設定の画面には、次の機能が表示されます。

読込設定画面

応用設定画面

[キャンセル]
前の画面に戻ります。

[OK]
設定中の設定を確定し、前の画面に戻ります。

[機能 OFF]
設定されている設定を解除し、前の画面に戻ります。

[全機能 OFF]
その画面にある機能をすべて OFF にします。

キー	説明	
原稿指定	混載原稿	サイズの異なる原稿をセットし、一度の操作で原稿サイズを検知して送信する機能です。→ p. 6-7
	Z 折れ原稿	折り目がついているために原稿サイズを正しく検知できない原稿を送信する機能です。→ p. 6-9
	長尺原稿	432 mm より長い長尺原稿を送信する機能です。 → p. 6-12
両面とじ方向	両面原稿を ADF で読み込む場合に、原稿の綴じ位置を指定し、原稿の裏面の上下関係を補正する機能です。→ p. 6-15	
枠消し	冊子になっている原稿を読み込むときなどに、上下左右に写る黒い影を消して送信する機能です。 → p. 6-18	
下地調整	原稿の背景色の濃さを調整して送信する機能です。 → p. 6-21	
済みスタンプ	読み取った原稿に済みスタンプを押すことができます。→ p. 6-23	
読込みサイズ	読み込むサイズを指定して送信する機能です。原稿の一部だけを送信したい場合に便利です。 → p. 6-25	

設定された項目は、反転表示されます。

キー	説明
発信元設定	ファクス送信の際に、ジョブごとに発信元情報のつけ方を指定できます。→ p. 6-28
ファイル形式	SIP ファクス /IP アドレスファクス / インターネットファクスの場合は、TIFF に固定されます。

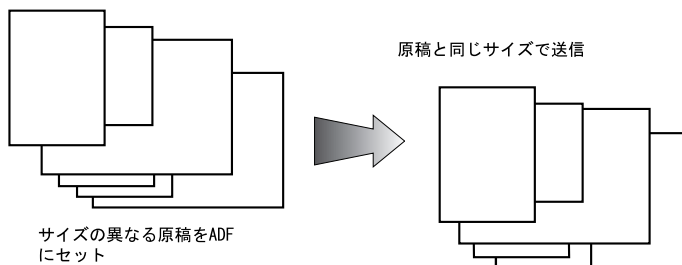
■ 通信設定について

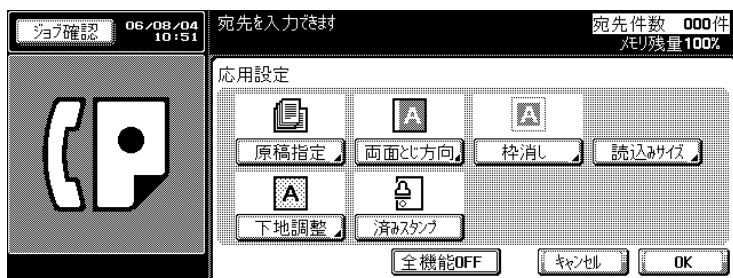
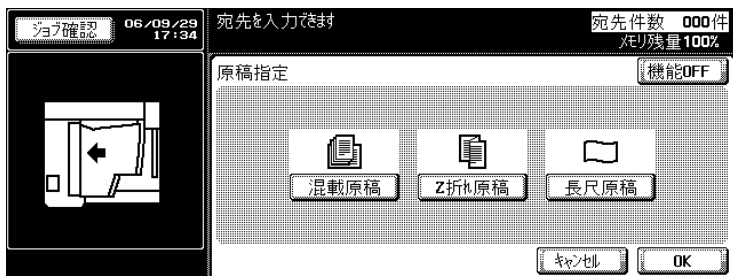
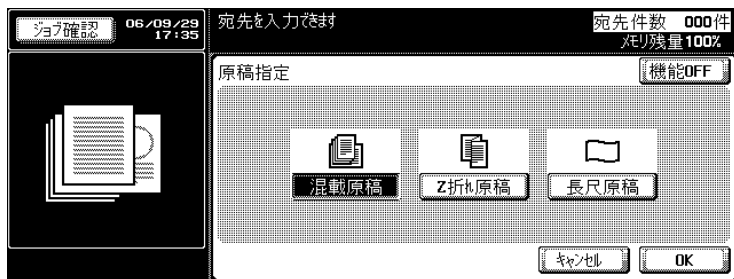
- ネットワークファクス（インターネットファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクス）では、通信設定は使用しません。
- ネットワークファクス機能は、G3 ファクスとの混在同報時は、パスワード送信、F コード送信、回線設定が設定可能です。設定した内容は、G3 ファクスにのみ適用されます。

詳しくは、「ユーザーズガイド （ファクシミリ機能編）」をごらんください。

6.3 サイズの異なる原稿を一度の操作で送る（混載原稿）

混載原稿とは、サイズの異なる原稿をセットし、それぞれの原稿サイズを検知して送信する機能です。

原則

読込みサイズと混載原稿を同時に指定した場合は、読込みサイズで指定したサイズが適用されます。
［混載原稿と併用できない機能］
Z 折れ原稿、長尺原稿、両面とじ方向

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。
2. ［読込設定］、［応用設定］の順に押します。
3. ［原稿指定］を押します。

4. ［混載原稿］を押します。

設定を解除するときは、［機能 OFF］を押します。

5 ［OK］を押します。

応用設定画面に戻ります。

6 ［OK］を押します。

読込設定画面に戻ります。

7 ［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

8 必要に応じて、その他の機能を設定します。

ファクス画面の機能設定については p. 2-16 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 6-4 をごらんください。

9 宛先を指定します。

参照

宛先の指定については p. 2-25 をごらんください。

10 原稿をセットします。

原稿のセットについては p. 2-10 をごらんください。

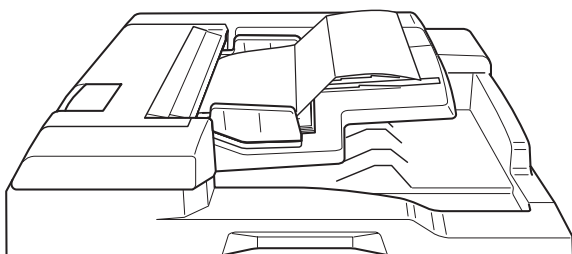
11 【スタート】を押します。

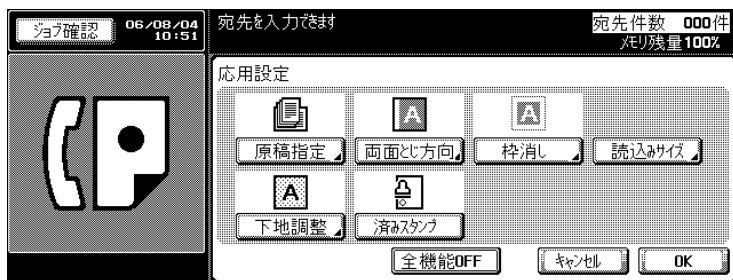
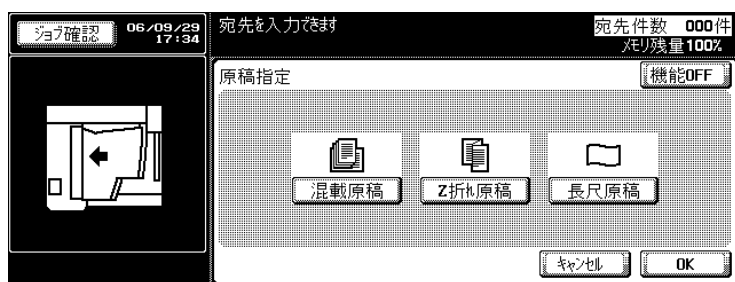
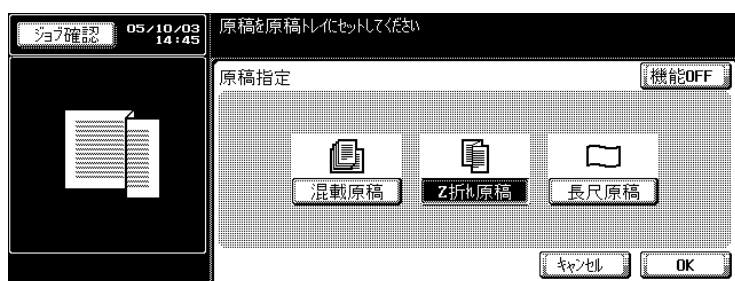
読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

- 送信を中止する場合は p. 2-42 をごらんください。
- 送信できない場合は p. 4-2 をごらんください。

6.4 折り目のある原稿を送る（Z 折れ原稿）

折り目がついているために原稿サイズを正しく検知できない原稿を送信する機能です。

原則

ADF を使用します。原稿ガラスを使用して Z 折原稿の送信をすることはできません。
2 枚目以降の原稿は、1 枚目の原稿と同じサイズで送信されます。原稿サイズがページごとに異なる場合は、Z 折れ原稿を設定せず、[混載原稿] を指定してください。
[Z 折れ原稿と併用できない機能]
混載原稿、長尺原稿、連続読み設定

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。
2. [読込設定]、[応用設定] の順に押します。
3. [原稿指定] を押します。

4 ［Z 折れ原稿］を押します。

5 ［OK］を押します。

応用設定画面に戻ります。

6 ［OK］を押します。

読込設定画面に戻ります。

7 ［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

8 必要に応じて、その他の機能を設定します。

9 宛先を指定します。

詳しく説明します

設定を解除するときは、［機能 OFF］を押します。

ファクス画面の機能設定については p. 2-16 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 6-4 をごらんください。

宛先の指定については p. 2-25 をごらんください。

原稿をセットします。

原稿のセットについては
p. 2-10 をごらんください。

【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

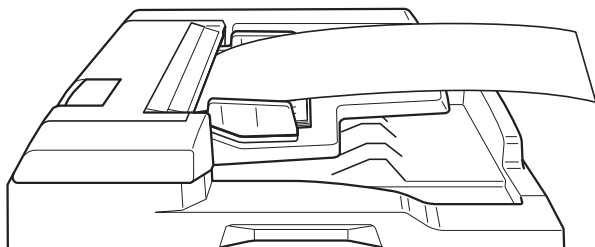
参 照

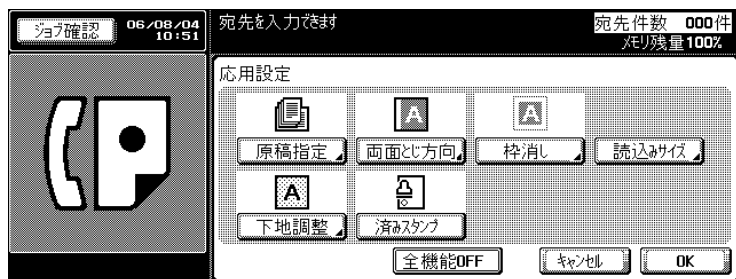
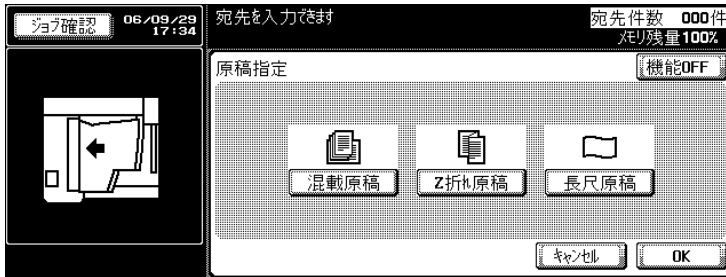
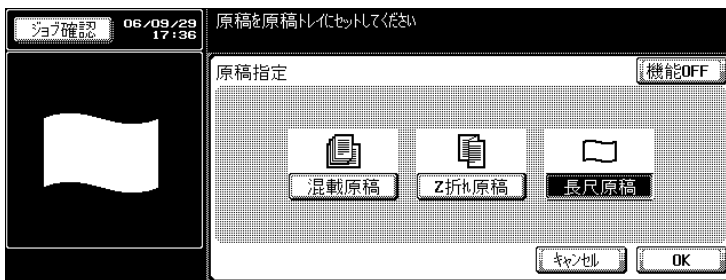
• 送信を中止する場合は p. 2-42 をごらんください。
• 送信できない場合は p. 4-2 をごらんください。

6.5 長い原稿を送る（長尺原稿）

432 mm より長い長尺原稿を送信する機能です。

長尺原稿を指定することにより、1000 mm までの長さの原稿を送信することができます。

原則

ADF を使用します。原稿ガラスを使用して長尺原稿の送信をすることはできません。
長尺原稿は複数枚の原稿に対応していません。長尺原稿を送信する際は、ADF に 1 枚ずつセットして使用してください。
［長尺原稿と併用できない機能］
両面、超高精細（解像度）、枠消し、混載原稿、Z 折れ原稿、両面とじ方向、連続読み設定

長尺原稿と解像度［超高精細］は併用できません。解像度で［超高精細］を選択している場合は、送信時に自動的に［高精細］になります。

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2. ［読込設定］、［応用設定］の順に押します。

3. ［原稿指定］を押します。

4 ［長尺原稿］を押します。

5 ［OK］を押します。

応用設定画面に戻ります。

6 ［OK］を押します。

読込設定画面に戻ります。

7 ［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

8 必要に応じて、その他の機能を設定します。

9 宛先を指定します。

詳しく説明します

設定を解除するときは、［機能 OFF］を押します。

ファクス画面の機能設定については p. 2-16 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 6-4 をごらんください。

宛先の指定については p. 2-25 をごらんください。

原稿をセットします。

原稿のセットについては
p. 2-10 をごらんください。

【スタート】を押します。

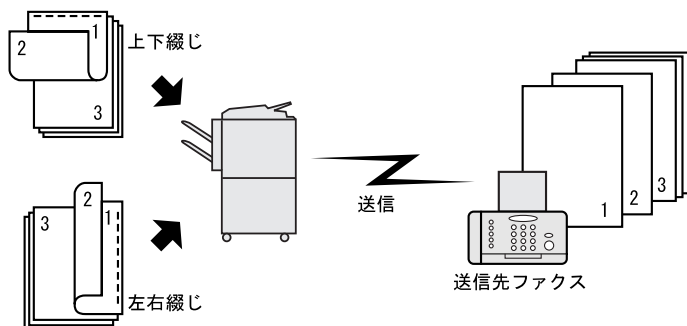
読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

参照

- 送信を中止する場合は p. 2-42 をごらんください。
- 送信できない場合は p. 4-2 をごらんください。

6.6 両面原稿の綴じ位置を指定する（両面とじ方向）

ADF を使って両面原稿を送信する場合に原稿の綴じ位置を設定する機能です。両面原稿の綴じ位置には、原稿の上側（または下側）に綴じ位置がある上下綴じと、原稿の左（または右側）に綴じ位置がある左右綴じがあり、原稿の裏面の上下関係が異なります。

原則

ADF を使用します。原稿ガラスを使用して両面とじ方向の送信をすることはできません。
［両面とじ方向と併用できない機能］
混載原稿、長尺原稿、連続読み設定

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。
2. ［読込設定］、［応用設定］の順に押します。
3. ［両面とじ方向］を押します。

4 ［左右とじ］または［上下とじ］を押し、両面原稿の綴じ位置を選択します。

設定を解除するときは、［機能 OFF］を押します。

5 ［OK］を押します。

応用設定画面に戻ります。

6 ［OK］を押します。

読込設定画面に戻ります。

7 ［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

8 必要に応じて、その他の機能を設定します。

ファクス画面の機能設定については p. 2-16 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 6-4 をごらんください。

9 宛先を指定します。

宛先の指定については p. 2-25 をごらんください。

10 原稿をセットします。

原稿のセットについては p. 2-10 をごらんください。

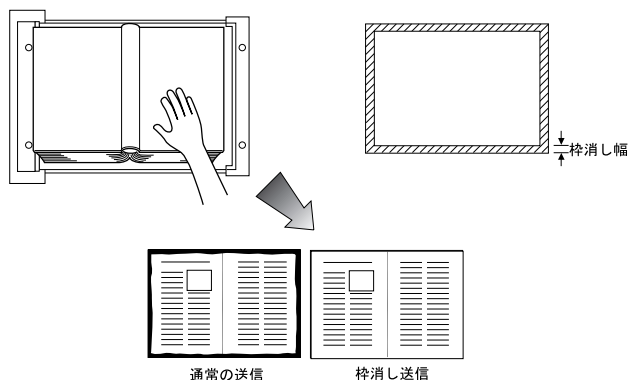
【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

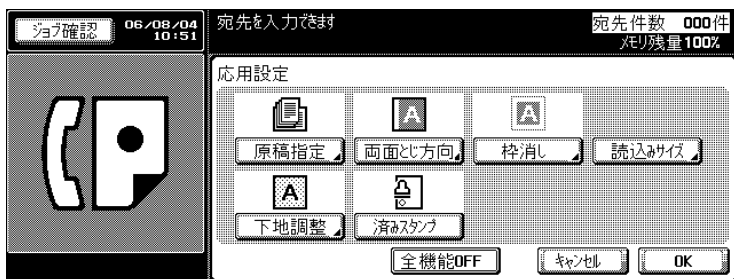
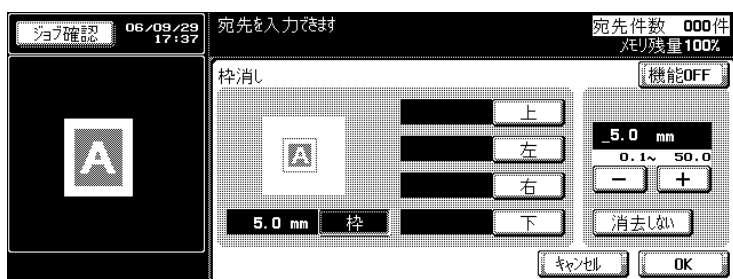
- 送信を中止する場合は p. 2-42 をごらんください。
- 送信できない場合は p. 4-2 をごらんください。

6

6.7 黒い影を消して送る（枠消し）

ADF を開いたまま原稿を読み取ったり、冊子になっている原稿を読み込むときなどに、原稿のまわりに黒い影が付いて送信されることがあります。枠消しとは、冊子になっている原稿を読み込むときなどに、上下左右に写る黒い影を消して送信する機能です。

原則

［枠消しのスペック］
原稿ガラス、ADF ともに使用できます。
枠消し量は、0.1 ～ 50 mm の範囲で、0.1 mm きざみで設定できます。
お買い上げ時の初期値枠消し量：5.0 mm
［枠消しと併用できない機能］
長尺原稿

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。
2. ［読込設定］、［応用設定］の順に押します。
3. ［枠消し］を押します。

［上］、［左］、［右］、［下］を選択し、テンキーまたは［-］、［+］を押して、それぞれに枠消し量を設定します。

5

［OK］を押します。

応用設定画面に戻ります。

6

［OK］を押します。

読込設定画面に戻ります。

7

［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

8

必要に応じて、その他の機能を設定します。

9

宛先を指定します。

10

原稿をセットします。

枠消しの設定を解除する場合は、［機能 OFF］を押します。

ファクス画面の機能設定については p. 2-16 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 6-4 をごらんください。

宛先の指定については p. 2-25 をごらんください。

原稿のセットについては
p. 2-10 をごらんください。

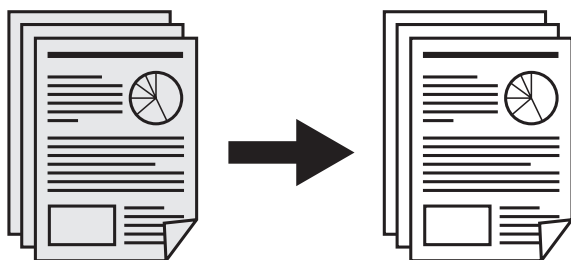
【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

参照

- 送信を中止する場合はp. 2-42 をごらんください。
- 送信できない場合はp. 4-2 をごらんください。

6.8 背景色の濃度を調整して送る（下地調整）

下地調整とは、送信データの背景色の濃さを調整する機能です。原稿の背景に色がついている場合、色を読み込んで送信データの下地が黒くなることがあります。このような場合に、送信データの背景色の濃さを調整して送信できます。

原則

[下地調整のスペック]
原稿ガラス、ADF ともに使用できます。

1 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2 [読込設定]、[応用設定] の順に押します。

3 [下地調整] を押します。

4 原稿の背景色を濃くしたいときは、[こく] を、薄くしたいときは [うすく] を押します。

元の設定に戻す場合は、[キャンセル] を押します。

5

［OK］を押します。

応用設定画面に戻ります。

6

［OK］を押します。

読込設定画面に戻ります。

7

［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

8

必要に応じて、その他の機能を設定します。

参照

ファクス画面の機能設定については p. 2-16 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 6-4 をごらんください。

9

宛先を指定します。

参照

宛先の指定については p. 2-25 をごらんください。

10

原稿をセットします。

参照

原稿のセットについては p. 2-10 をごらんください。

11

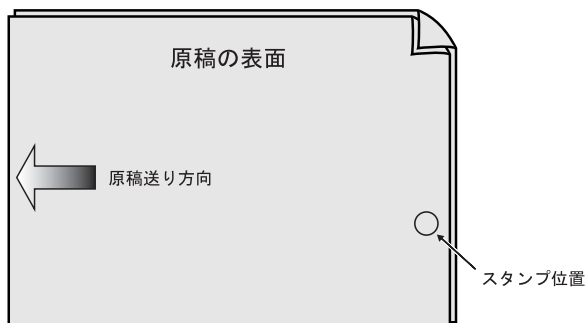
【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

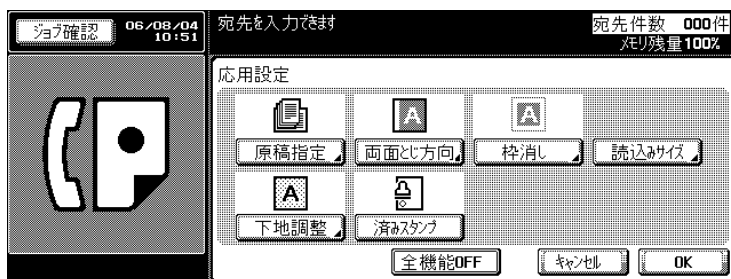
詳しく説明します

- 送信を中止する場合は p. 2-42 をごらんください。
- 送信できない場合は p. 4-2 をごらんください。

6.9 読み取ったことを確認する（済みスタンプ）

ADF を使用して送信する場合に、読み取った原稿に済みスタンプを付け、1 枚ずつ読み取ったかどうかを確認できます。済みスタンプは、直径 4 mm のピンク色の⊕印で、原稿の表面の後端に下図のようにして付けられます。なお、両面を送信する場合は、表面に済みスタンプが付けられます。

原則

FAX 済みスタンプユニット装着時のみ使用できます。
スタンプのインクは消耗品です。スタンプが薄くなった場合は、サービス管理店にお問い合わせください。
混載原稿を選択している場合は、上記の位置に済みスタンプが押されない場合があります。
済みスタンプを設定していても、原稿が多重送りした場合などは、済みスタンプは付きません。再度送信してください。
実際に、原稿が正しく送られたかどうかについては、送信結果レポートや設定確認画面の送信結果で確認してください。

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。
2. ［読込設定］、［応用設定］の順に押します。
3. ［済みスタンプ］を押します。

詳しく説明します

設定を解除するときは、もう一度［済みスタンプ］を押します。

4 ［OK］を押します。

読込設定画面に戻ります。

5 ［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

6 必要に応じて、その他の機能を設定します。

参照

ファクス画面の機能設定については p. 2-16 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 6-4 をごらんください。

7 宛先を指定します。

参照

宛先の指定については p. 2-25 をごらんください。

8 原稿をセットします。

参照

原稿のセットについては p. 2-10 をごらんください。

9 【スタート】を押します。

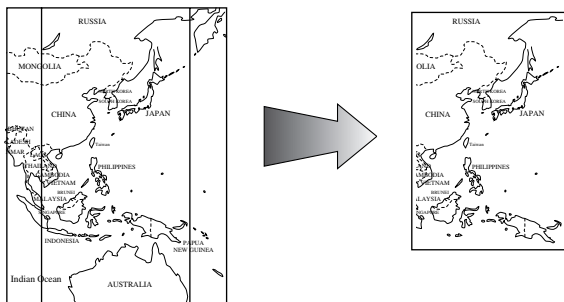
読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

参照

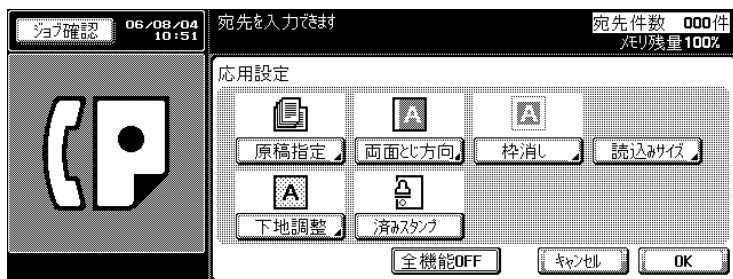
• 送信を中止する場合は p. 2-42 をごらんください。
• 送信できない場合は p. 4-2 をごらんください。

6.10 原稿を読み込むサイズを指定して送る（読込みサイズ）

読込みサイズとは、原稿を読み込むサイズを指定して送信する機能です。

受信側の用紙幅が送信原稿より小さい場合、通常は縮小して記録されます。縮小したくない場合に、原稿サイズを受信側の用紙サイズに指定すると、原寸で送信することができます。

原則

原稿を ADF にセットした場合と、原稿ガラスにセットした場合では、原稿の読み込み位置が異なります。
読込みサイズと混載原稿を同時に指定した場合は、読込みサイズで指定したサイズが適用されます。

1. 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。
2. ［読込設定］、［応用設定］の順に押します。
3. ［読込みサイズ］を押します。

4 原稿の状態に合わせ、指定する原稿サイズのキーを押します。

詳しく説明します

元の設定に戻す場合は、［キャンセル］を押します。

5 ［OK］を押します。

応用設定画面に戻ります。

6 ［OK］を押します。

読込設定画面に戻ります。

7 ［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

8 必要に応じて、その他の機能を設定します。

ファクス画面の機能設定については p. 2-16 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 6-4 をごらんください。

9 宛先を指定します。

宛先の指定については p. 2-25 をごらんください。

10 原稿をセットします。

原稿のセットについては p. 2-10 をごらんください。

【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

- 送信を中止する場合は p. 2-42 をごらんください。
- 送信できない場合は p. 4-2 をごらんください。

6

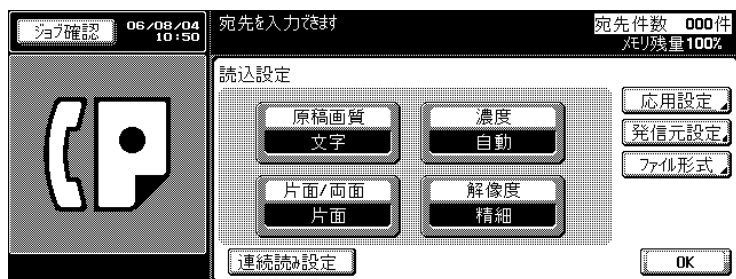
6.11 発信元情報のつけ方を指定する（発信元設定）

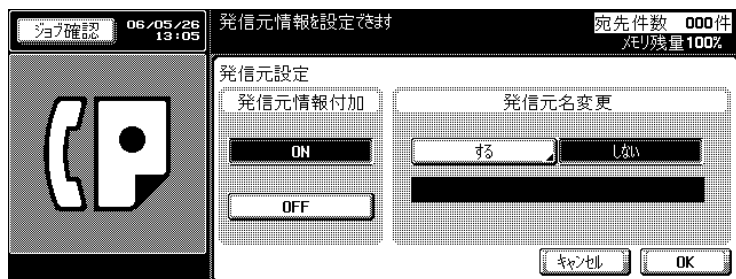
ファクス送信の際に、ジョブごとに発信元情報をつけるかどうかを指定できます。

発信元情報として原稿に付加する内容は、設定メニューの［発信元 / ファクス ID 登録］で登録します。

発信元情報のつけ方は、設定メニューの［発信元 / 受信情報］で設定します。

1 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2 ［読込設定］を押します。

3 ［発信元設定］を押します。

4 発信元情報をつけるかどうかを指定します。

［発信元 / ファクス ID 登録］、［発信元 / 受信情報］については、p. 9-40、p. 9-42 をごらんください。

詳しく説明します

- 元の設定に戻す場合は、［キャンセル］を押します。
- 発信元情報については、p. 2-48 をごらんください。
- ［発信元 / 受信情報］が OFF に設定されている場合、ファクス画面から［発信元設定］を ON に変更すると、発信元情報は原稿外に付加されます。

5 発信元名を変更する場合は［する］を押して、リストから変更したい発信元名を選択して［OK］を押します。

参照

発信元名について、詳しくは、p. 9-40 をごらんください。

6 ［OK］を押します。

読込設定画面に戻ります。

7 ［OK］を押します。

ファクス画面に戻ります。

8 必要に応じて、その他の機能を設定します。

ファクス画面の機能設定については p. 2-16 を、読込設定画面や通信設定画面の機能設定については p. 6-4 をごらんください。

9 宛先を指定します。

参照

宛先の指定については p. 2-25 をごらんください。

10 原稿をセットします。

参照

原稿のセットについては p. 2-10 をごらんください。

11 【スタート】を押します。

読み込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリに蓄積され、送信が開始されます。

- 送信を中止する場合は p. 2-42 をごらんください。
- 送信できない場合は p. 4-2 をごらんください。

6

6.12 宛先を再確認して送信する (宛先確認表示)

宛先指定が完了してスタートキーを押した後、宛先の一覧画面が件数表示とともに表示されます。宛先を再確認してから送信するので、宛先間違いによる誤送信を防止することができます。

1 操作パネルの【ファクス】を押し、ファクス画面を表示します。

2 必要に応じて、[読込設定]、[応用設定] を設定します。

3 宛先を指定します。

4 原稿をセットします。

5 【スタート】を押します。

宛先確認画面が表示されます。

6 指定した宛先が正しいことを確認して、[送信] または【スタート】を押します。

参照

宛先確認表示機能を使用するには、機能 ON/OFF 設定で宛先確認表示機能を ON に設定しておく必要があります。
宛先確認表示機能の設定については p. 9-49 をごらんください。

参照

宛先の指定については p. 2-25 をごらんください。

参照

原稿のセットについては p. 2-10 をごらんください。

第 7 章
便利な受信

便利なファクス受信について説明します。

7.1 受信文書のプリントを禁止する（強制メモリ受信）

受信した文書をメモリに蓄積し、必要に応じてプリントすることができます。この機能を強制メモリ受信と呼びます。ここでは、強制メモリ受信が設定されている場合に、受信文書をプリントする手順、受信文書を削除する手順について説明します。

強制メモリ受信の設定については p. 9-51 をごらんください。

■ 受信文書をプリントする

メモリに蓄積されている受信文書をプリントしたい場合は、次の手順で操作します。

1. 操作パネルの【ボックス】を押し、ボックス画面を表示します。
2. ［システムボックス］タブを選択します。
3. ［強制メモリ受信ボックス］を押します。

4. パスワードを入力し、［OK］を押します。

ユーザー認証機能が［ON］の場合、［個人ボックス］タブが表示されます。

- ［キャンセル］を押すと、操作が中止されます。
- 【クリア】を押すと、入力した内容が全て削除されます。

5

▼または▲でプリントしたい受信文書を選択し、[プリント] を押します。

6

【スタート】を押します。

指定した受信文書がプリントされます。

- 次の画面または前の画面を表示したい場合は、▼、または▲を押します。
- 操作を中止するときは、[プリント] を押す前に [閉じる] を押します。
- [確認プリント] を押すと、選択されたファイルの 1 枚目をプリントし、内容を確認することができます。

■ 受信文書を削除する

メモリに蓄積されている受信文書を削除したい場合は、次の手順で操作します。

1

操作パネルの【ボックス】を押し、ボックス画面を表示します。

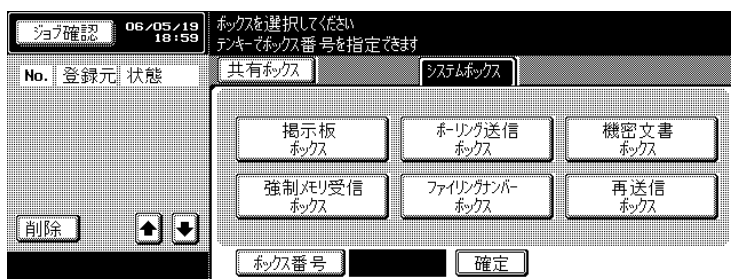
2

[システムボックス] タブを選択します。

3

[強制メモリ受信ボックス] を押します。

4

パスワードを入力し、[OK] を押します。

- [キャンセル] を押すと、操作が中止されます。
- 【クリア】を押すと、入力した内容が全て削除されます。

5

▼または▲で削除したい受信文書を選択し、[削除] を押します。

6

表示された確認画面で [はい] を押します。

指定した受信文書が削除されます。

- 次の画面または前の画面を表示したい場合は、▼または▲を押します。
- 操作を中止するときは、[閉じる] を押します。

■［受信原稿両面記録］が［ON］に設定されているときは

❍ 設定メニューの［送信 / 受信設定］で、［受信原稿両面プリント］が［ON］に設定されている場合は、用紙の両面に記録されます。
詳しくは p. 9-46 をごらんください。

From: 2002/09/20 09:38 #002 P.001

THE SLEREXE COMPANY LIMITED

SAPORS LANE BOOLE DORSET BH25 8ER
TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC 18th January, 1972.

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd.,
Holroyd Road,
Reading,
Berks.

Dear Pete,

Permit me to introduce you to the facility of facsimile transmission.

In facsimile a photocell is caused to perform a raster scan over the subject copy. The variations of print density on the document cause the photocell to generate an analogous electrical video signal. This signal is used to modulate a carrier, which is transmitted to a remote destination over a radio or cable communications link.

At the remote terminal, demodulation reconstructs the video signal, which is used to modulate the density of print produced by a printing device. This device is scanning in a raster scan synchronized with that at the transmitting terminal. As a result, a facsimile copy of the subject document is produced.

Probably you have uses for this facility in your organization.

Yours sincerely,

Phil.

P.J. CROSS
Group Leader - Facsimile Research

受信時刻: 2002/09/20 09:38 受信番号:002 P.001

第 8 章

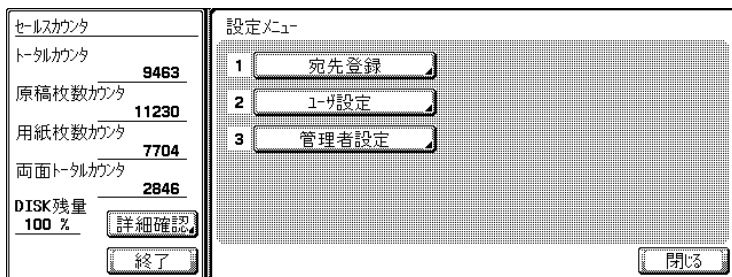
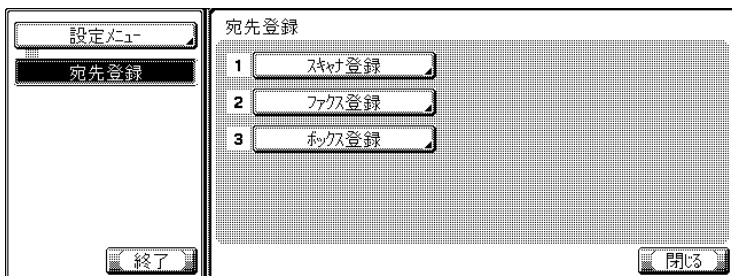
登録／設定する

短縮宛先やプログラム宛先などの登録方法を説明しています。

8.1 ファクス登録の画面を表示する

ファクス登録の画面を表示する場合は、次の手順で操作します。

1 操作パネルの【設定メニュー / カウンタ】を押し、設定メニュー画面を表示します。

2 ［宛先登録］を押します。

3 ［ファクス登録］を押します。

ファクス登録画面が表示されます。

- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［宛先登録］の場合は、テンキーで「1」を入力します。
- 設定メニューの［ユーザ操作禁止設定］で［変更禁止設定］を［禁止］に設定している場合、［宛先登録］の登録 / 変更はできません。［宛先登録］の登録 / 変更を行う場合は、管理者にお問い合わせください。

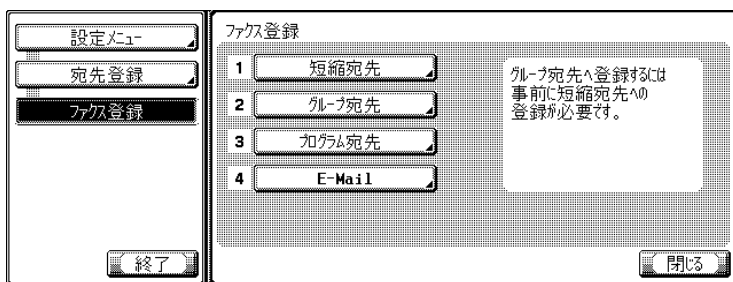
8.2 短縮宛先を登録する

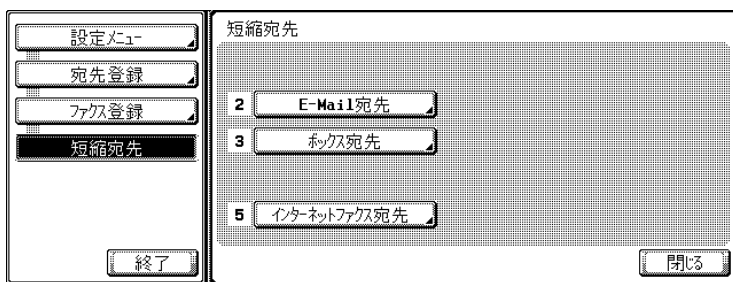
頻繁に送信する宛先のファクス番号や E-Mail アドレス、登録されているボックスを短縮宛先に登録できます。登録された短縮宛先はファクス画面の短縮 / アドレス、ダイレクト入力から使用できます。

- 短縮宛先はスキャナなど、本機の他の機能の短縮宛先を合わせ、2000 か所（0001 ～ 2000）まで登録できます。
- 短縮宛先を登録するときに、検索文字を登録しておくと、検索文字を利用して宛先を指定することができます。

ここでは、短縮宛先を登録する操作について説明しています。

■ インターネットファクス

1 「8.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2 ［短縮宛先］を押します。

3 ［インターネットファクス宛先］を押します。

- 短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先は、PageScope Web Connection を使って登録することもできます。
- PageScope Web Connection を使うと、ネットワークに接続しているパソコン上から本機の設定変更や宛先登録ができます。
  PageScope Web Connection の使い方については、「第 11 章 PageScope Web Connection」または、ユーザーズガイド（ネットワーク / スキャナ機能編）をごらんください。
- 登録した内容は、短縮宛先リストで確認できます。

参照

短縮宛先リストについて詳しくは、「短縮宛先リスト」(p. 10-17) をごらんください。

8

4 ［新規登録］を押します。

5 各項目を設定します。

登録名：	短縮宛先の名前を入力します。
E-Mail アドレス：	E-Mail アドレスを入力します。
検索文字：	検索文字の種類を選択します。
相手機受信能力：	圧縮形式、用紙サイズ、解像度を設定します。

6 ［OK］を押します。

登録が実行され、一覧に表示されます。

7 ［閉じる］を押します。

短縮宛先の登録を続けるときは、手順 4 に戻ります。

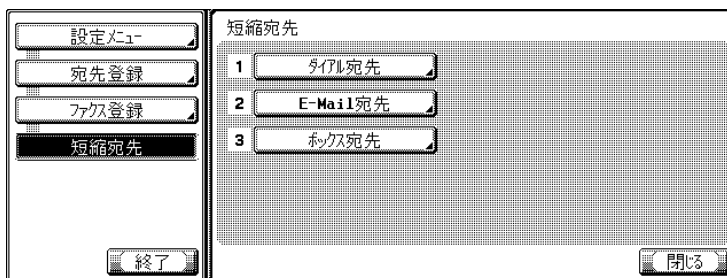
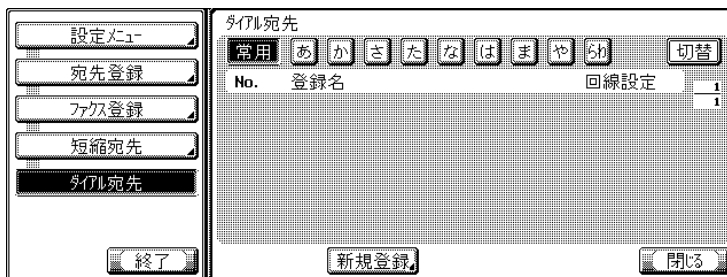
8 サブエリアの［終了］を押します。

MDN 応答を受信した場合、取得した相手機の能力情報を、登録済みの短縮宛先に自動的に上書きします。

■ SIP ファクス

1 「8.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2 ［短縮宛先］を押します。

3 ［ダイアル宛先］を押します。

4 ［新規登録］を押します。

5 SIP ファクスを使用する場合は、SIP ファクス送信をON に設定します。

6 各項目を設定します。

登録名：	短縮宛先の名前を入力します。
宛先：	テンキーでファクス番号を入力します。
検索文字：	検索文字の種類を選択します。

7 ［OK］を押します。

登録が実行され、一覧に表示されます。

8 ［閉じる］を押します。

短縮宛先の登録を続けるときは、手順 4 に戻ります。

9 サブエリアの［終了］を押します。

登録済みの短縮宛先を変更する場合、SIP ファクス送信（ON/OFF）の変更はできません。

SIP ファクスの電話番号と、通常のファクスの電話番号は異なります。入力の際は、お間違えのないようにご注意ください。

■ IP アドレスファクス

1 「8.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2 ［短縮宛先］を押します。

3 ［IP アドレスファクス宛先］を押します。

4 ［新規登録］を押します。

5 各項目を設定します。

登録名：	短縮宛先の名前を入力します。
IP アドレス：	IP アドレスまたはホスト名を入力します。
検索文字：	検索文字の種類を選択します。
ポート番号：	ポート番号を設定します。

6 ［OK］を押します。

登録が実行され、一覧に表示されます。

7 ［閉じる］を押します。

短縮宛先の登録を続けるときは、手順 4 に戻ります。

8 サブエリアの［終了］を押します。

8.3 グループ宛先を登録する

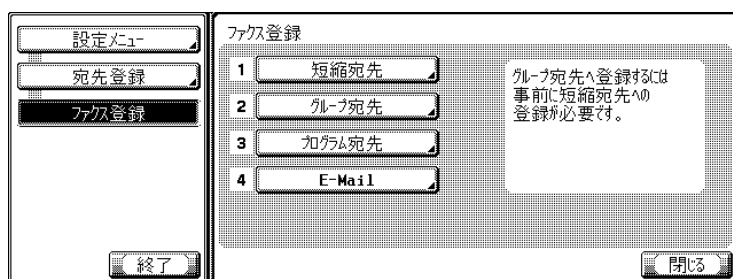
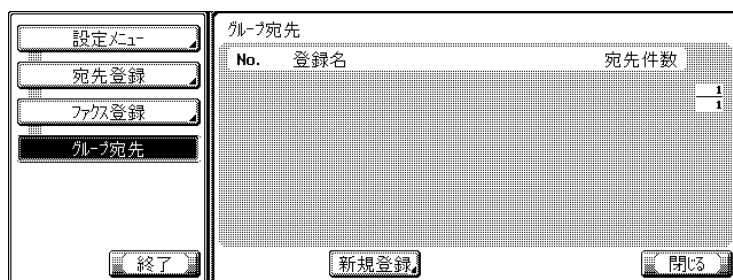
複数の短縮 No. をグループ化して、グループ宛先に登録することができます。同じ内容を同報することが多い場合に便利です。

- グループ宛先は、スキャナ機能で使用するグループとあわせて、100 グループ（01 ～ 99、00）まで登録できます。
- ひとつのグループ宛先には短縮 No. を 500 か所まで登録できます。
- グループ宛先に登録できる宛先は短縮宛先です。宛先を短縮宛先に登録してからグループ宛先登録の操作をしてください。
- 各グループにグループ名を登録できます。

ここでは、グループ宛先に宛先とグループ名を登録する操作について説明しています。

■ インターネットファクス

1 「8.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2 ［グループ宛先］を押します。

3 ［新規登録］を押します。

- 短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先は、PageScope Web Connection を使って登録することもできます。
- PageScope Web Connection を使うと、ネットワークに接続しているパソコン上から本機の設定変更や宛先登録ができます。
  PageScope Web Connection の使い方については、「第 11 章 PageScope Web Connection」または、ユーザーズガイド（ネットワーク / スキャナ機能編）をごらんください。
- 登録した内容は、グループ宛先リストで確認できます。

参 照

- グループ宛先リストについて詳しくは、「グループ宛先リスト」（p. 10-20）をごらんください。
- 短縮宛先の登録について詳しくは、「短縮宛先を登録する」（p. 8-3）をごらんください。

4 各項目を設定します。

登録名：	グループ宛先の名前を入力します。
宛先：	［インターネットファクス宛先］からグループ宛先に登録する短縮宛先を選択します。 インターネットファクス宛先と、ボックス宛先、E-mail 宛先は同時に登録できません。

5 ［OK］を押します。

登録が実行され、一覧に表示されます。

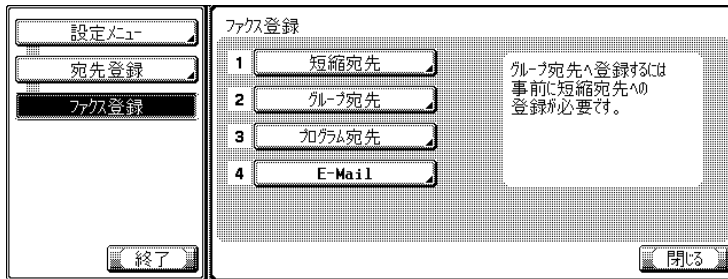
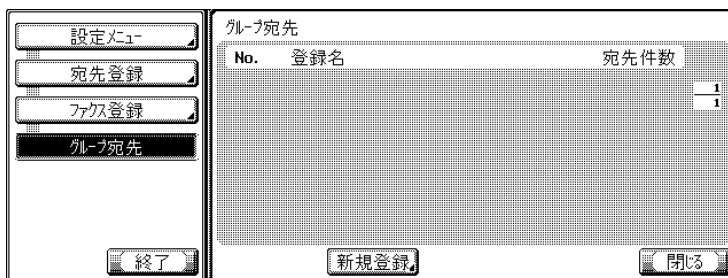
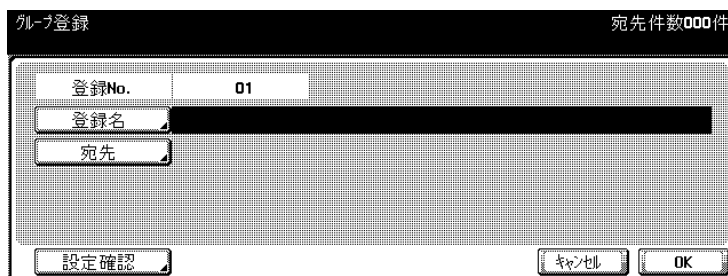
6 ［閉じる］を押します。

グループ宛先の登録を続けるときは、手順 3 に戻ります。

7 サブエリアの［終了］を押します。

■ SIP ファクス

1 「8.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2 [グループ宛先] を押します。

3 [新規登録] を押します。

4 各項目を設定します。

登録名：	グループ宛先の名前を入力します。
宛先：	[ダイアル宛先] からグループ宛先に登録する短縮宛先を選択します。 SIP ファクス宛先と、ボックス宛先、E-mail 宛先は同時に登録できません。

5 ［OK］を押します。

登録が実行され、一覧に表示されます。

6 ［閉じる］を押します。

グループ宛先の登録を続けるときは、手順 3 に戻ります。

7 サブエリアの［終了］を押します。

■ IP アドレスファクス

1 「8.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2 ［グループ宛先］を押します。

3 ［新規登録］を押します。

4 各項目を設定します。

登録名：	グループ宛先の名前を入力します。
宛先：	［IP アドレスファクス宛先］からグループ宛先に登録する短縮宛先を選択します。 IP アドレスファクス宛先と、ボックス宛先、E-mail 宛先は同時に登録できません。

5

［OK］を押します。

登録が実行され、一覧に表示されます。

6

［閉じる］を押します。

グループ宛先の登録を続けるときは、手順 3 に戻ります。

7

サブエリアの［終了］を押します。

8.4 プログラム宛先を登録する

頻繁に送信する宛先と、定型で使う読込設定を組み合わせて、プログラム宛先に登録できます。プログラム宛先にこれらを登録しておくと、［プログラム］のプログラムキーを押すだけで、登録されている宛先と各機能を設定して送信できます。

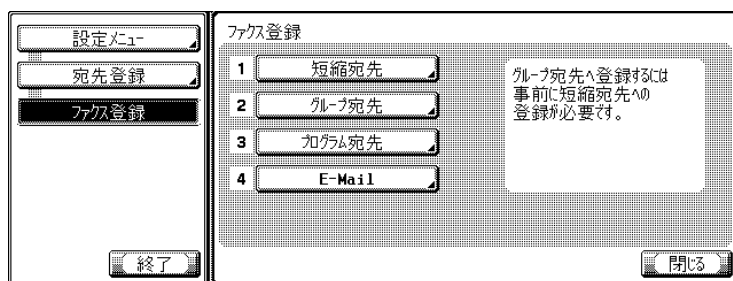
- プログラム宛先は、スキャナなど、本機の他の機能のプログラム宛先を合わせ、400 個（001 ～ 400）まで登録できます。
- プログラムには、プログラム名を登録できます。

ここでは、プログラム宛先を登録する操作について説明しています。

■ プログラム宛先を登録する

プログラム宛先を登録する場合は、次の手順で操作します。

1 「8.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2 ［プログラム宛先］を押します。

3 登録したいプログラム No. を選択し、［編集］を押します。

- 短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先は、PageScope Web Connection を使って登録することもできます。
- PageScope Web Connection を使うと、ネットワークに接続しているパソコン上から本機の設定変更や宛先登録ができます。

PageScope Web Connection の使い方については、「第 11 章 PageScope Web Connection」または、ユーザーズガイド（ネットワーク / スキャナ機能編）をごらんください。

各項目を設定します。

登録名：	プログラム宛先の名前を入力します。
宛先：	［宛先表から選択］または［ダイレクト入力］から、宛先を入力します。
読込設定：	読込設定を設定する場合は、［する］を押し、各機能を設定します。
通信設定：	通信設定を設定する場合は、［する］を押し、各機能を設定します。宛先がインターネットファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクスの場合は、使用しません。また宛先が G3 ファクスの場合は、［E-mail 設定］は使用しません。

5

［OK］を押します。

登録が実行され、一覧に表示されます。

6

［閉じる］を押します。

プログラム宛先の登録を続けるときは、手順 3 に戻ります。

7

サブエリアの［終了］を押します。

宛先に短縮宛先を指定する場合、短縮宛先の設定内容よりもプログラム宛先の設定内容が優先されます。

8.5 E-Mail のタイトルや本文を登録する

E-Mail のタイトルや本文を登録できます。ここでは、E-Mail のタイトルと本文について、それぞれ、登録する操作、変更する操作、削除する操作、初期値を設定する操作について説明します。

E-Mail のタイトルは 10 件まで、本文は 10 件まで登録できます。

■ E-Mail のタイトルを登録する

E-Mail のタイトルを登録する場合は、次の手順で操作します。

1 「8.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2 ［E-Mail］を押します。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［E-Mail］の場合は、テンキーで「4」を入力します。

3 ［タイトル］を押します。

8

4 ［新規登録］を押します。

5 ［タイトル］を押します。

6 表示された画面で、タイトルを入力し、［OK］を押します。

7 ［OK］を押します。

登録が実行され、一覧に表示されます。

8 ［閉じる］を押します。

タイトルの登録を続けるときは、手順 4 に戻ります。

9 サブエリアの［終了］を押します。

- E-Mail のタイトルは全角 32 文字（半角 64 文字）まで入力できます。
- ［登録 No.］には、未使用の登録 No. が表示されます。

文字入力の操作については、p. 12-3 をごらんください。

登録を中止する場合は、［キャンセル］を押します。

■ E-Mail のタイトルを変更する

E-Mail のタイトルを変更する場合は、次の手順で操作します。

1 「8.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2 ［E-Mail］を押します。

3 ［タイトル］を押します。

4 変更したいタイトルを選択し、［編集］を押します。

詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［E-Mail］の場合は、テンキーで「4」を入力します。

- ▼ または ▲ を押すと、表示するページを変更できます。
- タイトルを選択して［詳細］を押すと、設定状態を確認できます。

5　［タイトル］を押します。

6　表示された画面で、タイトルを変更し、［OK］を押します。

文字入力の操作については、p. 12-3 をごらんください。

7　［OK］を押します。

タイトルが変更されます。

変更を中止する場合は、［キャンセル］を押します。

8　［閉じる］を押します。

タイトルの変更を続けるときは、手順 4 に戻ります。

9　サブエリアの［終了］を押します。

■ E-Mail のタイトルの初期値を設定する

ここで初期値に設定したタイトルが、インターネットファクス送信で使用されます。E-Mail のタイトルの初期値を設定する場合は、次の手順で操作します。

1. 「8.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2. ［E-Mail］を押します。

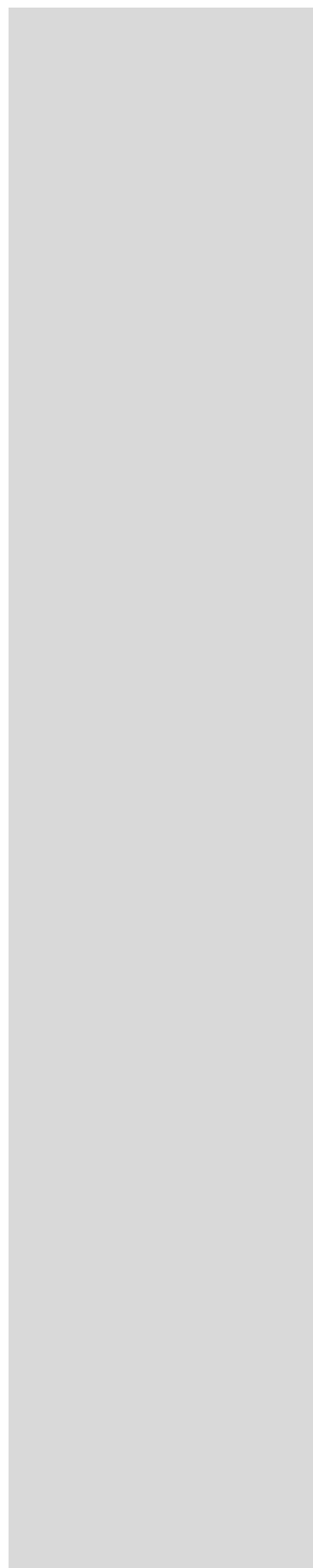
3. ［タイトル］を押します。

4. 初期値に設定したいタイトルを選択し、［初期値設定］を押します。

5. ［閉じる］を押します。

詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［E-Mail］の場合は、テンキーで「4」を入力します。

サブエリアの［終了］を押します。

■ E-Mail の本文を登録する

E-Mail の本文を登録する場合は、次の手順で操作します。

1. 「8.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

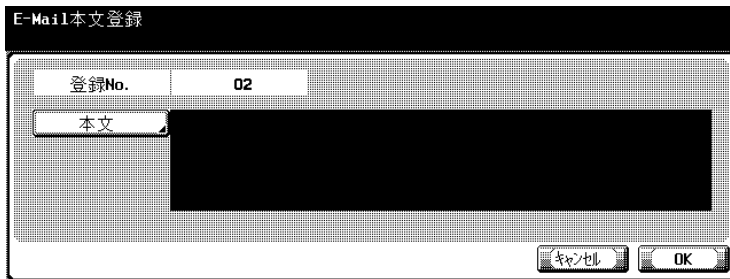
2. ［E-Mail］を押します。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［E-Mail］の場合は、テンキーで「4」を入力します。

3. ［本文］を押します。

4. ［新規登録］を押します。

8

5 ［本文］を押します。

6 表示された画面で、本文を入力し、［OK］を押します。

7 ［OK］を押します。

登録が実行され、一覧に表示されます。

8 ［閉じる］を押します。

本文の登録を続けるときは、手順 4 に戻ります。

9 サブエリアの［終了］を押します。

- E-Mail の本文は全角 128 文字（半角 256 文字）まで入力できます。
- ［登録 No.］には、未使用の登録 No. が表示されます。

文字入力の操作については、p. 12-3 をごらんください。

登録を中止する場合は、［キャンセル］を押します。

■ E-Mail の本文を変更する

E-Mail の本文を変更する場合は、次の手順で操作します。

1 「8.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

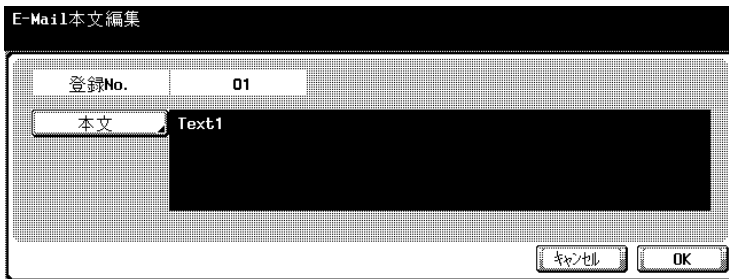
2 ［E-Mail］を押します。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［E-Mail］の場合は、テンキーで「4」を入力します。

3 ［本文］を押します。

4 変更したい本文を選択し、［編集］を押します。

- ▼または▲を押すと、表示するページを変更できます。
- 本文を選択して［詳細］を押すと、設定状態を確認できます。

5 ［本文］を押します。

6 表示された画面で、本文を変更し、［OK］を押します。

文字入力の操作については、p. 12-3 をごらんください。

7 ［OK］を押します。

本文が変更されます。

変更を中止する場合は、［キャンセル］を押します。

8 ［閉じる］を押します。

本文の変更を続けるときは、手順 4 に戻ります。

9 サブエリアの［終了］を押します。

■ E-Mail の本文の初期値を設定する

ここで初期値に設定した本文が、インターネットファクス送信で使用されます。E-Mail の本文の初期値を設定する場合は、次の手順で操作します。

1 「8.1 ファクス登録の画面を表示する」を参照し、ファクス登録画面を表示します。

2 ［E-Mail］を押します。

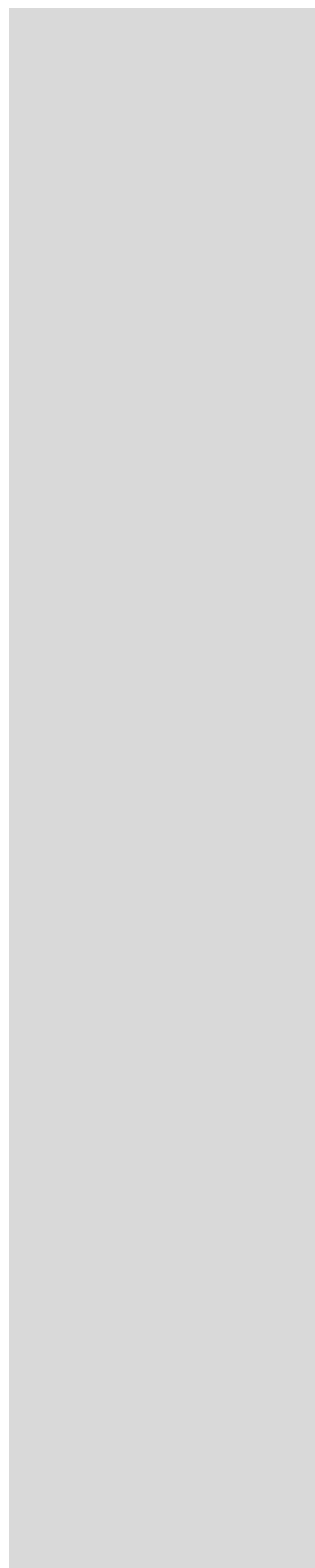
3 ［本文］を押します。

4 初期値に設定したいタイトルを選択し、［初期値設定］を押します。

5 ［閉じる］を押します。

詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［E-Mail］の場合は、テンキーで「4」を入力します。

サブエリアの［終了］を押します。

8.6 強制メモリ受信ボックスを設定する

設定メニューで、［強制メモリ受信設定］が ON に設定されている場合は、受信文書は強制メモリ受信ボックスに保存されます。

参照

強制メモリ受信での受信文書のプリント方法については、p. 7-2 をごらんください。

第 9 章
設定メニュー

設定メニューのファクス設定の操作、画面切り替えの操作について説明します。

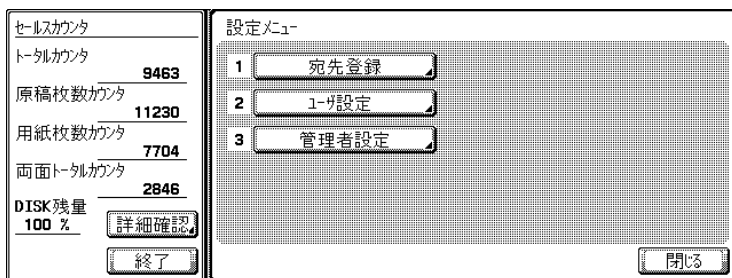
9.1 設定メニューの操作について

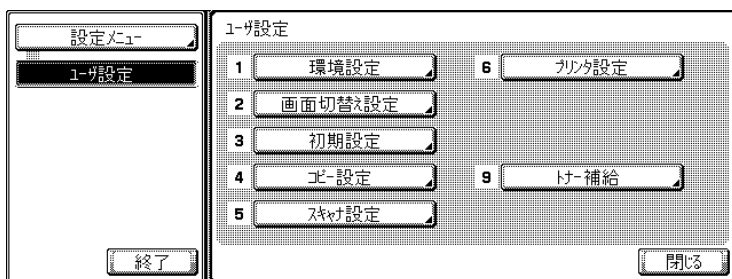
設定メニューには、本機の管理にかかわる設定が用意されています。混乱をきたさないために、本機を管理する管理者をお決めいただくことをおすすめします。

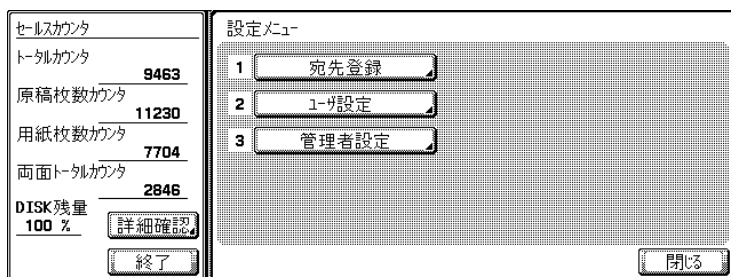
ここでは、設定メニューのうち、[ユーザ設定] および [管理者設定] について、画面を表示する方法、終了する方法を説明します。

■ ユーザ設定画面を表示するには

1 操作パネルの【ファクス】を押し、【設定メニュー / カウンタ】を押し、設定メニュー画面を表示します。

2 [ユーザ設定] を押します。

■ ユーザ設定画面を終了するには

1 サブエリアの [終了] を押します。

■ 管理者設定画面を表示するには

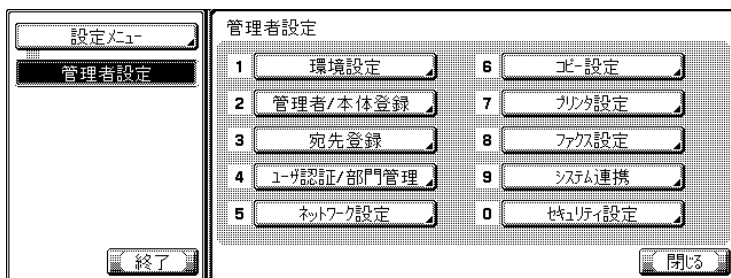
1. 操作パネルの【ファクス】を押し、【設定メニュー / カウンタ】を押し、設定メニュー画面を表示します。

2. ［管理者設定］を押します。

3. 管理者のパスワードを入力し、［OK］を押します。

■ 管理者設定画面を終了するには

1. サブエリアの［終了］を押します。

- 管理者のパスワードは、［セキュリティ設定］で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

9

9.2 設定メニュー一覧

ネットワークファクス機能に関連したユーティリティ操作には、次の設定項目があります。
I は、インターネットファクスの場合に表示されます。
SIP は、SIP ファクスの場合に表示されます。
IP は、IP アドレスファクスの場合に表示されます。
* はお買い上げ時の初期値です。

■ ユーザ設定＞画面切替え設定＞ファクス設定

ファクス画面の初期状態を設定します。（p. 9-16）

	項目	説明	設定できる値
I SIP IP	基本画面表示	ファクス画面の宛先欄の初期値を設定します。	プログラム* / グループ / 短縮 / アドレス / ダイレクト入力
I SIP IP	プログラム初期表示	プログラムキーの初期値を設定します。	一時配信 / PAGE1 *～PAGE27
I SIP IP	短縮 / アドレス初期表示	短縮 / アドレスの初期値を設定します。	常用* / あ～ etc
I SIP IP	宛先種類記号表示	宛先種類の記号を表示するかどうかを設定します。	する* / しない
I SIP IP	宛先名表示文字数	宛先名の表示文字数を設定します。	14 文字* / 24 文字

■ ユーザ設定＞画面切替え設定＞ファクス動作中画面

送信中、受信中のメッセージを画面に表示するかどうかを設定
します。（p. 9-18）

	項目	説明	設定できる値
I SIP IP	送信中画面表示	［送信中］のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。	ON / OFF *
I SIP IP	受信中画面表示	［受信中］のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。	ON / OFF *

■ ユーザ設定＞初期設定

ファクス機能の初期設定値を設定できます。（p. 9-20）

項目		説明	設定できる値
I SIP IP	ファクス設定	ファクス機能初期値を設定します。	現在の設定値 / 出荷時の設定値 *

■ 管理者設定＞環境設定＞パワーセーブ設定＞パワーセーブ移行-ファクス

パワーセーブ状態への移行について設定します。（p. 9-22）

項目		説明	設定できる値
I SIP IP	パワーセーブ移行 - ファクス	即時に設定すると、パワーセーブ中に受信した場合、印字完了後即時にパワーセーブ状態になります。	通常 * / 即時

■ 管理者設定＞環境設定＞ユーザ操作禁止設定＞操作禁止設定＞ファクス複数宛先禁止

ファクスの複数宛先の送信を禁止します。（p. 9-24）

項目		説明	設定できる値
I SIP IP	ファクス複数宛先禁止	ファクスの複数宛先の送信を禁止します。	する / しない *

■ 管理者設定＞管理者 / 本体登録＞管理者登録

管理者の E-mail アドレスを入力します。SIP ファクス /IP アドレスファクスの From アドレスとして使用します。（p. 9-26）

項目		説明	設定できる値
SIP IP	管理者登録	本機の管理者を登録します。	名前 /E-Mail アドレス

■ 管理者設定＞管理者 / 本体登録＞本体アドレス登録

インターネットファクスで使用する本体 E-mail アドレスを設定します。（p. 9-27）

項目		説明	設定できる値
I	本体アドレス登録	本機の E-Mail アドレスと名称を登録します。	装置名 /E-Mail アドレス

9

■ 管理者設定＞ネットワーク設定＞ TCP/IP 設定

本機をネットワーク環境で使用するために設定します。（p. 9-34）
詳しくは、「ユーザーズガイド　ネットワーク / スキャナ機能編」をごらんください。

	項目	説明	設定できる値
I SIP IP	TCP/IP 設定	TCP/IP を設定します。	使用する * / 使用しない 使用するを設定した場合は、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。

■ 管理者設定＞ネットワーク設定＞ E-Mail 設定＞ E-mail 送信 (SMTP)

E-mail 送信（SMTP）を設定します。（p. 9-30）

E-mail 送信 (SMTP) の他の設定項目は、インターネットファクスでは使用しません。詳しくは、「ユーザーズガイド (ネットワーク / スキャナ機能編)」をごらんください。

項目			説明	設定できる値
I	E-mail 送信（SMTP）	E-mail 送信設定	E-mail 送信を使用するかどうかを設定します。	使用する * / 使用しない
		SMTP サーバアドレス	SMTP サーバの IP アドレスまたはホスト名を設定します。	-
		接続タイムアウト	接続タイムアウトを設定します。	30 ～ 300（60 秒 *）
		サーバ容量	SMTP サーバが受信できるメール 1 通あたりの最大容量を設定します。	1 ～ 100Mbyte/ 無制限 *
		ポート番号	ポート番号を設定します。	1 ～ 65535（25 *）
		詳細設定＞認証設定	POP Before SMTP および SMTP 認証を行うかどうかの設定をします。	使用する / 使用しない * POP Before SMTP を使用する場合は POP Before SMTP 時間を設定します。 （0 ～ 60（5 秒 *））

9

■ 管理者設定＞ネットワーク設定＞ E-Mail 設定＞ E-mail 受信 (POP)

E-mail 受信（POP）を設定します。（p. 9-32）

E-mail 受信 (POP) の他の設定項目は、インターネットファクスでは使用しません。詳しくは、「ユーザーズガイド (ネットワーク / スキャナ機能編)」をごらんください。

項目			説明	設定できる値
I	E-mail 受信（POP）	E-mail 受信設定	E-mail 受信を使用するかどうかを設定します。	使用する＊ / 使用しない
		POP サーバアドレス	POP サーバの IP アドレスまたはホスト名を設定します。	-
		ログイン名	POP サーバへのログイン名を設定します。	-
		パスワード	POP サーバへログインするためのパスワード設定します。	-
		詳細設定＞認証設定	APOP 認証、ポート番号、接続タイムアウトを設定します。	APOP 認証： ON/OFF ＊ ポート番号： 1 ～ 65535（110 ＊） 接続タイムアウト：30 ～ 300（30 秒＊）
		自動到着チェック	メールの自動取得を行うかどうかを設定します。自動取得を行う場合は、ポーリング間隔を指定します。	する / しない＊ ポーリング間隔：1 ～ 60（15 分＊）

■ 管理者設定＞ネットワーク設定＞ネットワークファクス設定

ネットワークファクスに関する項目を設定します。（p. 9-37）

項目			説明	設定できる値
ネットワークファクス機能設定	IP	IP アドレスファクス機能	IP アドレスファクスを利用する場合に ON に設定します。	ON / OFF *
	SIP	SIP ファクス機能	SIP ファクスを利用する場合に ON に設定します。	ON / OFF * ON の場合は、SIP-FAX アダプタの IP アドレスとポート番号を設定
	I	インターネットファクス機能	インターネットファクスを利用する場合に ON に設定します。	ON / OFF *
SIP IP	SMTP 送信設定	ポート番号	SMTP 送信時のポート番号を設定します。	1 〜 65535(25*) ポート番号の設定は、IP アドレスファクス使用時のみ有効です。SIP ファクス使用時は、この設定は無効で、ポート番号は 25 固定です。
		接続タイムアウト	SMTP 送信時の接続タイムアウト時間を設定します。	30 〜 300 秒 (60 秒 *)
SIP IP	SMTP 受信設定	SMTP 受信	SMTP 受信機能を、使用するかどうかを設定します。	使用する */ 使用しない
		ポート番号	SMTP 受信時のポート番号を設定します。	1 〜 65535(25*) ポート番号の設定は、IP アドレスファクス使用時のみ有効です。SIP ファクス使用時は、この設定は無効で、ポート番号は 25 固定です。
		接続タイムアウト	SMTP 受信時の接続タイムアウト時間を設定します。	5 〜 1000 秒 (60 秒 *)

■ 管理者設定＞ファクス設定＞発信元 / ファクス ID 登録

発信元名とファクス ID を登録します。（p. 9-40）

項目		説明	設定できる値
I SIP IP	発信元名	登録した名前が相手側の受信文書に発信元情報として印字されます。	全角 15 文字（半角 30 文字）以内
SIP IP	ファクス ID	登録したファクス ID が相手側の受信文書に発信元情報として印字されます。通常はマシンのファクス番号を入力します。SIP ファクス /IP アドレスファクスの場合も、G3 ファクスとして登録したファクス ID が、発信元情報として相手に通知されます。	0 ～ 9、＋、スペース、＊、＃を使って 20 文字以内
I SIP IP	発信元名登録	最大 20 件の発信元名を登録します。登録した発信元名は、送信時に選択できます。	-

■ 管理者設定＞ファクス設定＞発信元 / 受信情報

発信元情報と受信情報の付けかたを設定します。（p. 9-42）

項目		説明	設定できる値
I SIP IP	発信元情報	発信元情報を印字する位置を設定します。	原稿内 / 原稿外 * / OFF
I SIP IP	受信情報	受信日付、受信時刻と受信番号を受信文書に印字するかを設定します。	原稿内 / 原稿外 / OFF *

■ 管理者設定＞ファクス設定＞回線パラメータ設定

SIP ファクス /IP アドレスファクス使用時は、オートリダイアル回数、オートリダイアル間隔を設定します。(p.9-31)

これらは通常のファクス機能と共用します。回線パラメータ設定の他の項目について詳しくは、「ユーザーズガイド（ファクシミリ機能編）」をごらんください。

項目		説明	設定できる値
SIP IP	オートリダイアル回数	相手が話し中などで応答できない場合にリダイアルする回数を設定します。	0 ～ 7 回（3 回 *）
	オートリダイアル間隔	リダイアルの間隔を設定します。	1 ～ 15 分（3 分 *）

9

■ 管理者設定＞ファクス設定＞送信 / 受信設定

受信に関する項目を設定します。（p. 9-46）

	項目	説明	設定できる値
I SIP IP	受信原稿両面プリント	ON に設定すると、受信原稿が用紙の両面にプリントされます。	OFF * / ON
I SIP IP	インチ系用紙優先選択	ON に設定すると受信原稿の記録用紙にインチ系用紙を優先的に選択します。	OFF * / ON
I SIP IP	記録用紙優先選択	各サイズの優先を設定した場合：優先サイズに記録されます。優先サイズが設定されていない場合は、もっとも近いサイズに記録されます。 各サイズの固定を設定した場合：設定したサイズだけに記録されます。	自動選択*／サイズ固定／サイズ優先
I SIP IP	記録用紙サイズ [*1]	受信文書を出力する用紙サイズを設定します。 初期設定は［インチ系用紙優先選択］の設定によって異なります。	A3 / B4 / A4 * / $8^1/_2$ × 11 / $8^1/_2$ × 14 / 11 × 17
I SIP IP	給紙トレイ固定 [*2]	受信文書の出力に使用する用紙トレイを固定したい場合に用紙トレイを設定します。	自動* / トレイ 1 / トレイ 2 / トレイ 3 / トレイ 4
I SIP IP	縮小率	受信原稿の出力倍率を設定します。	87 ～ 96% * / 等倍
I SIP IP	ページ分割記録	ON に設定すると定形サイズより長い原稿を受信した場合に、ページ分割して記録されます。	OFF * / ON
I SIP IP	受信プリント部数	受信した文書をプリントする部数を設定します。	1 * ～ 10

[*1] ［記録用紙サイズ］の設定を有効にするには、［給紙トレイ固定］を［自動］に設定してください。
[*2] トレイの種類は、装着しているオプションにより異なります。

■ 管理者設定＞ファクス設定＞機能設定

送受信に関する機能の ON/OFF を設定します。（p. 9-49）

機能設定の他の項目について詳しくは、「ユーザーズガイド（ファクシミリ機能編）」をごらんください。

	項目		説明	設定できる値
I SIP IP	機能 ON/ OFF 設定	宛先確認表示機能	ファクス送信時に、指定した宛先一覧を表示するかどうかを設定します。	ON/ OFF ＊
I SIP IP	強制メモリ受信設定		強制メモリ受信機能を使用するかどうかを設定します。 ON に設定する場合は、プリント時に使用するパスワード（8 桁以内）を設定します。 強制メモリ受信とは、受信した文書をすぐにプリントせず、いったんメモリに蓄積し、指示をしてからプリントする機能です。	ON / OFF ＊ パスワードを 8 桁以内で設定

■ 管理者設定＞ファクス設定＞レポート出力設定

レポートのプリント方法を設定します。（p. 9-53）

	項目	説明	設定できる値
I SIP IP	通信管理レポート	レポートをプリントするかどうか、また、いつプリントするかを設定します。	OFF / 毎日 / 100通信毎＊ / 100/ 毎日 通信管理レポートの出力設定を［毎日］または［100/ 毎日］に設定した場合は、レポートを出力する時間も設定できます。
I SIP IP	送信結果レポート		常時 / エラー時のみ＊ / OFF
I SIP IP	順次通信結果レポート		ON ＊ / OFF
SIP IP	同報結果レポート出力	同報送信結果レポートのプリント方法を設定します。	全宛先一括＊ / 一宛先毎
I SIP IP	送信結果レポート画面	送信結果レポートの選択画面を表示するかどうかを設定します。［表示する］に設定すると、送信のたびに表示されます。	表示しない＊ / 表示する

項目		説明	設定できる値
I SIP IP	NW ファクス受信エラーレポート	ネットワークファクス受信エラーレポートをプリントするかどうかを設定します。	ON ＊ / OFF
I	MDN メッセージ	MDN メッセージを自動的にプリントするかどうかを設定します。	印刷しない / 印刷する＊
I	DSN メッセージ	DSN メッセージを自動的にプリントするかどうかを設定します。	印刷しない＊ / 印刷する
I	正常受信メール本文	受信したメールの本文を自動的にプリントするかどうかを設定します。	印刷しない / 印刷する＊

■ 管理者設定＞ファクス設定＞ネットワークファクス設定

ネットワークファクスの機能を設定します。（p. 9-56）

項目			説明	設定できる値
I SIP IP	白黒 2 値圧縮方法		モノクロ送信モード時の白黒 2 値圧縮方法を設定します。	MH*/MR/MMR
SIP	SIP アダプタ接続確認		SIP-FAX アダプタとの接続が正常かどうかを確認できます。	-
I	I-Fax 自機受信能力	圧縮形式	圧縮形式に関する受信能力を設定します。	MH/MR/MMR
		用紙サイズ	用紙サイズに関する受信能力を設定します。	A3/B4/A4
		解像度	解像度に関する受信能力を設定します。	普通 / 精細 / 高精細 / 超高精細 (I-Fax 拡張設定＞最高解像度で［高精細] が設定されている場合は、［超高精細］は非表示)
I	I-Fax 拡張設定	MDN 要求	MDN 要求をするかどうかを設定します。	送出する＊ / しない
		DSN 要求	DSN 要求をするかどうかを設定します。	送出する / 送出しない＊
		MDN 応答	MDN 応答をするかどうかを設定します。	応答する＊ / しない
		MDN/DSN 応答監視時間	MDN/DSN の応答監視をするかどうかを設定します。	1 ～ 99/ 監視しない（初期設定は 24 時間）
		最高解像度	最高解像度を選択します。	高精細 / 超高精細＊

■ 管理者設定＞ファクス設定＞設定値リスト

参照

設定値リストについては、p. 10-29 をごらんください。

■ 管理者設定＞セキュリティ設定＞セキュリティ詳細＞ FAX 送信禁止

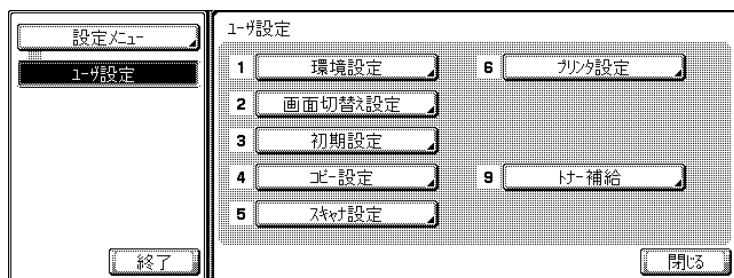
ファクス送信に関する機能を禁止します。（p. 9-59）

項目		説明	設定できる値
I SIP IP	FAX 送信禁止	ファクス送信に関する機能をすべて禁止し、操作パネルの【ファクス】ボタンからの操作を受け付けません。	ON / OFF ＊

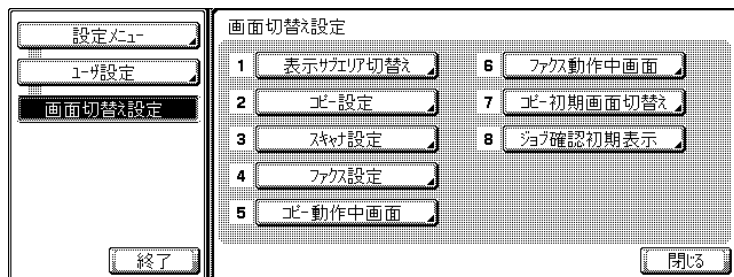
9.3 ファクス画面の初期状態を設定する（ファクス設定）

ファクス画面の初期状態を設定します。ここで選択した項目が初期値として表示されます。

- 基本画面表示: プログラム* / グループ / 短縮 / アドレス / ダイレクト入力
  - ファクス画面の宛先欄の初期値を設定します。
- プログラム初期表示：一時配信 / PAGE1 * ～ PAGE27
  - プログラムキーの初期値を設定します。
- 短縮 / アドレス初期表示：常用* / あ～ etc
  - 短縮 / アドレスの初期値を設定します。
- 宛先種類記号表示：する* / しない
  - 宛先種類の記号を表示するかどうかを設定します。
- 宛先名表示文字数：14 文字* / 24 文字
  - 宛先名の表示文字数を設定します。

*はお買い上げ時の初期値です。

1 「ユーザ設定画面を表示するには」（p. 9-2）を参照し、ユーザ設定画面を表示します。

2 ［画面切替え設定］を押します。

3 ［ファクス設定］を押します。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［画面切替え設定］の場合は、テンキーで「2」を入力します。

設定したい項目を選択します。

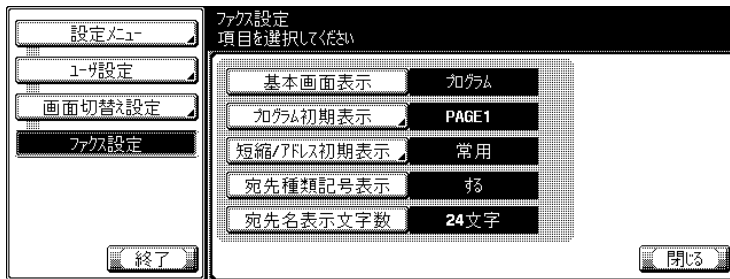
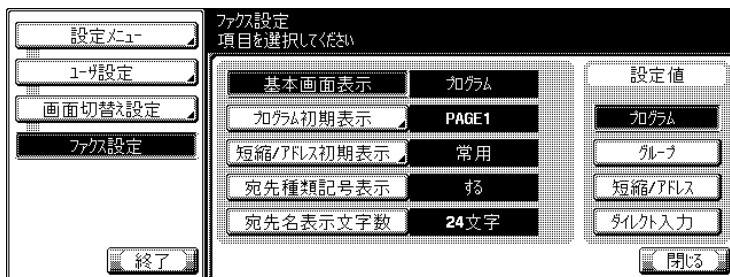
5

表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。

6

［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

7

サブエリアの［終了］を押します。

設定メニュー画面を終了する場合は、サブエリアの［終了］を押します。

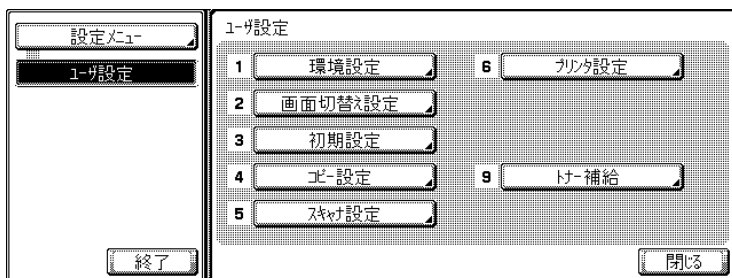
9

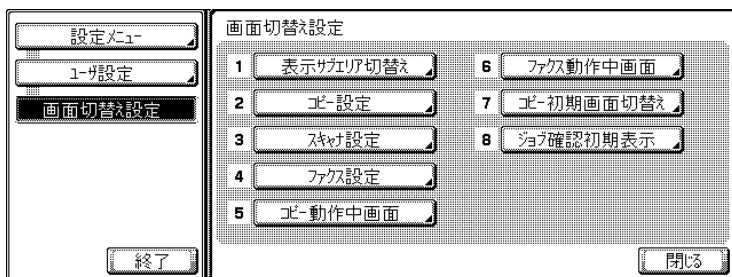
9.4　ファクス動作中の画面を設定する（ファクス動作中画面）

送信中、受信中のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。

- 送信中画面表示：ON / OFF *
  - 「送信中」のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。
- 受信中画面表示：ON / OFF *
  - 「受信中」のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。

* はお買い上げ時の初期値です。

1 「ユーザ設定画面を表示するには」（p. 9-2）を参照し、ユーザ設定画面を表示します。

2 ［画面切替え設定］を押します。

3 ［ファクス動作中画面］を押します。

詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［画面切替え設定］の場合は、テンキーで「2」を入力します。

［送信中画面表示］または［受信中画面表示］を選択します。

設定メニュー画面を終了する場合は、サブエリアの［終了］を押します。

5

［ON］または［OFF］のキーを押します。

6

［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

7

サブエリアの［終了］を押します。

9.5 ファクス機能の初期設定値を設定する（初期設定）

ファクス機能の初期設定値を設定できます。

主電源を [ON] にしたとき、または【リセット】を押したときに選択されるファクス機能を設定できます。

- ファクス：現在の設定値 / 出荷時の設定値＊
  - ［現在の設定値］
    設定メニュー画面に入る前にタッチパネル上で設定された各項目がファクス機能の初期設定として登録されます。
  - ［出荷時の設定値］
    工場出荷時の設定値がファクス機能の初期設定に登録されます。

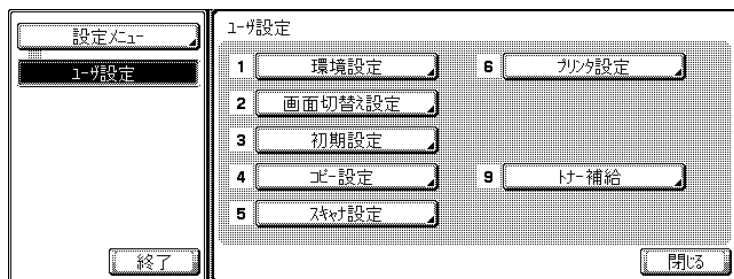
＊はお買い上げ時の初期値です。

原則

本設定を行うには、ファクスの基本画面を表示した状態で設定メニューに入ります。

1 「ユーザ設定画面を表示するには」(p. 9-2) を参照し、ユーザ設定画面を表示します。

2 ［初期設定］を押します。

3 ［現在の設定値］または［出荷時の設定値］を押し、［OK］を押します。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［初期設定］の場合は、テンキーで「3」を入力します。

設定を中止したい場合は、［キャンセル］を押します。

4 ［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

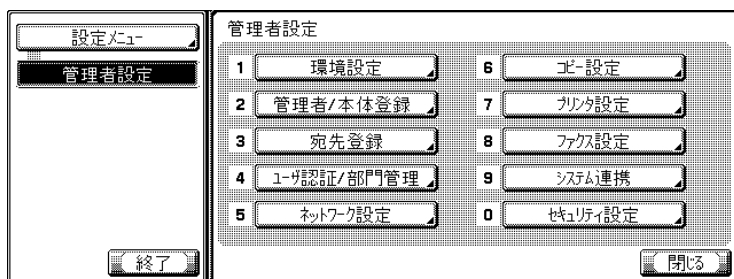
5 サブエリアの［終了］を押します。

9.6 パワーセーブ移行 - ファクス

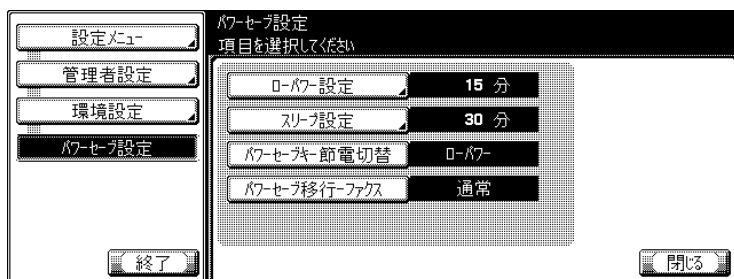
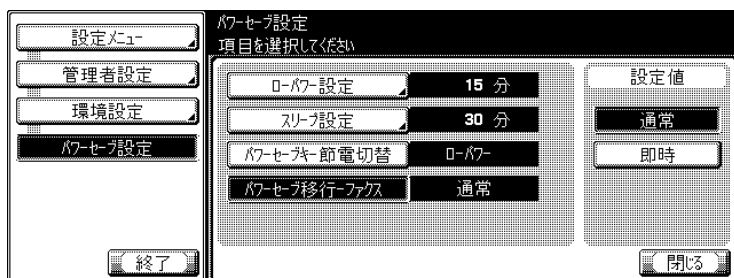
パワーセーブ状態への移行について設定します。

- パワーセーブ移行 - ファクス：通常* / 即時
  - ❍ 即時に設定すると、パワーセーブ中に受信した場合、印字完了後即時にパワーセーブ状態になります。

*はお買い上げ時の初期値です。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［環境設定］を押します。

3 ［パワーセーブ設定］を押します。

4 ［パワーセーブ移行 - ファクス］を押します。

5 表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。

詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［環境設定］の場合は、テンキーで「1」を入力します。

6

［閉じる］を押します。
設定が変更されます。

7

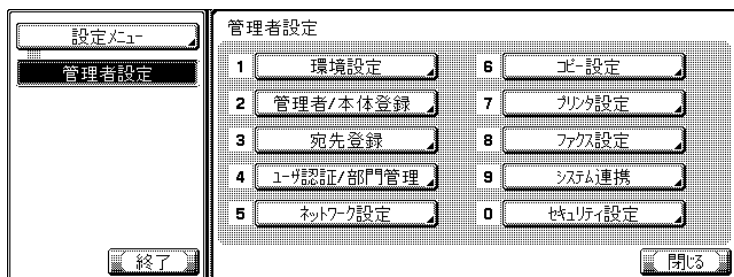
サブエリアの［終了］を押します。

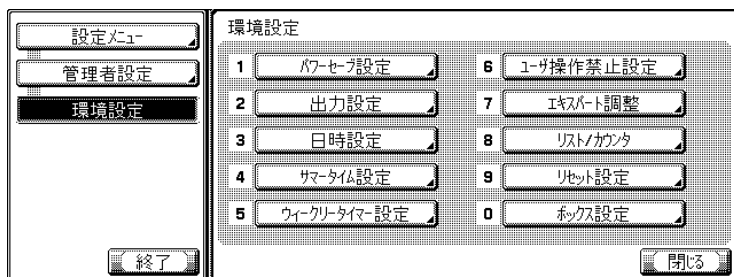
9.7 ファクス複数宛先禁止

ファクスの複数宛先の送信を禁止します。

- ファクス複数宛先禁止：する / しない*

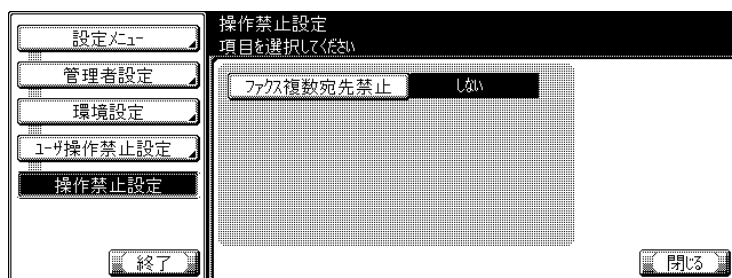
*はお買い上げ時の初期値です。

1. 「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2. ［環境設定］を押します。

3. ［ユーザ操作禁止設定］を押します。

4. ［操作禁止設定］を押します。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［環境設定］の場合は、テンキーで「1」を入力します。

［ファクス複数宛先禁止］を押して［する］を押します。

6

［閉じる］を押します。

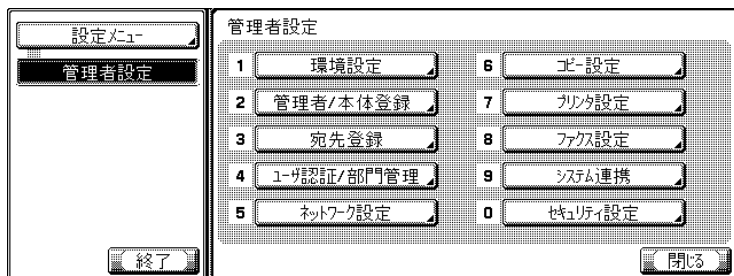
設定が変更されます。

7

サブエリアの［終了］を押します。

9.8 管理者登録

管理者の E-mail アドレスを入力します。SIP ファクス /IP アドレスファクスの From アドレスとして使用します。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［管理者 / 本体登録］を押します。

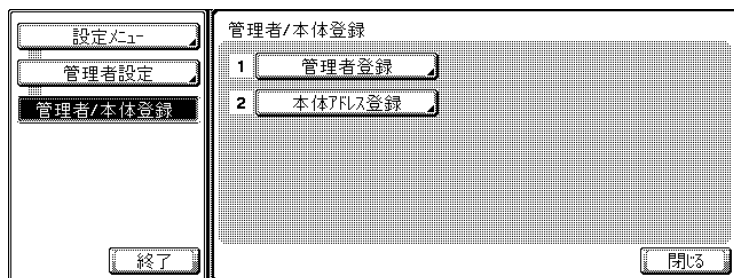
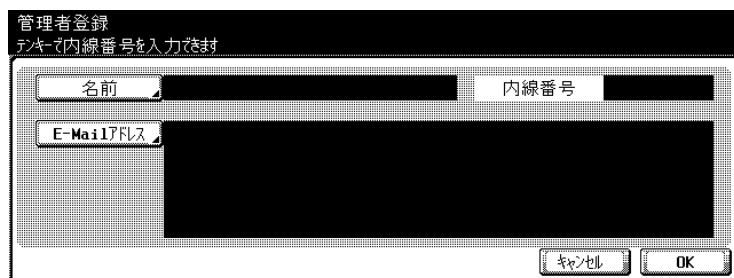
3 ［管理者登録］を押します。

4 必要な項目を設定し、［OK］を押します。

5 ［閉じる］を押します。

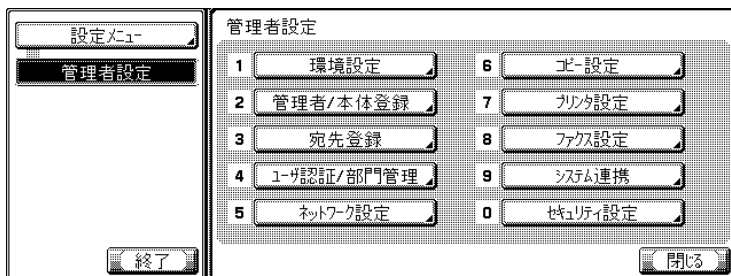
設定が変更されます。

6 サブエリアの［終了］を押します。

詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［管理者 / 本体登録］の場合は、テンキーで「2」を入力します。

9.9 本体アドレス登録

インターネットファクスで使用する本体 E-mail アドレスを設定します。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［管理者 / 本体登録］を押します。

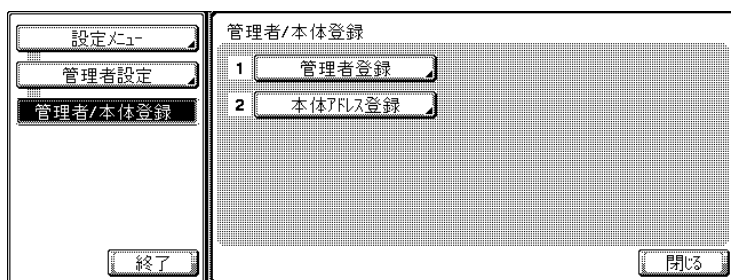
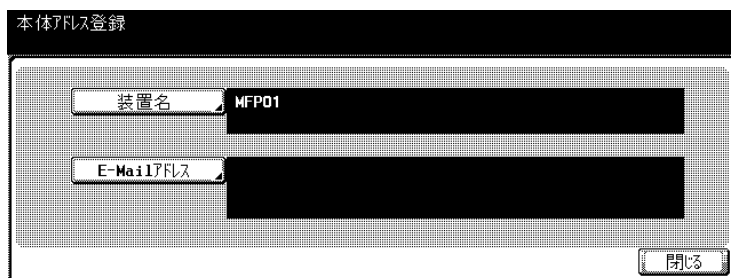
3 ［本体アドレス登録］を押します。

4 必要な項目を設定し、［OK］を押します。

5 ［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

6 サブエリアの［終了］を押します。

詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［管理者 / 本体登録］の場合は、テンキーで「2」を入力します。

9.10 TCP/IP を設定する（TCP/IP 設定）

本機をネットワーク環境で使用するために設定します。

- TCP/IP 設定：使用する＊ / 使用しない

＊はお買い上げ時の初期値です。

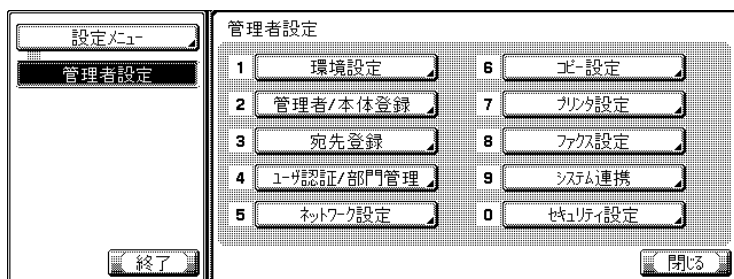
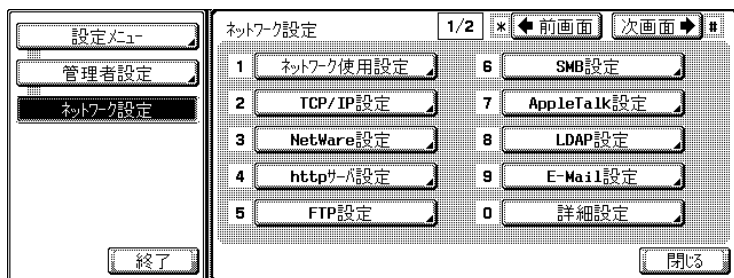
SIP ファクスを使用する場合は、TCP/IP 設定を SIP-FAX アダプタの設定と合わせる必要があります。設定を変更する場合は、本機と SIP-FAX アダプタ両方で変更する必要がありますのでご注意ください。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ネットワーク設定］を押します。

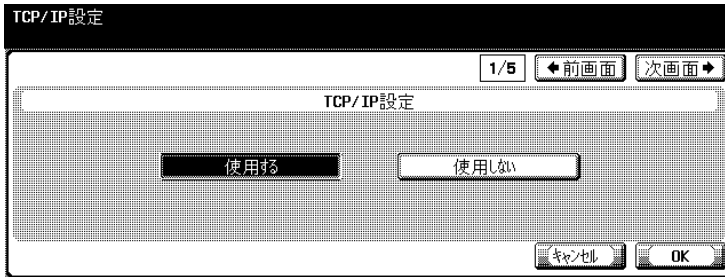
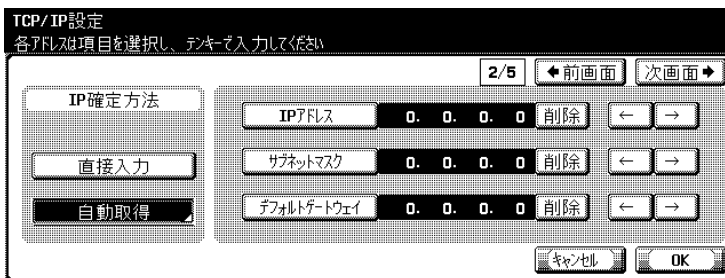
3 ［TCP/IP 設定］を押します。

参 照

- 詳しくは、「ユーザーズガイド　ネットワーク / スキャナ機能編」をごらんください。
- SIP-FAX アダプタの設定については、SIP-FAX アダプタの取扱説明書をごらんください。

詳しく説明します

オプションの設定によって表示されない項目があります。

［使用する］を押して、［次画面］を押します。

5

必要な項目を設定します。

6

［OK］を押します。

本機を再起動するメッセージが表示されます。

7

本機の主電源を OFF/ON して再起動します。

詳しくは、「ユーザーズガイド　ネットワーク / スキャナ機能編」をごらんください。

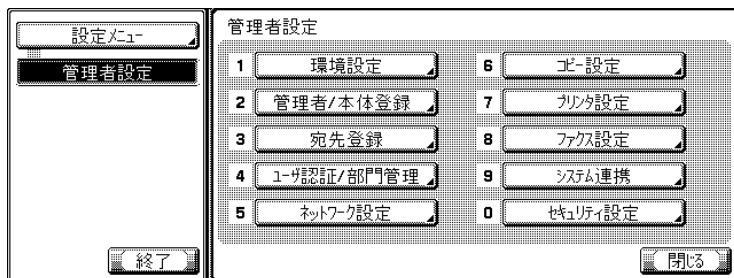
本機の主電源を OFF して、5 秒以上待ってから、電源を ON してください。

9

9.11 E-mail 送信（SMTP）を設定する

E-mail 送信（SMTP）を設定します。

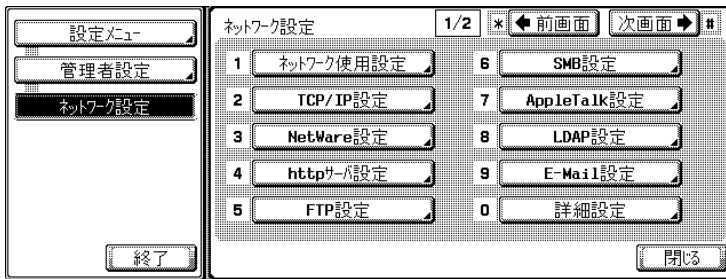
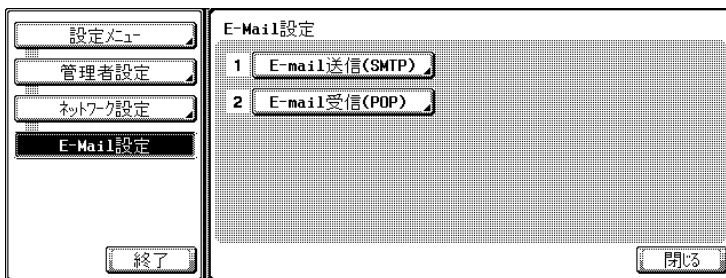
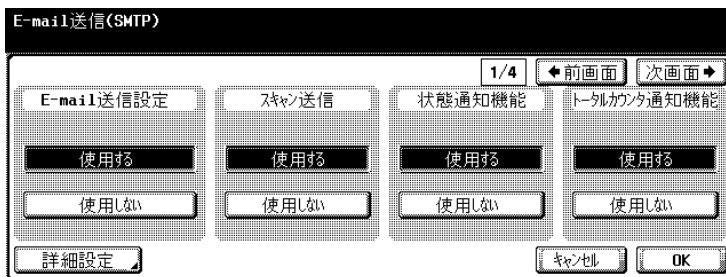
- E-mail 送信設定：使用する* / 使用しない
  - ❍ E-mail 送信を使用するかどうかを設定します。
- SMTP サーバアドレス:SMTP サーバの IP アドレスまたはホスト名を設定します。
- 接続タイムアウト：30 〜 300（60 秒*）
  - ❍ 接続タイムアウトを設定します。
- サーバ容量：1 〜 100Mbyte/ 無制限*
  - ❍ SMTPサーバが受信できるメール1通あたりの最大容量を設定します。
- ポート番号：1 〜 65535（25 *）
  - ❍ ポート番号を設定します。
- 詳細設定＞認証設定：使用する / 使用しない*
  - ❍ POP Before SMTPおよびSMTP認証を行うかどうかの設定をします。
    POP Before SMTP を使用する場合は POP Before SMTP 時間を設定します。（0 〜 60（5 秒*））

*はお買い上げ時の初期値です。

E-mail 送信 (SMTP) の他の設定項目は、インターネットファクスでは使用しません。詳しくは、「ユーザーズガイド（ネットワーク / スキャナ機能編）」をごらんください。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ネットワーク設定］を押します。

オプションの設定によって表示されない項目があります。

3 ［E-Mail 設定］を押します。

4 ［E-mail 送信（SMTP）］を押します。

5 必要な項目を設定します。

6 ［OK］を押します。

7 ［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

8 サブエリアの［終了］を押します。

9

9.12 E-mail 受信（POP）を設定する

E-mail 受信（POP）を設定します。

- E-mail 受信設定：使用する* / 使用しない
  - ❍ E-mail 受信を使用するかどうかを設定します。
- POP サーバアドレス : POP サーバの IP アドレスまたはホスト名を設定します。
- ログイン名：POP サーバへのログイン名を設定します。
- パスワード：POP サーバへログインするためのパスワード設定します。
- 詳細設定＞認証設定：

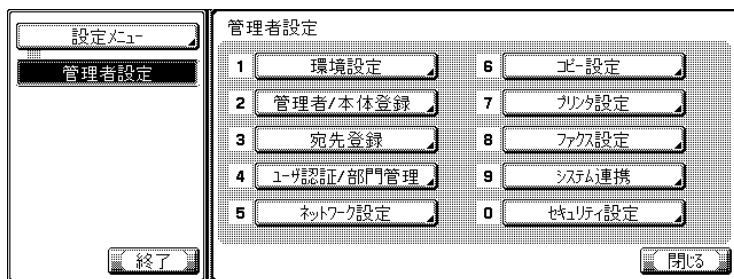
  APOP 認証：ON/OFF *

  ポート番号：1 ～ 65535（110 *）

  接続タイムアウト：30 ～ 300（30 秒*）
  - ❍ APOP 認証、ポート番号、接続タイムアウトを設定します。
- 自動到着チェック：する / しない*

  ポーリング間隔：1 ～ 60（15 分*）
  - ❍ メールの自動取得を行うかどうかを設定します。自動取得を行う場合は、ポーリング間隔を指定します。

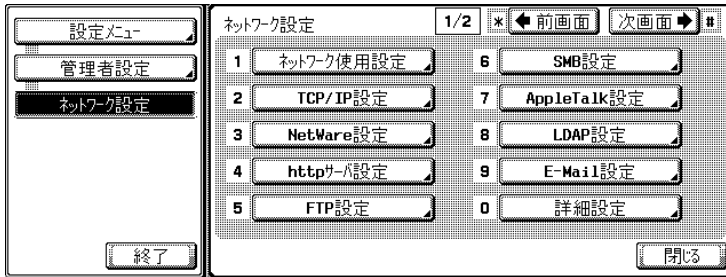
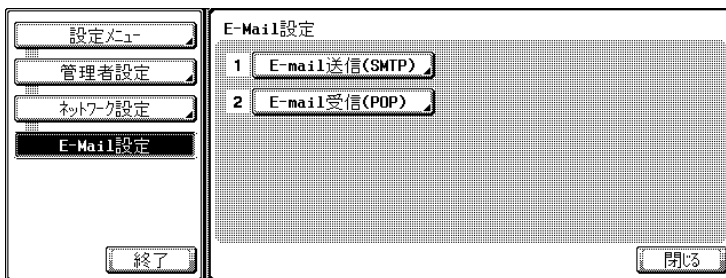
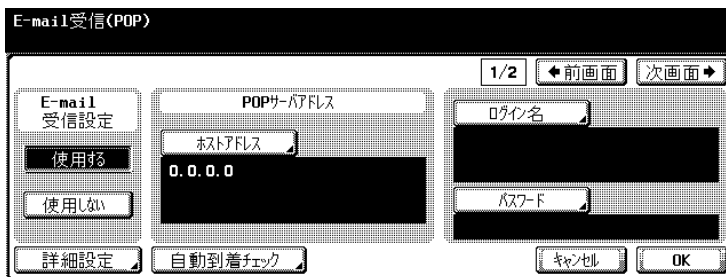
* はお買い上げ時の初期値です。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ネットワーク設定］を押します。

E-mail 受信（POP）の他の設定項目は、インターネットファクスでは使用しません。詳しくは、「ユーザーズガイド（ネットワーク / スキャナ機能編）」をごらんください。

自動到着チェック機能は、インターネットファクス機能（管理者設定＞ネットワーク設定＞ネットワークファクス設定＞ネットワークファクス機能設定）が［ON］の場合のみ動作します。

オプションの設定によって表示されない項目があります。

3 ［E-Mail 設定］を押します。

4 ［E-mail 受信（POP）］を押します。

5 必要な項目を設定します。

6 ［OK］を押します。

7 ［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

8 サブエリアの［終了］を押します。

9.13 ネットワークファクス機能設定

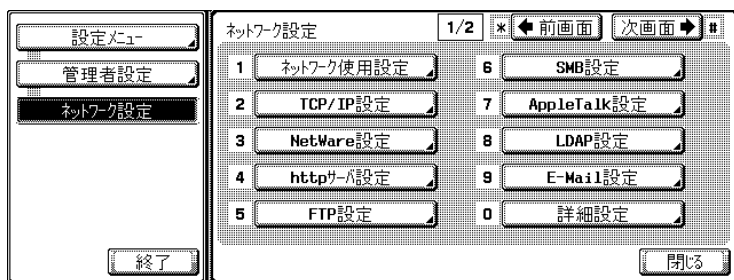
インターネットファクス機能、SIP ファクス機能または IP アドレスファクス機能を利用する場合に設定します。

- IP アドレスファクス機能：ON/OFF *
  - IP アドレスファクス機能を利用する場合に ON にします。
- SIP ファクス機能：ON/OFF *
  - SIP ファクス機能を利用する場合に ON にします。
    ON にした場合は、SIP-FAX アダプタの IP アドレスとポート番号を設定します。
- インターネットファクス機能：ON/OFF *
  - インターネットファクス機能を利用する場合に ON にします。

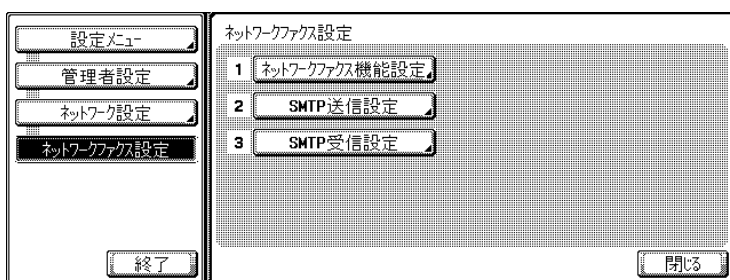
* はお買い上げ時の初期値です。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ネットワーク設定］を押します。

3 ［次画面］を押します。

［ネットワークファクス設定］を押します。

5

［ネットワークファクス機能設定］を押します。

6

設定したい項目を選択して［ON］を選択します。

詳しく説明します

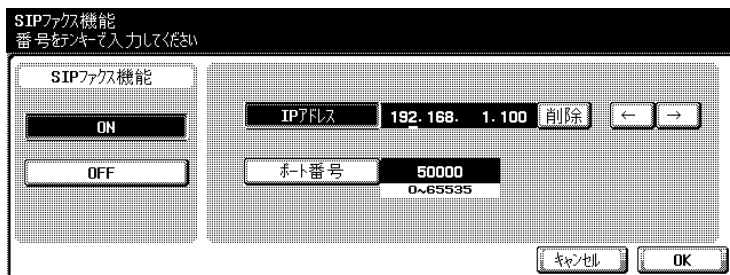
オプションの設定によって表示されない項目があります。

7

SIP ファクス機能を ON にした場合は、SIP-FAX アダプタの IP アドレスとポート番号を設定して、［OK］を押し、本機を再起動します。

SIPファクス機能
番号をテンキーで入力してください

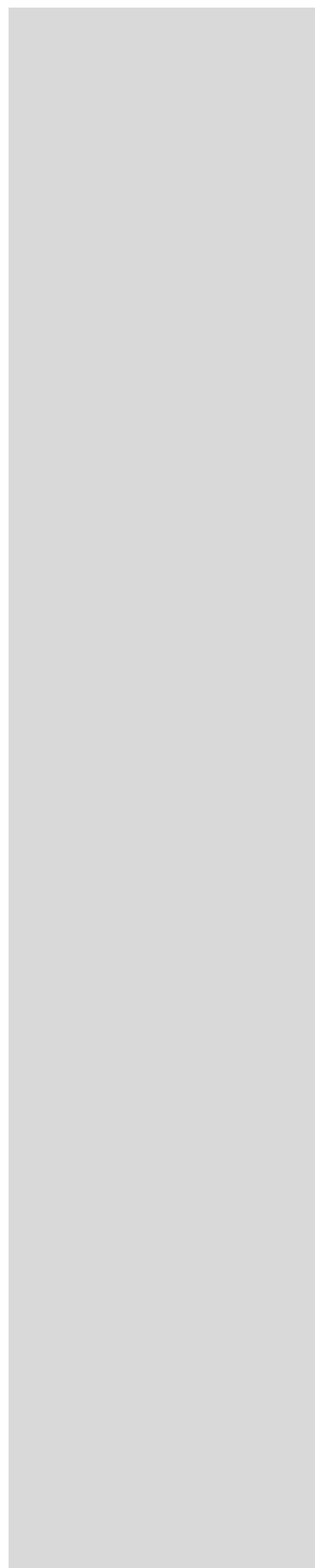
SIPファクス機能		
ON	IPアドレス	192. 168. 1. 100
OFF	ポート番号	50000 (0～65535)

削除 ← →
キャンセル OK

8

［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

9

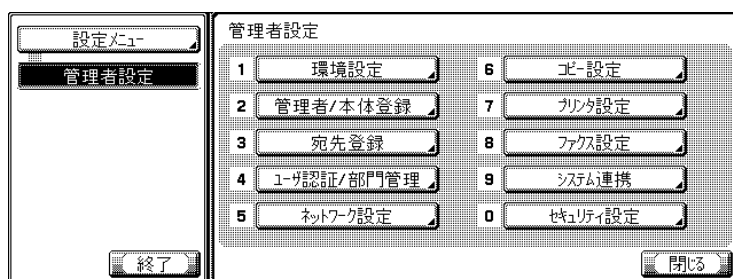
サブエリアの［終了］を押します。

9.14 SMTP 送受信の設定をする（ネットワークファクス設定）

SIP ファクス /IP アドレスファクスの SMTP 送受信に関する項目を設定します。

- SMTP 送信設定
  - ポート番号：SMTP 送信時のポート番号を設定します。：1 ～ 65535(25*)
  - 接続タイムアウト：SMTP 送信時の接続タイムアウト時間を設定します。：30 ～ 300 秒 (60 秒 *)
- SMTP 受信設定
  - SMTP 受信：SMTP 受信機能を、使用するかどうかを設定します。：使用する */ 使用しない
  - ポート番号：SMTP 受信時のポート番号を設定します。：1 ～ 65535(25*)
  - 接続タイムアウト：SMTP 受信時の接続タイムアウト時間を設定します。：5 ～ 1000 秒 (60 秒 *)

* はお買い上げ時の初期値です。

これらの設定は、ネットワークファクス機能設定の IP アドレスファクス機能または SIP ファクス機能が ON の場合に表示されます。

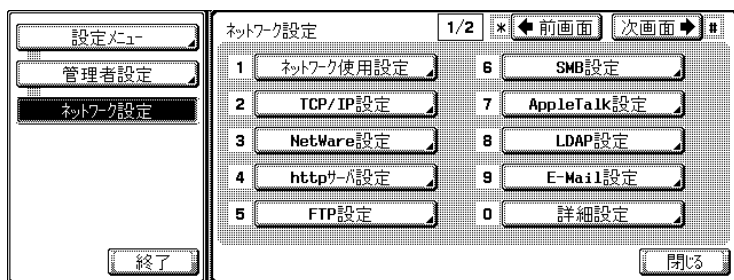
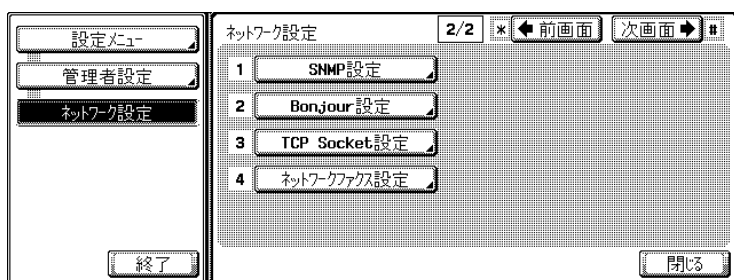
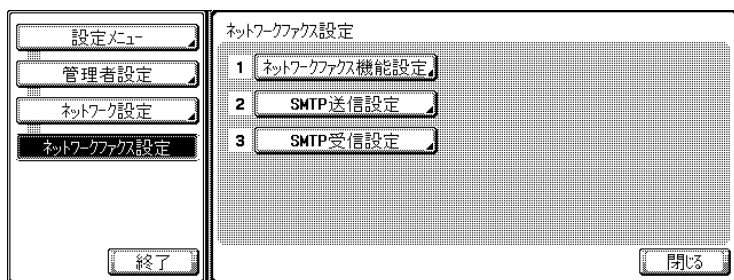
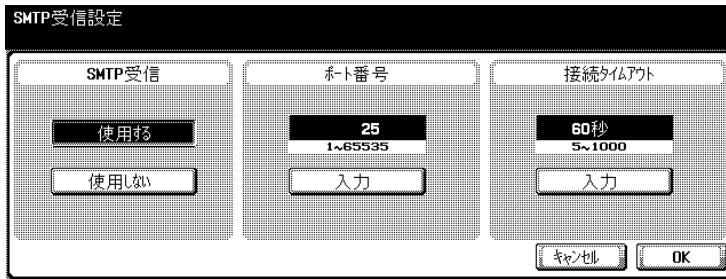
「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

［ネットワーク設定］を押します。

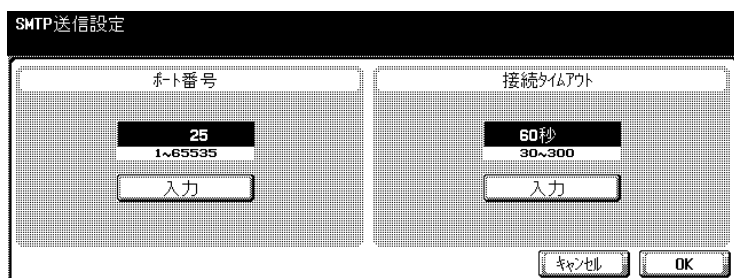
ポート番号の設定は、IP アドレスファクス使用時のみ有効です。SIP ファクス使用時は、この設定は無効で、ポート番号は 25 固定です。

ポート番号の設定は、IP アドレスファクス使用時のみ有効です。SIP ファクス使用時は、この設定は無効で、ポート番号は 25 固定です。

ネットワークファクス機能設定については、p. 9-34 をごらんください。

オプションの設定によって表示されない項目があります。

3 ［次画面］を押します。

4 ［ネットワークファクス設定］を押します。

5 ［SMTP 送信設定］または［SMTP 受信設定］を押します。

6 必要な項目を設定します。

❍［SMTP 送信設定］の場合

❍［SMTP 受信設定］の場合

7 ［OK］を押します。

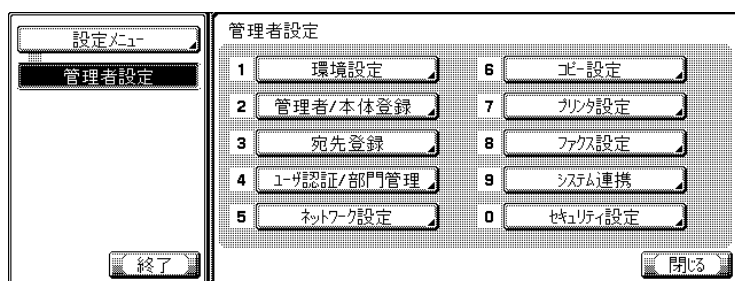
設定が変更されます。

8 サブエリアの［終了］を押します。

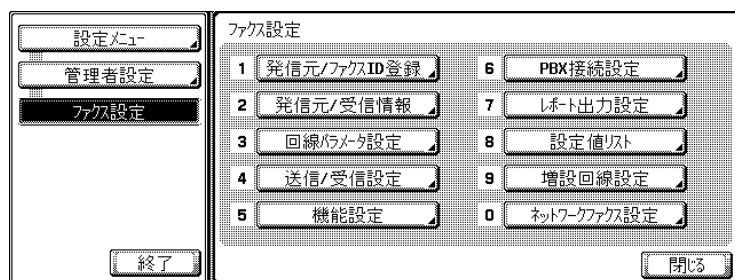
9.15 発信元名とファクス ID を登録する（発信元 / ファクス ID 登録）

発信元名とファクス ID を登録します。

- 発信元名：全角 15 文字（半角 30 文字）以内
  - 登録した名前が相手側の受信文書に発信元情報として印字されます。
- ファクス ID：0 〜 9、＋、スペース、＊、＃を使って 20 文字以内
  - 登録したファクス ID が相手側の受信文書に発信元情報として印字されます。
- 発信元名登録：
  - 送信時に選択できる発信元名を登録します。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

3 ［発信元 / ファクス ID 登録］を押します。

オプションの設定によって表示されない項目があります。

4 ［発信元名］を押します。

名前入力画面が表示されます。

5 発信元名を入力し、［OK］を押します。

6 テンキー、[+]、［スペース］、[←]、[→]、を使ってファクス ID を入力します。

- ［+］　：＋が入力されます。
- ［スペース］　：スペースが入力されます。
- [←]　：カーソルが左に移動します。
- [→]　：カーソルが右に移動します。
- ［削除］　：カーソルの位置の文字が 1 文字ずつ削除されます。カーソルが右端にある場合、後端から削除されます。

7 複数の発信元名を登録したい場合は、［発信元名登録］を押します。

8 登録したいリストを選択して［編集］を押し、登録名を入力して［OK］を押し、［閉じる］を押します。

9 ［OK］を押して、［閉じる］を押します。

発信元名とファクス ID が登録されます。

10 サブエリアの［終了］を押します。

文字入力の操作については、p. 12-3 をごらんください。

- 入力した文字を訂正する場合は、操作パネルの【クリア】を押します。
- オプションの設定によって表示されない項目があります。

- 設定を中止したい場合は、［キャンセル］を押します。
- 入力した文字を全て削除する場合は、操作パネルの【クリア】を押します。

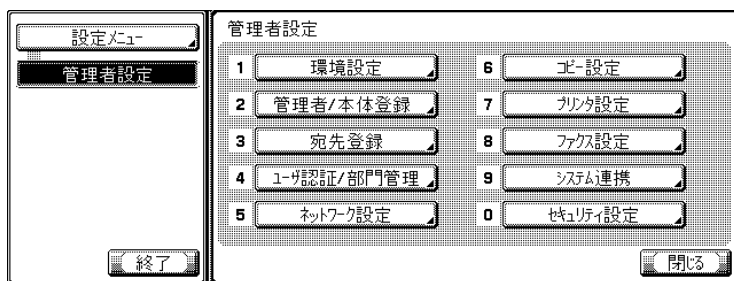
- 発信元名は 20 件まで登録できます。
- 登録した発信元名は、送信時に読込設定画面から選択できます。詳しくは、p. 6-28 をごらんください。

9.16 発信元 / 受信情報の付けかたを設定する（発信元 / 受信情報）

発信元 / 受信情報の記録方法を設定します。

発信元情報、受信情報の記録方法には、それぞれ次の種類があります。

- 発信元情報
  - 原稿外＊ : 原稿の外側に発信元情報が印字されます。
  - 原稿内 : 発信元情報が原稿に上書きして印字されます。
  - OFF : 発信元情報は印字されません。
- 受信情報
  - 原稿外:受信文書の下部に受信時刻と受信番号が印字されます。
  - 原稿内:受信時刻と受信番号が受信文書に上書きして印字されます。
  - OFF＊ : 受信情報は印字されません。

＊はお買い上げ時の初期値です。

「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

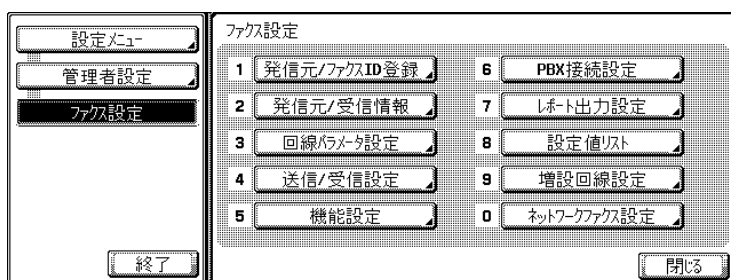
- 発信元名およびファクス ID の両方が発信元情報として、相手側の受信文書に印字されます。詳しくは p. 2-48 をごらんください。

2 ［ファクス設定］を押します。

詳しく説明します

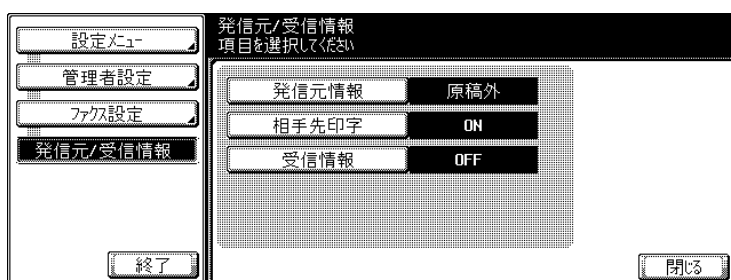
- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

3

［発信元 / 受信情報］を押します。

詳しく説明します

オプションの設定によって表示されない項目があります。

4

設定したい項目を選択します。

詳しく説明します

設定メニュー画面を終了する場合は、サブエリアの［終了］を押します。

5

表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。

6

［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

7

サブエリアの［終了］を押します。

9

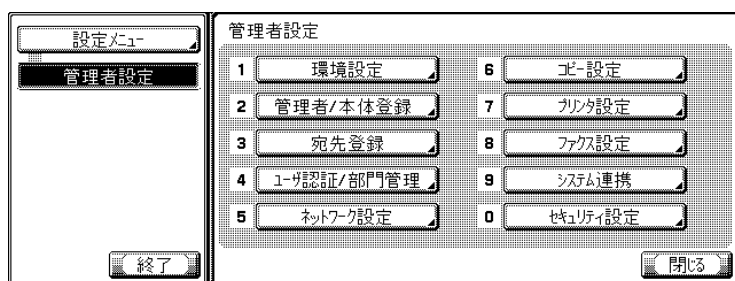
9.17 発信 / 着信方法を設定する（回線パラメータ設定）

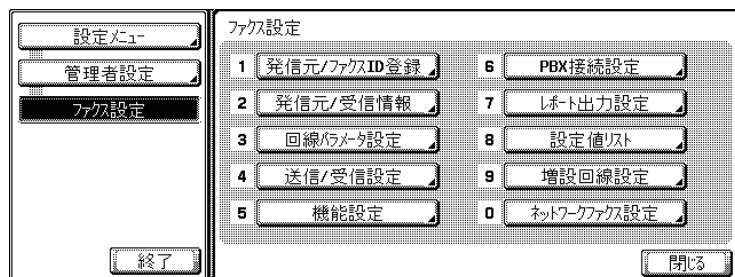
SIP ファクス /IP アドレスファクス使用時は、オートリダイアル回数、オートリダイアル間隔を設定します。

これらは通常のファクス機能と共用します。その他の設定項目は、SIP ファクス /IP アドレスファクスでは使用しません。

- オートリダイアル回数：0 ～ 7 回（3 回*）
  - 相手が話し中などで応答できない場合にリダイアルする回数を設定します。
- オートリダイアル間隔：1 ～ 15 分（3 分*）
  - リダイアルの間隔を設定します。

*はお買い上げ時の初期値です。

1. 「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2. ［ファクス設定］を押します。

3. ［回線パラメータ設定］を押します。

回線パラメータ設定の他の項目について詳しくは、「ユーザーズガイド（ファクシミリ機能編）」をごらんください。

詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

オプションの設定によって表示されない項目があります。

設定したい項目を選択します。

5

表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。

6

［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

7

サブエリアの［終了］を押します。

- 次のページまたは前のページを表示したい場合は、▼または▲を押します。
- 設定を中止したい場合は、サブエリアの［終了］を押します。

9

9.18 送信や受信方法を設定する（送信 / 受信設定）

受信時のプリント方法を設定します。

- 受信原稿両面プリント：OFF＊ / ON
  - ON に設定すると、受信原稿が用紙の両面にプリントされます。

［ページ分割記録］が ON の場合には表示されません。

- インチ系用紙優先選択：OFF＊ / ON
  - ON に設定すると受信原稿の記録用紙にインチ系用紙を優先的に選択します。
- 記録用紙優先選択：自動選択＊ / サイズ固定 / サイズ優先
  - サイズの優先を設定した場合：
    優先サイズに記録されます。優先サイズが設定されていない場合は、もっとも近いサイズに記録されます。
  - サイズの固定を設定した場合：
    設定したサイズだけに記録されます。
- 記録用紙サイズ *1：A3 / B4 / A4＊ / $8^1/_2$ × 11 / $8^1/_2$ × 14 / 11 × 17
  - 受信文書を出力する用紙サイズを設定します。
    初期設定は［インチ系用紙優先選択］の設定によって異なります。

*1 ［記録用紙サイズ］の設定を有効にするには、［給紙トレイ固定］を［自動］に設定してください。

- 給紙トレイ固定 *2: 自動＊ / トレイ 1 / トレイ 2 / トレイ 3 / トレイ 4
  - 受信文書の出力に使用する用紙トレイを固定したい場合に用紙トレイを設定します。

*2 トレイの種類は、装着しているオプションにより異なります。

- 縮小率：87 ～ 96%＊ / 等倍 *3
  - 受信原稿の出力倍率を設定します。

*3 記録時の縮小率を［等倍］に設定した場合は、記録用紙優先選択、選択トレイ固定機能の設定は［自動］となります。また、ページ分割記録は［OFF］となります。

- ページ分割記録：OFF＊ / ON
  - ON に設定すると定形サイズより長い原稿を受信した場合に、ページ分割して記録されます。

［受信原稿両面プリント］が ON の場合には表示されません。

- 受信プリント部数：1＊～ 10
  - 受信した文書をプリントする部数を設定します。

＊はお買い上げ時の初期値です。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。

3 ［送信 / 受信設定］を押します。

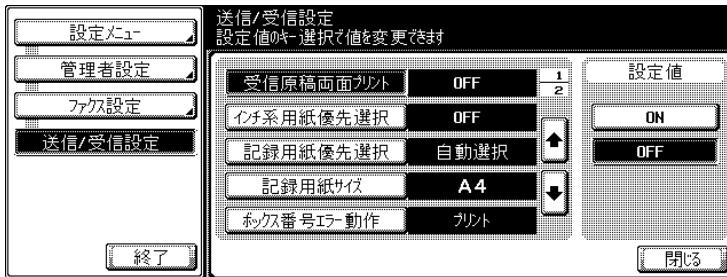
4 設定したい項目を選択します。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

オプションの設定によって表示されない項目があります。

- 次のページまたは前のページを表示したい場合は、▼ または ▲ を押します。
- 設定メニュー画面を終了する場合は、サブエリアの［終了］を押します。
- オプションの設定によって表示されない項目があります。

9

5 表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。

6 ［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

7 サブエリアの［終了］を押します。

9.19 機能設定

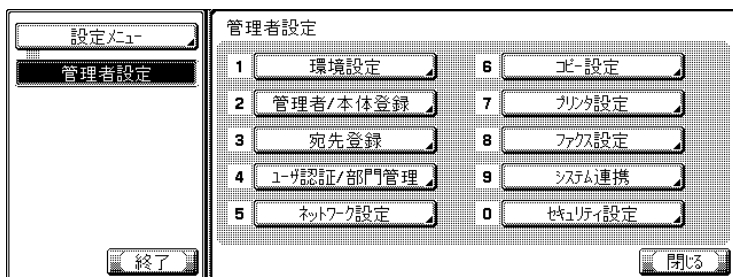
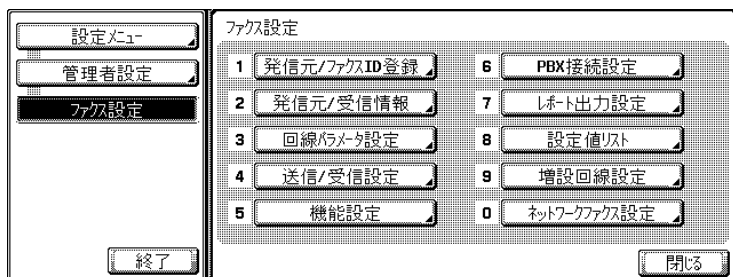
ネットワークファクスの送受信に関する機能の ON/OFF を設定します。

■ 機能の ON/OFF を設定する（機能 ON/OFF 設定）

送受信に関する機能の ON/OFF を設定します。

- 宛先確認表示機能：ON/ OFF *
  - ファクス送信時に、指定した宛先一覧を表示するかどうかを設定します。

*はお買い上げ時の初期値です。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。

3 ［機能設定］を押します。

宛先確認表示機能以外の項目は、ネットワークファクスでは使用しません。詳しくは、「ユーザーズガイド（ファクシミリ機能編）」をごらんください。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

オプションの設定によって表示されない項目があります。

4 ［機能 ON/OFF 設定］を押します。

5 設定したい項目を選択します。

6 表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。

7 ［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

8 サブエリアの［終了］を押します。

- ［強制メモリ受信］、［転送ファクス設定］、［PC-FAX 受信設定］、［TSI 受信振り分け設定］のいずれかの機能が ON の場合、他の項目は表示されません。
- オプションの設定によって表示されない項目があります。

詳しく説明します

- 設定メニュー画面を終了する場合は、サブエリアの［終了］を押します。
- オプションの設定によって表示されない項目があります。

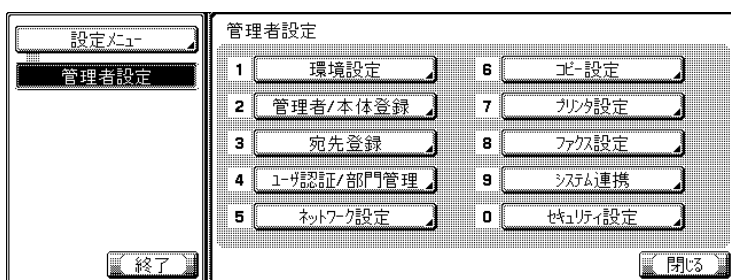
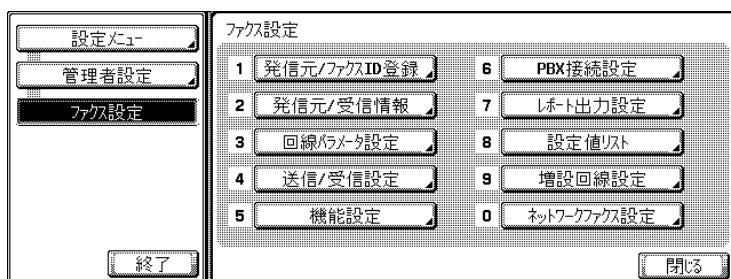
■ 強制メモリ受信を設定する（強制メモリ受信設定）

強制メモリ受信機能を使用するかどうかを設定します。ON に設定した場合は、プリント時に使用するパスワードを 8 桁以内で設定します。

強制メモリ受信とは、受信した文書をすぐにプリントせず、いったんメモリに蓄積し、指示をしてからプリントする機能です。

- 強制メモリ受信機能：ON / OFF *
  - ❍ ON に設定した場合は、パスワードを設定
- パスワード：1 ～ 8 桁以内

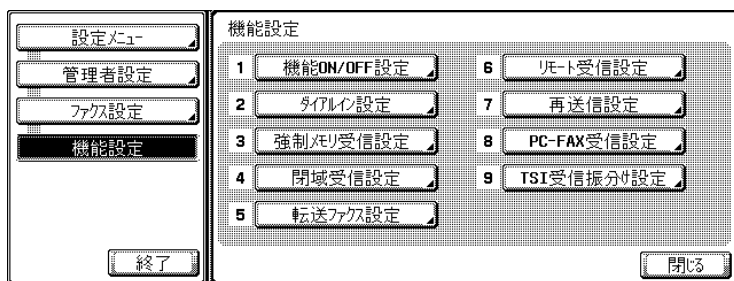
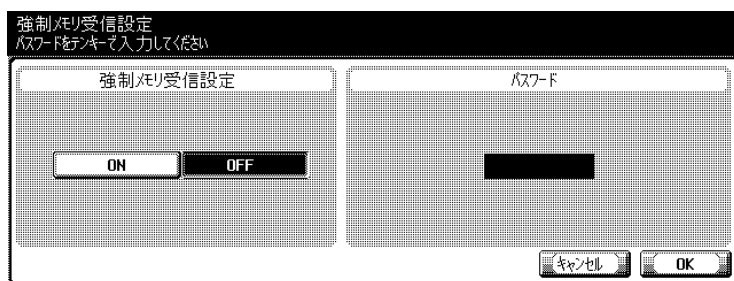
* はお買い上げ時の初期値です。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。

3 ［機能設定］を押します。

- 強制メモリ受信を［ON］に設定した場合、PC-FAX 受信設定、TSI 受信振分け設定、転送ファクス設定は使用できません。
- 強制メモリ受信した文書のプリント方法などについては、p. 7-2 をごらんください。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

オプションの設定によって表示されない項目があります。

4 ［強制メモリ受信設定］を押します。

5 ［強制メモリ受信設定］で［ON］を選択し、［パスワード］に、プリント時に入力するパスワードを 8 桁以内で入力します。

6 ［OK］を押して、［閉じる］を押します。

7 サブエリアの［終了］を押します。

設定が変更されます。

詳しく説明します

オプションの設定によって表示されない項目があります。

詳しく説明します

設定を中止したい場合は、［キャンセル］を押します。

9.20 レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）

レポートのプリント方法を設定します。

- 通信管理レポート：OFF/ 毎日 / 100 通信毎 * / 100/ 毎日
  - 通信管理レポートをプリントするかどうか、また、いつプリントするかを設定します。
- 送信結果レポート：常時 / エラー時のみ * / OFF
  - 送信結果レポートをプリントするかどうか、また、いつプリントするかを設定します。
- 順次通信結果レポート：ON * / OFF
  - 順次通信結果レポートをプリントするかどうかを設定します。

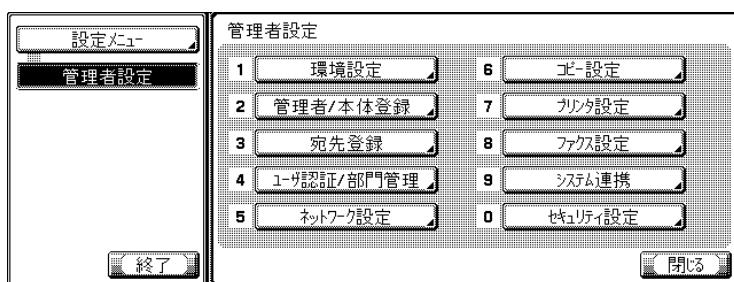
- レポート出力設定の他の項目については、ネットワークファクスでは使用しません。詳しくは、「ユーザーズガイド（ファクシミリ機能編）」をごらんください。
- 通信管理レポートの出力設定を［毎日］または［100/ 毎日］に設定した場合は、レポートを出力する時間も設定できます。

- 同報結果レポート出力：全宛先一括 * / 一宛先毎
  - 同報送信結果レポートのプリント方法を設定します。

［1 宛先毎］選択時は、リダイアルを行っても送信できない場合にのみ、同報送信結果レポートを出力します。送信が正常に終了した場合は出力しません。

- 送信結果レポート画面 *1：表示しない * / 表示する
  - 送信結果レポートの選択画面を表示するかどうかを設定します。［表示する］に設定すると、送信のたびに表示されます。
- NW ファクス受信エラーレポート：ON * / OFF
  - ネットワークファクス受信エラーレポートをプリントするかどうかを設定します。
- MDN メッセージ：印刷しない / 印刷する *
  - MDNメッセージを自動的にプリントするかどうかを設定します。
- DSN メッセージ：印刷しない * / 印刷する
  - DSN メッセージを自動的にプリントするかどうかを設定します。
- 正常受信メール本文：印刷しない / 印刷する *
  - 受信したメールの本文を自動的にプリントするかどうかを設定します。

* はお買い上げ時の初期値です。

*1 ［送信結果レポート画面］で［表示する］に設定した場合は、ファクス送信時に表示された画面で［はい］を押すと送信結果レポートがプリントされます。［いいえ］を押すとプリントされません。

「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2

［ファクス設定］を押します。

3

［レポート出力設定］を押します。

4

設定したい項目を選択します。

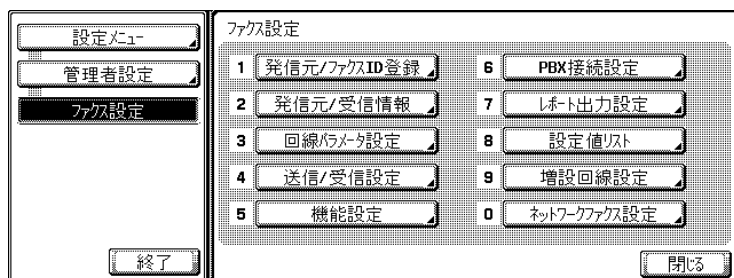
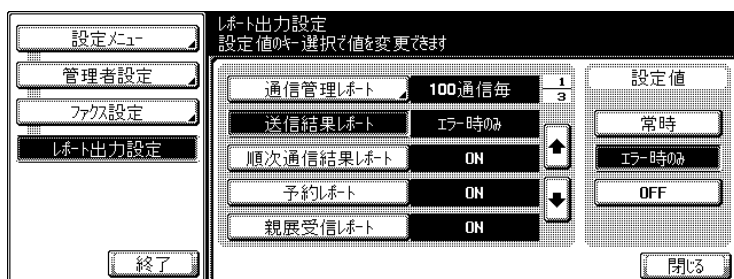
5

表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

オプションの設定によって表示されない項目があります。

- 次の画面または前の画面を表示したい場合は、▼または▲を押します。
- 設定メニュー画面を終了する場合は、サブエリアの［終了］を押します。
- オプションの設定によって表示されない項目があります。

6

［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

7

サブエリアの［終了］を押します。

9.21 ネットワークファクス設定

ネットワークファクスの機能を設定します。

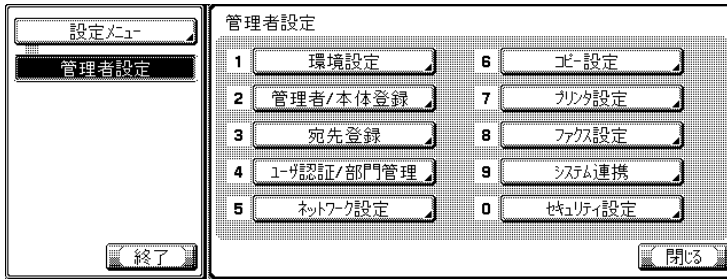
- 白黒 2 値圧縮方法：MH*/MR/MMR
  - モノクロ送信モード時の白黒 2 値圧縮方法を設定します。
- SIP アダプタ接続確認：
  - SIP-FAX アダプタとの接続が正常かどうかを確認できます。

SIP ファクス機能が ON の場合のみ表示されます。

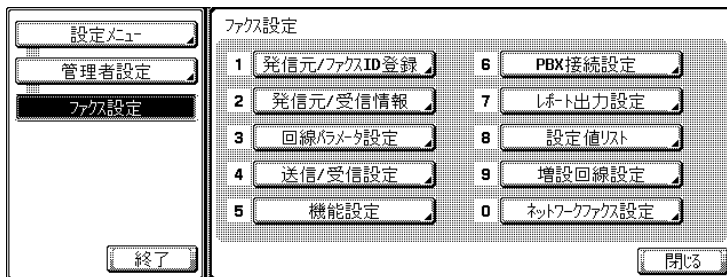
- I-Fax 自機受信能力：
  - 圧縮形式：MMR/MR/MH
    圧縮形式に関する受信能力を設定します。
  - 用紙サイズ：A3/B4/A4
    用紙サイズに関する受信能力を設定します。
  - 解像度：普通 / 精細 / 高精細 / 超高精細
    解像度に関する受信能力を設定します。
    I-Fax 拡張設定＞最高解像度で［高精細］が設定されている場合は、［超高精細］は表示されません。

- インターネットファクス機能が ON の場合のみ表示されます。
- ［I-Fax 自機受信能力］で設定された値は、MDN 応答時に能力通知データとして相手機に送信されます。

- I-Fax 拡張設定：
  - MDN 要求：送出する＊ / しない
    MDN 要求をするかどうかを設定します。
  - DSN 要求：送出する / 送出しない＊
    DSN 要求をするかどうかを設定します。
  - MDN 応答：応答する＊ / しない
    MDN 応答をするかどうかを設定します。
  - MDN/DSN 応答監視時間：1 〜 99/ 監視しない（初期設定は 24 時間）
    MDN/DSN の応答監視をするかどうかを設定します。
  - 最高解像度：高精細 / 超高精細＊
    最高解像度を設定します。

- インターネットファクス機能が ON の場合のみ表示されます。
- MDN 要求、DSN 要求ともに［送出する］に設定されている場合は、MDN 要求のみ送信されます。

* はお買い上げ時の初期値です。

「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

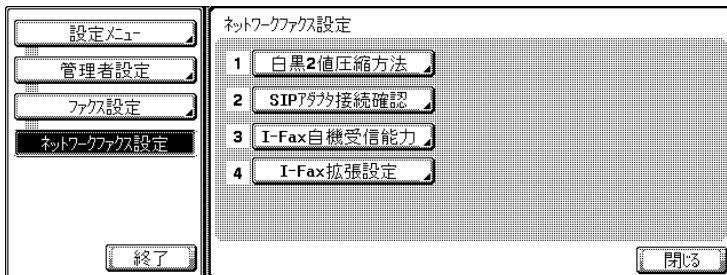
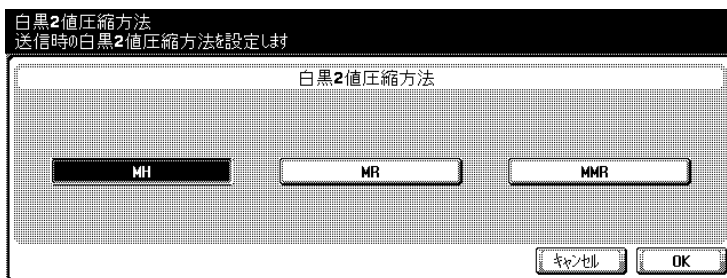
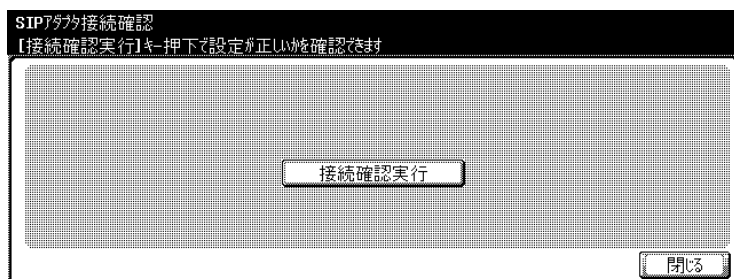
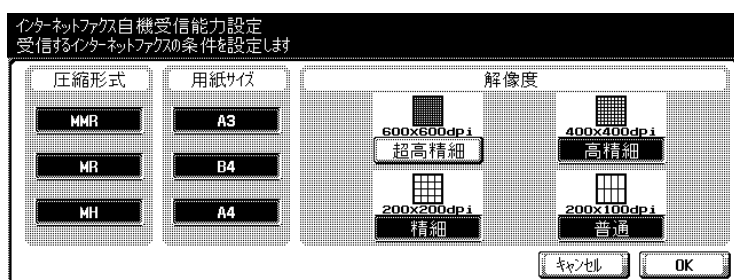
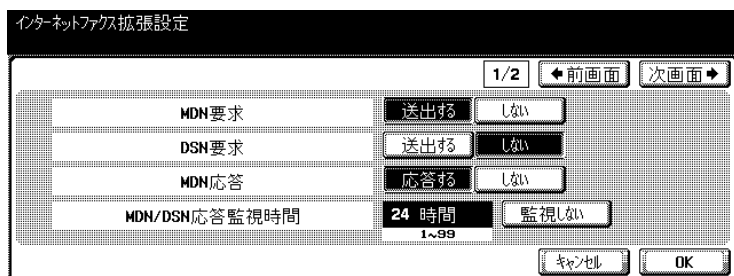
2 ［ファクス設定］を押します。

3 ［ネットワークファクス設定］を押します。

4 設定したい項目を押します。

❍ 白黒 2 値圧縮方法の場合

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで「8」を入力します。

オプションの設定によって表示されない項目があります。

9

❍ SIP アダプタ接続確認の場合
［接続確認実行］を押して、SIP-FAX アダプタとの接続を確認します。

❍ I-Fax 自機受信能力の場合

❍ I-Fax 拡張設定の場合

5 必要な項目を設定して［OK］を押します。

6 ［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

7 サブエリアの［終了］を押します。

SIP-FAX アダプタとの接続確認が正常終了しなかった場合は、［ネットワーク設定］-［ネットワークファクス設定］-［ネットワークファクス機能設定］の［SIP ファクス機能］にある SIP-FAX アダプタの IP アドレスとポート番号が正しいかどうか確認してください。（p. 9-34 ページをごらんください）

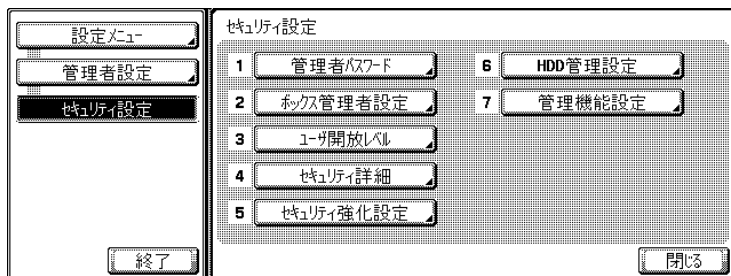
9.22 ファクス送信機能を禁止する（FAX 送信禁止）

ファクス送信に関する機能をすべて禁止し、操作パネルの【ファクス】ボタンからの操作を受け付けません。

- FAX 送信禁止：ON/OFF ＊
  - ファクスの送信機能を禁止します。

＊はお買い上げ時の初期値です。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 9-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［セキュリティ設定］を押します。

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［セキュリティ設定］の場合は、テンキーで「0」を入力します。

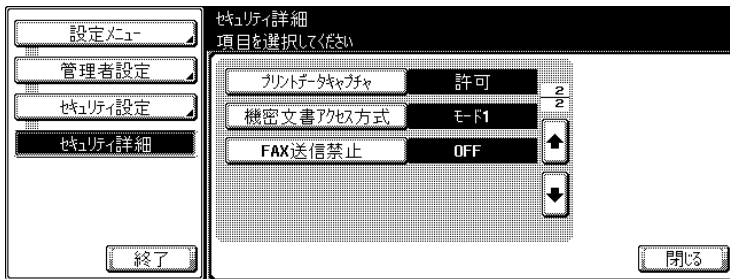
3 ［セキュリティ詳細］を押します。

4 ［▼］を押します。

詳しく説明します

設定メニュー画面を終了する場合は、サブエリアの［終了］を押します。

9

5 ［FAX 送信禁止］を押します。

6 表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。

7 ［閉じる］を押します。

設定が変更されます。

8 サブエリアの［終了］を押します。

第 10 章
レポート／リストの見かた

レポート / リストのプリント方法と見かたについて説明します。

10.1 レポート／リストの種類

本機からプリントされるレポート / リストには、次の種類があります。

■ レポート

レポートには、自動的にプリントされるレポート、プリント方法を設定できるレポート、必要に応じてプリントの指示をするレポートがあります。

レポート名	説明
通信管理レポート	送信や受信の記録が記載されたレポートです。送受信を合わせて 100 通信分が送信、受信それぞれ別のページに記録されます。 通信管理レポートは自動的にプリントされるだけでなく、必要に応じて送信だけの記録、受信だけの記録、送受信の記録それぞれをプリントすることができます。 設定メニューの管理者設定で、プリントする間隔を OFF*/ 毎日 /100 通信毎 /100/ 毎日から選択できます。 通信管理レポートの出力設定を［毎日］または［100/ 毎日］に設定した場合は、レポートを出力する時間も設定できます。 ［ジョブ確認］、［ファクス送信］タブ、［履歴リスト］、［通信リスト］の順に押すと、次の内容を選択してプリントできます。 送信管理レポート、受信管理レポート、通信管理レポート
送信結果レポート	送信結果が自動的にプリントされます。設定メニューの管理者設定で、プリントするタイミングを、常時 / エラー時のみ /OFF から選択できます。
同報送信結果レポート	設定メニューの管理者設定で、順次通信結果レポートが ON に設定されている場合に、順次同報送信が終了したときに自動的にプリントされます。
ネットワークファクス受信エラーレポート	設定メニューの管理者設定で、NW ファクス受信エラーレポートが ON に設定されている場合、ネットワークファクスを正常に受信できなかったときにプリントされます。
インターネットファクス受信レポート（MDN）	設定メニューの管理者設定で、MDN メッセージが［印刷する］に設定されている場合、送信側からの開封確認に応答したときに、MDN メッセージが自動的にプリントされます。 （MDN=Message Disposition Notifications の略）

レポート名	説明
インターネットファクス受信レポート (DSN)	設定メニューの管理者設定で、DSN メッセージが［印刷する］に設定されている場合、受信側のメールサーバにメールが到着した時に送信側に送られる DSN メッセージを受信すると、自動的にプリントされます。（DSN =Delivery Status Notifications の略）
正常受信メール本文	設定メニューの管理者設定で、正常受信メール本文が［印刷する］に設定されている場合、受信したメールの本文がプリントされます。

10

■ リスト

リストは、必要に応じてプリントの指示をします。

リスト名	説明
短縮宛先リスト	短縮宛先の登録内容をプリントできます。
プログラム宛先リスト	プログラム宛先の登録内容をプリントできます。
グループ宛先 リスト	グループダイアルの登録内容をプリントできます。
タイトル・本文リスト	登録した E-Mail のタイトル / 本文のリストをプリントできます。
設定値リスト	設定メニューのファクス設定の内容をプリントできます。

10.2 通信管理レポート

通信管理レポートは、送信や受信の記録が記載されたレポートです。送受信を合わせて 100 通信分が、送信、受信それぞれ別のページに記録されます。通信管理レポートは自動的にプリントされるだけではなく、必要に応じて送信だけの記録（送信管理レポート）、受信だけの記録（受信管理レポート）、送受信の記録（通信管理レポート）をプリントすることができます。

■ 自動プリント

通信管理レポートがプリントされる間隔は、設定メニューの［レポート出力設定］で設定することができます。詳しくは p. 9-53 をごらんください。

■ 手動プリント

次の操作でプリントできます。

1. ［ジョブ確認］を押し、ファクス画面を表示します。
2. ［ファクス送信］タブを押します。
3. ［履歴リスト］を押します。

4. ［通信リスト］を押します。

5 ［通信管理レポート］、［送信管理レポート］、［受信管理レポート］のいずれかのキーを押します。

6 ［プリント実行］を押します。

レポートがプリントされます。

通信管理ﾚﾎﾟｰﾄ

P 1
2006/05/31 14:51
Serial No.
TC: 4275

送信

番号	宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
154	i-fax1	05-31 14:48	--:--:--	001/001	OK	I-Fax
155	i-fax1	05-31 14:49	--:--:--	001/001	OK	I-Fax
156	i-fax1	05-31 14:51	--:--:--	001/001	---	I-Fax

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:ﾀｲﾏｰ通信 POL:ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ORG:原稿ｻｲｽﾞ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載ﾓｰﾄﾞ送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fｺｰﾄﾞ指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPﾌｧｸｽ IPADR:IPｱﾄﾞﾚｽﾌｧｸｽ I-FAX:ｲﾝﾀｰﾈｯﾄﾌｧｸｽ

結果 OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のｴﾗｰ
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 ﾒﾓﾘﾌﾙ:ﾒﾓﾘﾌﾙ
LOVR:受信長ｵｰﾊﾞｰ POVR:受信ﾍﾟｰｼﾞｵｰﾊﾞｰ FIL:ﾌｧｲﾙｴﾗｰ DC:ﾃﾞｺｰﾄﾞｴﾗｰ
MDN:MDN応答ｴﾗｰ DSN:DSN応答ｴﾗｰ

通信管理ﾚﾎﾟｰﾄ

P 2
2006/05/31 16:56
Serial No.
TC: 4285

受信

番号	宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
128	i-fax2	----- --:--	--:--:--	001/001	OK	I-Fax
129	i-fax2	----- --:--	--:--:--	001/001	OK	I-Fax

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:ﾀｲﾏｰ通信 POL:ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ORG:原稿ｻｲｽﾞ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載ﾓｰﾄﾞ送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fｺｰﾄﾞ指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPﾌｧｸｽ IPADR:IPｱﾄﾞﾚｽﾌｧｸｽ I-FAX:ｲﾝﾀｰﾈｯﾄﾌｧｸｽ

結果 OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のｴﾗｰ
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 ﾒﾓﾘﾌﾙ:ﾒﾓﾘﾌﾙ
LOVR:受信長ｵｰﾊﾞｰ POVR:受信ﾍﾟｰｼﾞｵｰﾊﾞｰ FIL:ﾌｧｲﾙｴﾗｰ DC:ﾃﾞｺｰﾄﾞｴﾗｰ
MDN:MDN応答ｴﾗｰ DSN:DSN応答ｴﾗｰ

- 番号 : 送信、受信それぞれに連番が付けられます。
- 宛先 :
  次のいずれかが記載されます。情報がない場合はブランクとなります。
  - 短縮宛先に名前が登録されている場合は名前
  - 相手の宛先
- 開始時刻 : 通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間 : 通信の所要時間が記載されます（SIP ファクスの場合のみ）。
- 枚数 :
  通信した枚数が記載されます。メモリ送信の場合は、送信できたページ数と全体のページ数が分数形式で記されます。

詳しく説明します

オプションの設定によって記載されない項目があります。

10

- 結果 :

OK:	通信が正常に終了した場合に記載されます。
S-OK:	通信を中止した場合に記載されます。
PW-OFF:	通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。
TEL:	電話がかかってきた場合に記載されます。
NG:	通信エラーが発生した場合に記載されます。
継続 :	送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。
無応答 :	相手が応答しなかった場合に記載されます。
拒否 :	着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。
話中 :	相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
メモリフル :	受信中にファクスファイルメモリが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。
LOVR :	受信長オーバー。受信原稿長が既定値（1000 mm）を超えた場合に記載されます。
POVR :	受信ページオーバー。受信ページ数が 2000 ページを超えた場合に記載されます。
FIL :	ファイルエラー。受信したファイルがサポート外の場合に記載されます。
DC :	デコードエラー。受信したファイルのデコードでエラーが発生した場合に記載されます。
MDN :	MDN 応答がエラーの場合に記載されます。
DSN :	DSN 応答がエラーの場合に記載されます。

- 備考 : ネットワークファクスでは、次のいずれかが記載されます。

ORG	: 原稿サイズ指定	FME	: 枠消し送信
MIX	: 混載モード送信	BND	: 両面とじ方向
SP	: 特殊原稿	SIP	: SIP ファクス
IPADR	: IP アドレスファクス		
I-FAX	: インターネットファクス		

送信結果画面（ジョブ確認＞ファクス送信＞履歴リスト＞通信リスト）や通信管理レポートの結果欄に［---］と表示されても、インターネット網の途中経路の問題により、受信側に電子メールが到着しない場合があります。送信結果画面や通信管理レポートに表示される［---］は、サーバまで正常に送信できたことを示すものです。受信確認（MDN）を受信すると送信結果画面や通信管理レポートの結果欄に［OK］が表示されます。重要な内容を送受信する場合は、受信確認（MDN）などによる確認をお願いします。

■ 手動プリント

設定メニューの［レポート出力設定］－［送信結果レポート画面］が、［表示する］に設定されている場合は、送信のたびに送信結果レポート出力確認画面が表示されます。

［はい］を押すと、送信結果レポートがプリントされます。［いいえ］を押すと、プリントされません。詳しくは p. 9-53 をごらんください。

■ 自動プリント

設定メニューの［レポート出力設定］－［送信結果レポート］で常時 / エラー時のみ /OFF を設定することができます。詳しくは p. 9-53 をごらんください。

送信結果ﾚﾎﾟｰﾄ

P 1
2006/05/31 14:48
Serial No.
TC: 4267

宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
i-fax1	05-31 14:48	--:--:--	001/001	OK	I-Fax

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:ﾀｲﾏｰ通信 POL:ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ORG:原稿ｻｲｽﾞ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載ﾓｰﾄﾞ送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fｺｰﾄﾞ指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPﾌｧｸｽ IPADR:IPｱﾄﾞﾚｽﾌｧｸｽ I-FAX:ｲﾝﾀｰﾈｯﾄﾌｧｸｽ

結果 OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のｴﾗｰ
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 ﾒﾓﾘﾌﾙ:ﾒﾓﾘﾌﾙ
LOVR:受信長ｵｰﾊﾞｰ POVR:受信ﾍﾟｰｼﾞｵｰﾊﾞｰ FIL:ﾌｧｲﾙｴﾗｰ DC:ﾃﾞｺｰﾄﾞｴﾗｰ
MDN:MDN応答ｴﾗｰ DSN:DSN応答ｴﾗｰ

- 宛先 : 次のいずれかが記載されます。
  - ❍ 短縮宛先に名前が登録されている場合は名前
  - ❍ 相手の宛先
- 開始時刻 : 通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間 : 通信の所要時間が記載されます（SIP ファクスの場合のみ）。
- 枚数 :
  通信した枚数が記載されます。メモリ送信の場合は、送信できたページ数と全体のページ数が分数形式で記されます。
- 結果 :
  - ❍ OK: 通信が正常に終了した場合に記載されます。
  - ❍ S-OK:
    通信を中止した場合に記載されます。
  - ❍ NG: 通信エラーが発生した場合に記載されます。
  - ❍ 話中 :
    相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
  - ❍ 無応答 : 相手が応答しなかった場合に記載されます。

10

- ❍ TEL: 電話がかかってきた場合に記載されます。
- ❍ 継続 :
  送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。
- ❍ MDN：MDN 応答がエラーの場合に記載されます。
- ❍ DSN：DSN 応答がエラーの場合に記載されます。

● 備考 : ネットワークファクスでは、次のいずれかが記載されます。

ORG	：原稿サイズ指定	FME	：枠消し送信
MIX	：混載モード送信	BND	：両面とじ方向
SP	：特殊原稿	SIP	：SIP ファクス
IPADR	：IP アドレスファクス		
I-FAX	：インターネットファクス		

10.4 同報送信結果レポート

順次同報送信が終了したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［レポート出力設定］－［順次通信結果レポート］で ON/OFF を設定することができます。また、［同報結果レポート出力］でレポート出力タイミング (全宛先一括 /1 宛先毎) を指定できます。p. 9-53 をごらんください。

同報送信結果ﾚﾎﾟｰﾄ

P 1
2005/12/07 19:16
Serial No.
TC: 587

宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
FAX1	12-07 19:15	00:00 25	001/001	OK	L1
FAX2	12-07 19:15	00:00 17	001/001	OK	L1

備考　L1:主回線 L2:副回線 TMR:ﾀｲﾏｰ通信 POL:ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ORG:原稿ｻｲｽﾞ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載ﾓｰﾄﾞ送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fｺｰﾄﾞ指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPﾌｧｸｽ IPADR:IPｱﾄﾞﾚｽﾌｧｸｽ I-FAX:ｲﾝﾀｰﾈｯﾄﾌｧｸｽ

結果　OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のｴﾗｰ
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 ﾒﾓﾘﾌﾙ:ﾒﾓﾘﾌﾙ
LOVR:受信長ｵｰﾊﾞｰ POVR:受信ﾍﾟｰｼﾞｵｰﾊﾞｰ FIL:ﾌｧｲﾙｴﾗｰ DC:ﾃﾞｺｰﾄﾞｴﾗｰ
MDN:MDN応答ｴﾗｰ DSN:DSN応答ｴﾗｰ

- 宛先 : 次のいずれかが記載されます。
  - 短縮宛先に宛先名が登録されている相手は宛先名
  - 相手の宛先
- 開始時刻 : 通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間 : 通信の所要時間が記載されます（SIP ファクスの場合のみ）。
- 枚数 :
  通信した枚数が記載されます。送信できたページ数と全体のページ数が分数形式で記されます。
- 結果 :

OK:	通信が正常に終了した場合に記載されます。
S-OK:	通信を中止した場合に記載されます。
PW-OFF:	通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。
TEL:	電話がかかってきた場合に記載されます。
NG:	通信エラーが発生した場合に記載されます。
継続 :	送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。
無応答 :	相手が応答しなかった場合に記載されます。
話中 :	相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
MDN :	MDN 応答がエラーの場合に記載されます。
DSN :	DSN 応答がエラーの場合に記載されます。

10

- 備考 : ネットワークファクスでは、次のいずれかが記載されます。

ORG	: 原稿サイズ指定	FME	: 枠消し送信
MIX	: 混載モード送信	BND	: 両面とじ方向
SP	: 特殊原稿	SIP	: SIP ファクス
IPADR	: IP アドレスファクス		
I-FAX	: インターネットファクス		

10.5 ネットワークファクス受信エラーレポート

設定メニューの管理者設定で、NW ファクス受信エラーレポートが ON に設定されている場合に、インターネットファクス / SIP ファクス /IP アドレスファクスを正常に受信できなかったときにプリントされます。

設定メニューの［レポート出力設定］－［NW ファクス受信エラーレポート］で ON/OFF を設定することができます。詳しくは p. 9-53 をごらんください。

インターネットファクス受信エラーレポート

P 1
2006/06/30 17:25
Serial No.
TC: 5960

宛先	受信日時	要因	件名
mfp02@example.com	06/30 17:25	ファイルエラー	test

- 宛先 : 次のいずれかが記載されます。
  - 短縮宛先に名前が登録されている場合は名前
  - 相手の宛先
- 受信日時 :　受信した日時が記載されます。
- 要因 :　受信エラーの原因が記載されます。
- 件名 / ファイル名 :
  インターネットファクスの場合は、件名が記載されます。SIP ファクス /IP アドレスファクスの場合は、ファイル名が記載されます。

10

10.6 インターネットファクス受信レポート（MDN）

送信側からの開封確認に応答した場合に、メッセージが自動的にプリントされます。

設定メニューの［レポート出力設定］－［MDN メッセージ］で印刷するかどうかを設定することができます。詳しくは p. 9-53 をごらんください。

MDNﾒｯｾｰｼﾞ印刷

P 1
2006/05/30 19:22
Serial No.
TC: 4246

送信元 mfp01@example.com
件名 Your message was processed successfully.(MDN)
受信日時 2006/05/30 19:22:07

- 送信元：　送信元のメールアドレスが記載されます。
- 件名：　メールの受信状況が記載されます。
- 受信日時：　MDN を応答した日時が記載されます。

インターネットファクス受信レポート（MDN）は相手機により内容が異なります。

10.7 インターネットファクス受信レポート（DSN）

受信側のメールサーバにメールが到着した時に送信側に送られる DSN を受信すると、メッセージが自動的にプリントされます。

設定メニューの［レポート出力設定］－［DSN メッセージ］で印刷するかどうかを設定することができます。詳しくは p. 9-53 をごらんください。

DSNﾒｯｾｰｼﾞ印刷

P 1
2006/06/07 16:13
Serial No.
TC: 4380

送信元
件名 Your message was delivered successfully. (DSN)
受信日時 2006/06/07 16:13:20

- 送信元： 送信元のメールアドレスが記載されます。
- 件名： メールの配信状況が記載されます。
- 受信日時： DSN を応答した日時が記載されます。

インターネットファクス受信レポート（DSN）の内容はメールサーバにより異なります。

10

10.8 正常受信メール本文

受信したメールの本文を自動的にプリントするかどうかを設定します。

設定メニューの［レポート出力設定］－［正常受信メール本文］で印刷するかどうかを設定することができます。詳しくは p. 9-53 をごらんください。

正常受信ﾒｰﾙ本文印刷

P 1
2006/05/30 19:26
Serial No.
TC: 4249

件名	Message from MFP
受信日時	2006/05/30 19:26:25
送信元	mfp01@example.com
ﾌｧｲﾙ名	FMFP06053019250.tif
本文	Image data has been attached to this mail.

- 件名：　メールの配信状況が記載されます。
- 受信日時：　メールを受信した日時が記載されます。
- 送信元：　送信元のメールアドレスが記載されます。
- ファイル名：添付ファイルのファイル名が記載されます。
- 本文：　受信したメールの本文が記載されます。

正常受信メール本文の内容は受信するメールにより異なります。

10.9 短縮宛先リスト

登録した短縮宛先のリストをプリントできます。
次の操作でプリントできます。

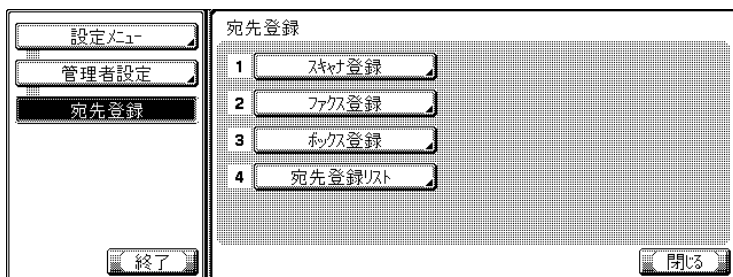
1 【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者のパスワードを入力し、［OK］を押します。

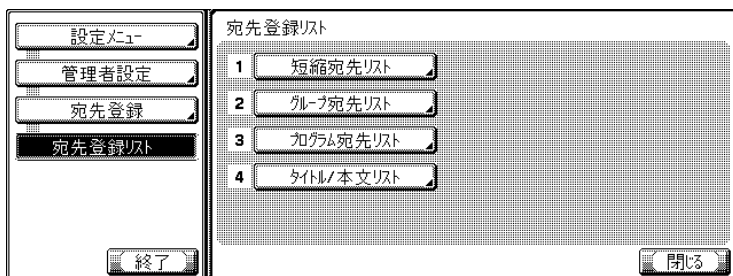
詳しく説明します

管理者のパスワードは、［セキュリティ設定］で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

4 ［宛先登録］を押します。

5 ［宛先登録リスト］を押します。

詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［宛先登録］の場合は、テンキーで 3 を入力します。

6 ［短縮宛先リスト］を押します。

［登録 No.］にプリントしたい登録 No. の範囲をテンキーで入力し、［宛先種別］でプリントしたい宛先種別を選択します。

8 ［プリント］を押します。

9 プリントに使用するトレイを選択します。

10 【スタート】を押します。

短縮宛先リストがプリントされます。

詳しく説明します

- 100 件まで指定できます。
- ◀を押すとカーソルが左側に、▶を押すとカーソルが右側に移動します。
- 入力した文字を削除する場合は、操作パネルの【クリア】を押します。

詳しく説明します

レポート / リスト用の用紙トレイに必要な用紙がセットされていない場合は、【スタート】キー LED が赤色に点灯し、【スタート】を受け付けません。

[短縮宛先リストの見かた]

短縮宛先リスト

P 1
2005/12/07 19:45
Serial No.
TC: 602

G3FAX

No.	検索文字	名称	電話番号	回線設定
0001	TUV	user01	0123456789	-
0002	TUV	user02	1234567890	-
0003	TUV	user03	2345678901	-
0004	TUV	user04	3456789012	*
0005	TUV	user05	4567890123	-

No.: 短縮番号です。

名称 : 登録されている宛先名です。

電話番号 : 登録されているファクス番号です。

回線設定 : 回線設定が指定されている場合に * が記載されます。

10.10グループ宛先リスト

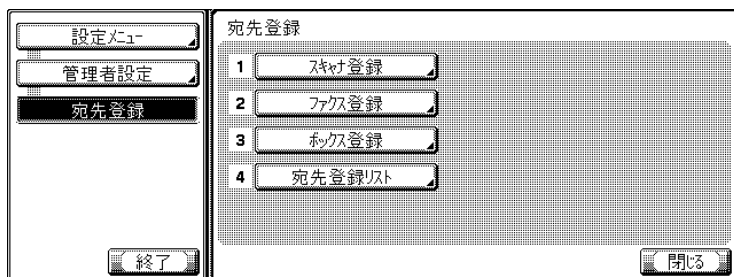
登録したグループ宛先のリストをプリントできます。
次の操作でプリントできます。

1 【設定メニュー / カウンタ】を押します。

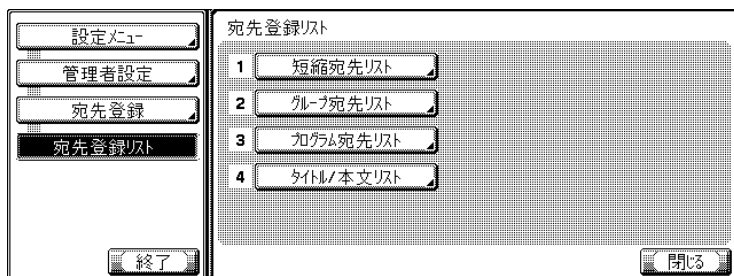
2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者のパスワードを入力し、［OK］を押します。

管理者のパスワードは、［セキュリティ設定］で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

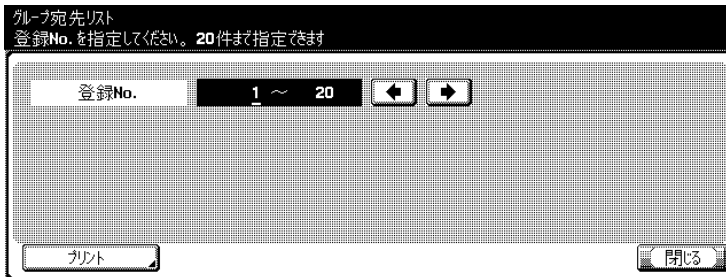
4 ［宛先登録］を押します。

5 ［宛先登録リスト］を押します。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［宛先登録］の場合は、テンキーで「3」を入力します。

6 ［グループ宛先リスト］を押します。

［登録 No.］にプリントしたい登録 No. の範囲をテンキーで入力します。

- 20 件まで指定できます。
- ◀を押すとカーソルが左側に、▶を押すとカーソルが右側に移動します。
- 入力した文字を削除する場合は、操作パネルの【クリア】を押します。

8 ［プリント］を押します。

レポート / リスト用の用紙トレイに必要な用紙がセットされていない場合は、【スタート】キー LED が赤色に点灯し、【スタート】を受け付けません。

9 プリントに使用するトレイを選択します。

10 【スタート】を押します。

グループ宛先リストがプリントされます。

［グループ宛先リストの見かた］

グループ宛先リスト

P 1
2005/12/07 19:46
Serial No.
TC: 603

No.	名称	短縮宛先No.	登録件数
001	group1	0001 0002 0003	3
002	group2	0004 0005	2

No.: グループ番号です。

名称 : 登録されているグループ名です。

短縮宛先 No.: グループに登録されている短縮 No. です。

登録件数 : グループに登録されている短縮 No. の数です。

10.11プログラム宛先リスト

登録したプログラム宛先のリストをプリントできます。
次の操作でプリントできます。

1 【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者のパスワードを入力し、［OK］を押します。

管理者のパスワードは、［セキュリティ設定］で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

4 ［宛先登録］を押します。

5 ［宛先登録リスト］を押します。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［宛先登録］の場合は、テンキーで「3」を入力します。

6 ［プログラム宛先リスト］を押します。

10

[登録 No.]にプリントしたい登録 No. の範囲をテンキーで入力し、[短縮 No.]、[グループ No.］または［ダイレクト入力］のいずれかを選択します。

8 ［プリント］を押します。

9 プリントに使用するトレイを選択します。

10 【スタート】を押します。

プログラム宛先リストがプリントされます。

- ［ダイレクト入力］を選択した場合は、宛先種別を指定します。
- 50 件まで指定できます。
- ⬅を押すとカーソルが左側に、➡を押すとカーソルが右側に移動します。
- 入力した文字を削除する場合は、操作パネルの【クリア】を押します。

レポート / リスト用の用紙トレイに必要な用紙がセットされていない場合は、【スタート】キー LED が赤色に点灯し、【スタート】を受け付けません。

［プログラム宛先リストの見かた］

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ宛先ﾘｽﾄ

P 1
2006/05/30 19:49
Serial No.
TC: 4252

短縮宛先

No.	名称	短縮宛先
001	pro1	I0001

項目	設定
ﾎﾟｰﾄ番号	MH
圧縮形式	A4
ﾍﾟｰｼﾞ設定	ﾏﾙﾁﾍﾟｰｼﾞ
片面/両面	片面
原稿画質	文字
下地調整	0
両面とじ方向	自動
読込みｻｲｽﾞ	自動
混載原稿	指定無し
連続読み設定	指定無し
上枠消し量	なし
下枠消し量	なし
右枠消し量	なし
左枠消し量	なし

No.: プログラム宛先番号です。

名称：プログラム登録名です。

短縮宛先：短縮宛先 No. です。

10.12タイトル / 本文リスト

登録した E-Mail のタイトル / 本文のリストをプリントできます。
次の操作でプリントできます。

1 【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者のパスワードを入力し、［OK］を押します。

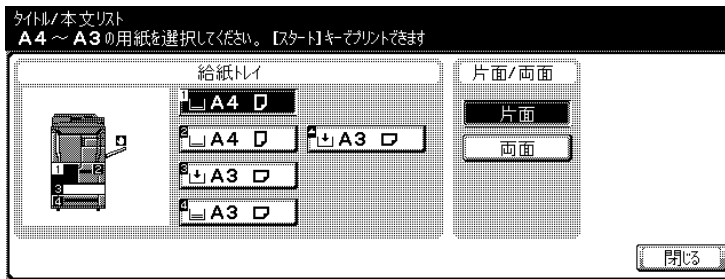
管理者のパスワードは、［セキュリティ設定］で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

4 ［宛先登録］を押します。

5 ［宛先登録リスト］を押します。

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［宛先登録］の場合は、テンキーで「3」を入力します。

6 ［タイトル / 本文リスト］を押します。

7 プリントに使用するトレイを選択します。

8 【スタート】を押します。

E-Mail のタイトル / 本文のリストがプリントされます。

レポート / リスト用の用紙トレイに必要な用紙がセットされていない場合は、【スタート】キー LED が赤色に点灯し、【スタート】を受け付けません。

10

［タイトル / 本文リストの見かた］

タイトル・本文リスト

P 1
2005/12/08 18:24
Serial No.
TC: 656

タイトルリスト

No.	タイトル
01	Message from MFP

本文リスト

No.	本文
01	Image data has been attached to this e-mail.

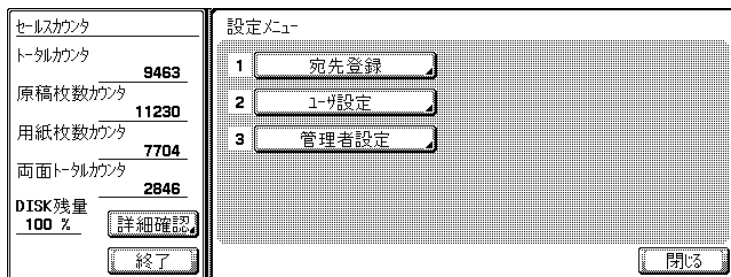
No.：E-Mail のタイトルの登録番号です。
タイトル：登録してあるタイトルです。

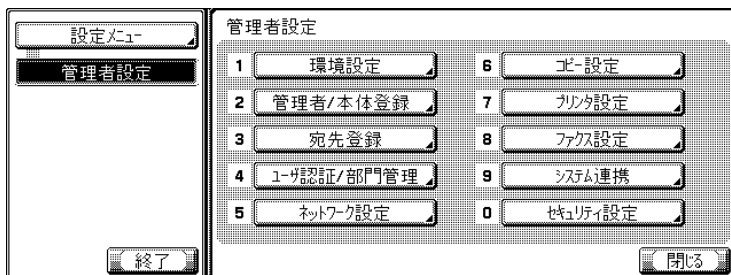
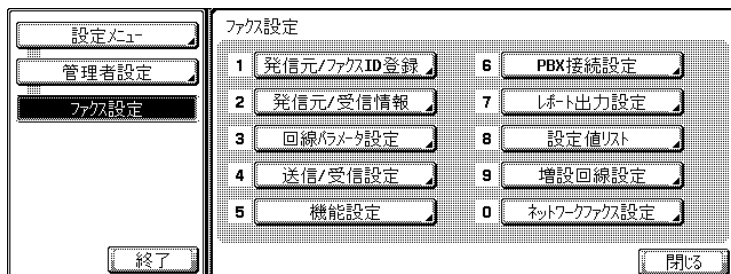
No.：E-Mail の本文の登録番号です。
本文：登録してある本文です。

10.13設定値リスト

本機で設定したファクスの設定値リストをプリントできます。

1 操作パネルの【設定メニュー / カウンタ】を押し、設定メニュー画面を表示します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者のパスワードを入力し、［OK］を押します。

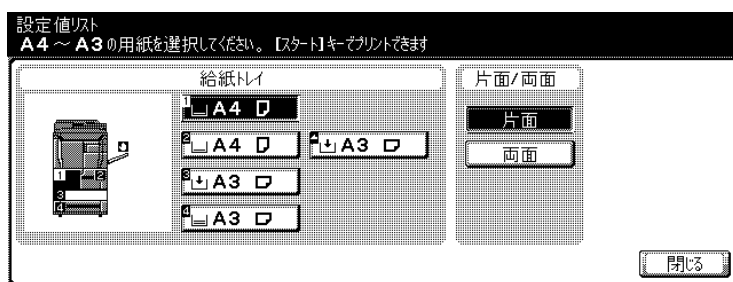
4 ［ファクス設定］を押します。

5 ［設定値リスト］を押します。

詳しく説明します

管理者のパスワードは、［セキュリティ設定］で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

詳しく説明します

オプションの設定によって表示されない項目があります。

10

プリントに使用するトレイを選択します。

【スタート】を押します。

本機の設定がプリントされます。

レポート / リスト用の用紙トレイに必要な用紙がセットされていない場合は、【スタート】キー LED が赤色に点灯し、【スタート】を受け付けません。

［FAX 設定リストの見かた］

FAX設定リスト

P 1
2006/05/30 18:12
Serial No.
TC: 4218

FAX初期画面設定

項目	設定	項目	設定
基本画面表示	プログラム	短縮/アドレス初期表示	常用
オートリセットまでの時間	1 分	受信中画面表示	ON
FAX初期画面設定	OFF	送信中画面表示	ON

発信元/ファクスID登録

項目	設定
発信元名	
ファクスID	987654321

発信元/受信情報

項目	設定
発信元情報	原稿外
受信情報	原稿外

回線パラメータ設定

項目	設定	項目	設定
ダイアル方式	20pps	受信方式	自動受信
着信回数設定	2 回	オートリダイアル回数	3 回
オートリダイアル間隔	3 分	TEL/FAX自動切換え	OFF
外部TEL呼出モニター音	OFF	外部TEL呼出時間	20 sec
留守電接続設定	OFF	回線モニター音	OFF
回線モニター音レベル	16		

送信/受信設定

項目	設定	項目	設定
ボックス番号エラー動作	プリント	受信プリント出力設定	一括プリント
パワーセーブ移行-ファクス	通常	インチ系用紙優先選択	OFF
記録用紙サイズ	A4	縮小率	96
ページ分割記録	OFF	給紙トレイ固定	自動
ポーリング送信後文書	削除する	受信原稿両面プリント	OFF
着信拒否時の動作	回線断	受信プリント部数	1

レポート出力設定

項目	設定	項目	設定
通信管理レポート	100通信毎	送信結果レポート	エラー時のみ
順次通信結果レポート	ON	予約レポート	ON
親展受信レポート	ON	掲示板送信結果レポート	ON
送信結果レポート画面	表示しない	同報結果レポート出力	全宛先一括
中継結果レポート	ON	中継依頼受付レポート	ON
PC-FAX送信エラーレポート	OFF		
NWファクス受信エラーレポート	OFF	正常受信メール本文	印刷する
MDNメッセージ印刷	印刷する	DSNメッセージ印刷	印刷しない

PBX接続モード設定

項目	設定
PBX接続機能	OFF

項目：設定メニューの項目です。

設定：設定状態です。

10

FAXｾｯﾃｲﾘｽﾄ

P 2
2006/05/30 18:12
Serial No.
TC: 4218

機能ON/OFF設定

項目	設定	項目	設定
ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ機能 宛先確認表示機能	OFF OFF	Fｺｰﾄﾞ送信機能	ON

転送ﾌｧｸｽ設定

項目	設定
転送条件 転送先	OFF 未登録

ﾀﾞｲｱﾙｲﾝ設定

項目	設定	項目	設定
ﾀﾞｲｱﾙｲﾝ設定 電話番号	OFF 未登録	FAX番号 PC-FAX番号	未登録 未登録

ﾘﾓｰﾄ受信設定

項目	設定
ﾘﾓｰﾄ受信設定	OFF

強制ﾒﾓﾘ受信設定

項目	設定
強制ﾒﾓﾘ受信設定	OFF

閉域受信設定

項目	設定
閉域受信設定	OFF

PC-FAX受信設定

項目	設定	項目	設定
PC-FAX受信設定 受信後ﾌﾟﾘﾝﾄ	OFF ***	受信出力先 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞﾁｪｯｸ	*** ***

再送信設定

項目	設定	項目	設定
再送信設定	OFF	ﾌｧｲﾙ保持時間	12時間

FAXｾｯﾃｲﾘｽﾄ 設定ﾘｽﾄ

P 3
2006/05/30 18:12
Serial No.
TC: 4218

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄﾌｧｸｽ自機受信能力設定

項目	設定
圧縮形式 用紙ｻｲｽﾞ 解像度	MH/MR/MMR A4/B4/A3 普通/精細/高精細

I-Fax拡張設定

項目	設定	項目	設定
MDN要求 MDN応答	送出する 応答する	DSN要求 MDN/DSN応答監視時間	送出する 24

ﾀｲﾄﾙﾘｽﾄ

No.	ﾀｲﾄﾙ
01	Message from MFP

本文ﾘｽﾄ

No.	本文
01	Image data has been attached to this mail.

第 11 章
PageScope Web Connection

ネットワークファクス機能に関する PageScope Web Connection の使い方を説明しています。

11.1 PageScope Web Connection で設定できる項目

PageScope Web Connection は、デバイスに内蔵されている HTTP サーバが提供するデバイス管理ユーティリティです。

ネットワークに接続しているコンピュータで Web ブラウザを起動し、PageScope Web Connection へアクセスして本機の設定を変更できます。

設定を変更するのに、手元のコンピュータ上から手軽に操作できるので便利です。

本章では、ネットワークファクス機能（インターネットファクス、SIP ファクス、IP アドレスファクス）に関する PageScope Web Connection の使い方として、以下の設定方法を説明しています。

- E-Mail 設定（管理者モード）
- ネットワークファクス設定（管理者モード）
- 短縮宛先
- グループ宛先
- プログラム宛先
- 強制メモリ受信ボックス

■ 動作環境

ネットワークコンピュータ側のアプリケーション	Ethernet（TCP/IP）
	対応 Web ブラウザ： Microsoft Internet Explorer Ver.6 以降推奨（*）（JavaScript 有効、Cookie 有効）、 Netscape Navigator Ver.7.02 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） Adobe® Flash® Player（Ver.7.0 以降のプラグイン必須） （*）Internet Explorer Ver.5.5 を使用している場合、Microsoft XML parser MSXML3.X のインストールが必要です。

ひとこと

Windows NT 4.0、Mac OS 8/9 は、Flash Player 8 以降をサポートしていません。
これらの OS をお使いの場合は、Adobe サイトより Flash Player 7 をダウンロードしてご使用いただくか、または PageScope Web Connection の表示形式で HTML を選択してください。

■ アクセス方法

PageScope Web Connection へは、Web ブラウザを使用して直接アクセスできます。

Web ブラウザを起動します。

URL フィールドに、本機の IP アドレスを入力して［Enter］を押します。

- http:// ＜本機の IP アドレス＞ /
  （例）本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合
  http://192.168.1.20/

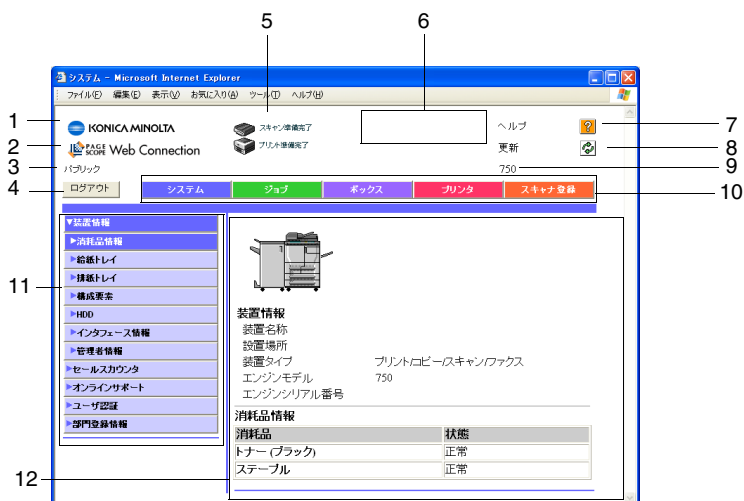
ひとこと

ユーザ認証機能が有効の場合は、ユーザ名とパスワードを入力する必要があります。

11

■ 画面構成

PageScope Web Connection へのアクセス直後に表示される画面は「ユーザモード」と呼ばれる画面でパブリックユーザとしてログインした状態で表示されます。

PageScope Web Connection の画面は、以下のように構成されています。

No.	項目	説明
1	KONICA MINOLTA ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、以下のサイト（KONICA MINOLTA のサイト）へジャンプします。 http://konicaminolta.com
2	PageScope WebConnection ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、PageScope Web Connection のバージョンが表示されます
3	ログインモード	現在ログインしているモード（パブリック、登録ユーザ、部門名、ボックス管理者、管理者）が表示されます。
4	［ログアウト］	現在のモードからログアウトするときにクリックします。
5	ステータス表示	本機プリンタ部分と本機スキャナ部分の状態が、アイコンで表示されます。
6	メッセージ表示	本機にエラーが発生している場合に、トラブル／エラーの状態とエラーの内容が表示されます。

No.	項目	説明
7	ヘルプ	「オンラインマニュアルホームページ」で設定したホームページへジャンプします。設定方法については、「IC-202 ユーザーズガイド」をごらんください。
8	表示の更新	クリックすると画面の表示を更新します。
9	機種名	現在アクセスしている機種名が表示されます。
10	タブ	表示する項目のカテゴリを選択します。ユーザモードでは、以下のタブが表示されます。 • システム • ジョブ • ボックス • プリンタ • スキャナ登録
11	メニュー	選択されたタブにおける情報および設定が表示されます。タブの選択により、ここに表示されるメニューが異なります。
12	情報、設定の表示	メニューで選択されている項目の内容が表示されます。

■ Web ブラウザのキャッシュ機能について

Web ブラウザにキャッシュ機能があるため、PageScope Web Connection で画面を表示しても最新の情報が表示されない場合があります。また、キャッシュ機能を使用したときに問題が起こる場合があります。

PageScope Web Connection 使用時は、Web ブラウザでキャッシュ機能を無効にしてください。

原則

キャッシュ機能を有効にしたまま使用すると、管理者モードでタイムアウトになったあと、再度アクセスしてもタイムアウト表示になることがあります。この場合でも、本機の操作パネルがロックされ操作できなくなるため、電源の再投入が必要になります。このような問題を避けるために、キャッシュ機能を無効にしてください。

Internet Explorer の場合

1. ［ツール］メニューから［インターネットオプション］を選択します。
2. ［全般］タブで［インターネット一時ファイル］の［設定］をクリックします。
3. ［ページを表示するごとに確認する］を選択し、［OK］をクリックします。

Netscape Navigator の場合

1. ［編集］メニューから［設定］を選択します。
2. 左側の［カテゴリ］で［詳細］－［キャッシュ］を選択します。
3. ［キャッシュにあるページとネットワーク上のページの比較：］で［ページにアクセスするたび］を選択します。

ひとこと

Web ブラウザのバージョンによっては、メニューや項目名が異なる場合があります。詳しくは Web ブラウザのヘルプをごらんください。

11.2 ログインとログアウト

PageScope Web Connection にアクセスすると、パブリックユーザとしてログインした画面が表示されます。ユーザ認証を行っているときに登録ユーザとしてログインするときや、管理者としてログインするためにはいったんログアウトし、ログインしなおす必要があります。

■ ログアウトの方法

画面左上の［ログアウト］をクリックします。

❍ ログアウトすると、ログイン画面が表示されます。

ひとこと

- ログインした状態で操作が一定時間行われないと、自動的にタイムアウトとなり操作ができなくなります。
- ユーザモードおよび管理者モードのタイムアウトの時間は管理者モードの［認証設定］－［自動ログアウト時間］で設定できます。

■ ユーザモードへのログイン（パブリックユーザ）

ユーザモードには、登録ユーザとしてログインする方法とパブリックユーザとしてログインする方法があります。ユーザ認証を行っていない場合はパブリックユーザとしてログインしてください。

ログイン画面で［パブリックユーザ］を選択します。

❍ 必要に応じて表示言語をドロップダウンリストから選択します。

2

［ログイン］をクリックします。

ユーザモードの画面に切り替わります。

■ ユーザモードへのログイン（登録ユーザ／ボックス管理者）

ユーザモードには、登録ユーザとしてログインする方法とパブリックユーザとしてログインする方法があります。ユーザ認証を行っていて特定のユーザ名でログインする手順を説明します。

1

ログイン画面でユーザ名とパスワードを入力します。

- ❍ ボックス管理者としてログインする場合は、ID に［boxadmin］、パスワードに［ボックス管理者設定］で設定したパスワードを入力します。
- ❍ 必要に応じて表示言語をドロップダウンリストから選択します。

2

［ログイン］をクリックします。

ユーザモードの画面に切り替わります。

ひとこと

［ユーザ名］の右側のアイコンをクリックすると一覧からユーザ名を選択できます。

参照

ボックス管理者設定について、くわしくは「ユーザーズガイド（ボックス機能編）」をごらんください。

11

■ 管理者モードへのログイン

システムやネットワークなどの設定を行うには、管理者モードにログインします。

ログイン画面で［管理者］を選択します。

❍ 必要に応じて表示言語をドロップダウンリストから選択します。

2

本機の管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

管理者モードの画面に切り替わります。

ひとこと

- 管理者モードにログインしているときは、本機の操作パネルがロックされ、操作できなくなります。
- 本機の状態によっては、管理者モードにログインできない場合があります。

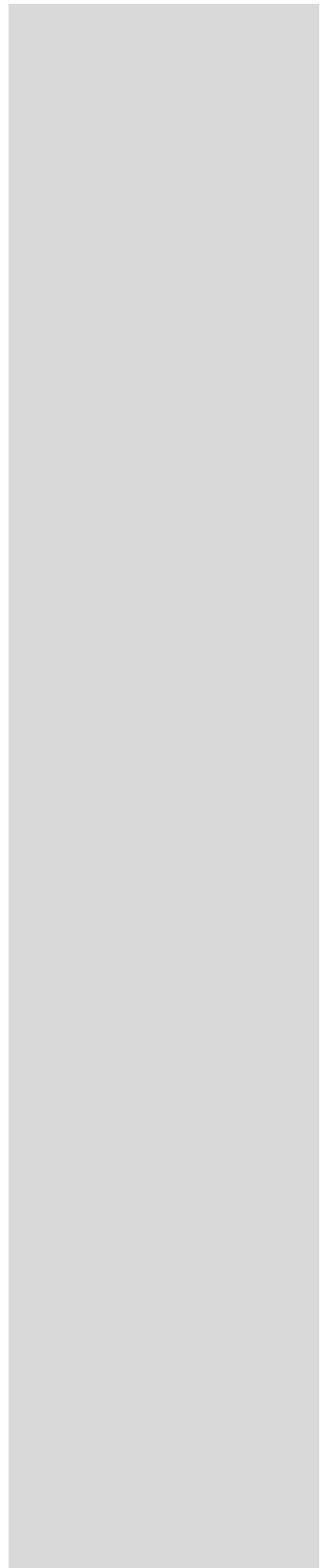
11.3 E-Mail 受信（POP）

E-mail 受信（POP）を設定します。

1. p. 11-10 を参照して管理者モードでログインします。
2. ［ネットワーク］をクリックし、［E-Mail 設定］を選択します。
3. ［E-Mail 受信（POP）］を選択します。
4. 必要な項目を設定します。

E-Mail 受信設定	E-mail 受信を使用するかどうかを設定します。
POP サーバアドレス	POP サーバの IP アドレスまたはホスト名を設定します。
ログイン名	POP サーバへのログイン名を設定します。
パスワード	POP サーバへログインするためのパスワード設定します。
APOP 認証	APOP 認証をするかどうか設定します。
接続タイムアウト	接続タイムアウトを設定します。
ポート番号	E-Mail 受信時のポート番号を設定します。
SSL/TLS 使用	インターネットファクスでは使用しません。
自動到着チェック	メールの自動取得を行うかどうかを設定します。自動取得を行う場合は、ポーリング間隔を指定します。

11

［確定］をクリックし、［OK］をクリックします。
設定が保存されます。

11.4 E-Mail 送信（SMTP）

E-mail 送信（SMTP）を設定します。

1. p. 11-10 を参照して管理者モードでログインします。
2. ［ネットワーク］をクリックし、［E-Mail 設定］を選択します。
3. ［E-Mail 送信（SMTP)］を選択します。
4. 必要な項目を設定します。

E-Mail 送信設定	E-mail 送信を使用するかどうかを設定します。
スキャン送信	インターネットファクスでは使用しません。
状態通知機能	インターネットファクスでは使用しません。
トータルカウンタ通知機能	インターネットファクスでは使用しません。
SMTP サーバアドレス	SMTP サーバの IP アドレスまたはホスト名を設定します。
ポート番号	E-Mail 送信のポート番号を設定します。
SSL/TLS 使用	インターネットファクスでは使用しません。
接続タイムアウト	接続タイムアウトを設定します。

11

最大メールサイズ	送信メールのサイズを制限するかどうかを設定します。
サーバ容量	送信メールのサイズを制限する場合は、SMTP サーバが受信できるメールの最大容量を設定します。
管理者アドレス	管理者のアドレスを入力します。
装置アドレス	本機のアドレスを入力します。
POP Before SMTP	POP Before SMTP を使用するかどうか設定します。
POP Before SMTP 時間	POP Before SMTP を使用する場合、POP Before SMTP 時間を設定します。
SMTP 認証	SMTP 認証をするかどうかを設定します。
ユーザ ID	ユーザ ID を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。
ドメイン名	ドメイン名を入力します。
バイナリ分割	インターネットファクスでは使用しません。
分割メールサイズ	インターネットファクスでは使用しません。

［確定］をクリックし、［OK］をクリックします。

設定が保存されます。

11.5 I-Fax 拡張設定

インターネットファクスの拡張機能を設定します。

1 p. 11-10 を参照して管理者モードでログインします。

2 ［ネットワーク］をクリックし、［E-Mail 設定］を選択します。

3 ［I-Fax 拡張機能］を選択します。

4 必要な項目を設定します。

MDN 要求	MDN 要求をするかどうかを設定します。
DSN 要求	DSN 要求をするかどうかを設定します。
MDN 応答	MDN 応答をするかどうかを設定します。
MDN/DSN 応答監視時間	MDN/DSN の応答監視をするかどうかを設定します。
最高解像度	最高解像度を設定します。

5 ［確定］をクリックし、［OK］をクリックします。

設定が保存されます。

11

11.6 SMTP 送信設定

SIP ファクス /IP アドレスファクスの SMTP 送信に関する項目を設定します。

1. p. 11-10 を参照して管理者モードでログインします。

2. ［ネットワーク］をクリックし、［ネットワークファクス設定］を選択します。

3. ［SMTP 送信設定］を選択します。

4. 必要な項目を設定します。

ポート番号	SMTP 送信時のポート番号を設定します。
接続タイムアウト	SMTP 送信時の接続タイムアウト時間を設定します。

5. ［確定］をクリックし、［OK］をクリックします。

   設定が保存されます。

ポート番号の設定は、IP アドレスファクス使用時のみ有効です。SIP ファクス使用時は、この設定は無効で、ポート番号は 25 固定です。

11.7 SMTP 受信設定

SIP ファクス /IP アドレスファクスの SMTP 受信に関する項目を設定します。

1. p. 11-10 を参照して管理者モードでログインします。

2. ［ネットワーク］をクリックし、［ネットワークファクス設定］を選択します。

3. ［SMTP 受信設定］を選択します。

4. 必要な項目を設定します。

SMTP 受信機能	SMTP 受信機能を、使用するかどうかを設定します。
ポート番号	SMTP 受信時のポート番号を設定します。
接続タイムアウト	SMTP 受信時の接続タイムアウト時間を設定します。

5. ［確定］をクリックし、［OK］をクリックします。
   設定が保存されます。

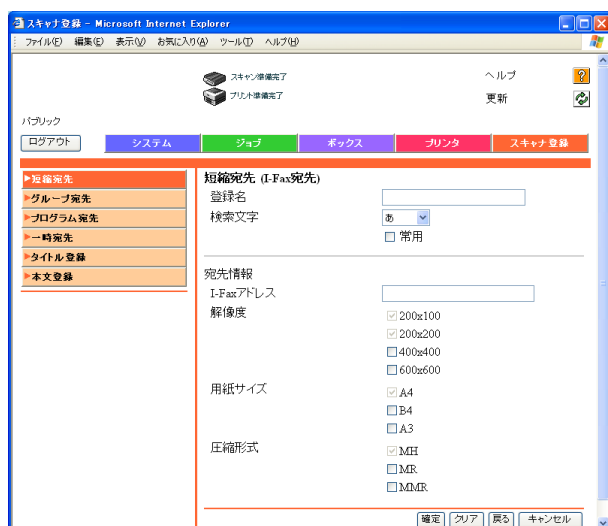
11

11.8 短縮宛先

ファクス / スキャン機能での送付先を登録します。
ユーザによる登録が有効になっている場合のみ表示されます。

■ 短縮宛先の登録（インターネットファクス）

1. ［スキャナ登録］タブをクリックし、［短縮宛先］を選択します。
2. ［新規登録］をクリックします。
3. ［I-Fax 宛先］を選択し、［次へ］をクリックします。

4. 各項目を入力し、［確定］をクリックします。

短縮宛先（インターネットファクス）	
登録名	宛先の名称を入力します。
検索文字	宛先検索用の検索文字を選択します。
I-Fax アドレス	送信先メールアドレスを入力します。
解像度	相手機の受信能力にあわせて、解像度を設定します。
用紙サイズ	相手機の受信能力にあわせて、用紙サイズを設定します。
圧縮形式	相手機の受信能力にあわせて、圧縮形式を設定します。

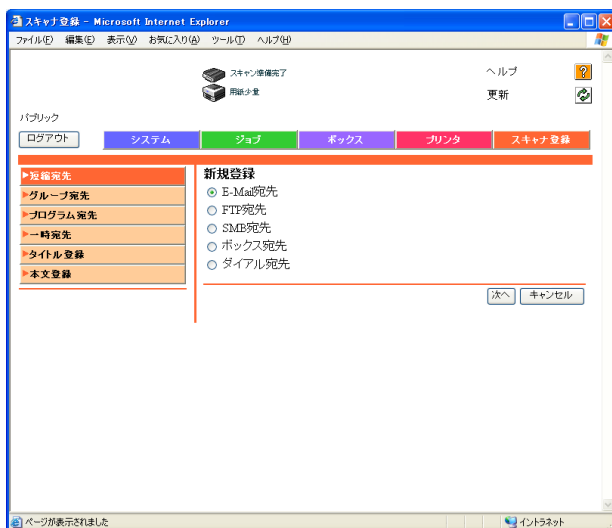
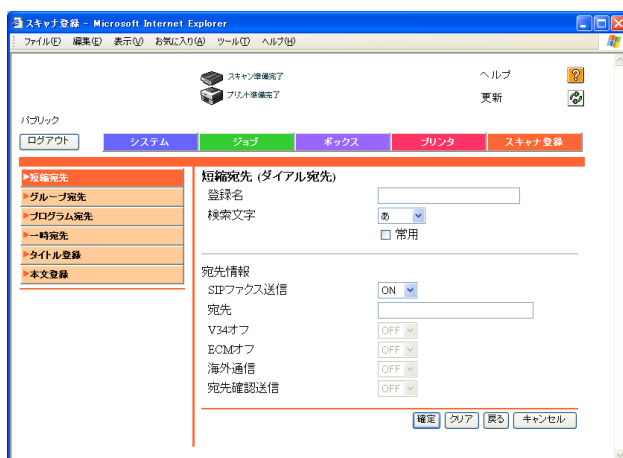
［OK］をクリックします。

短縮宛先が登録されます。

■ 短縮宛先の登録（SIP ファクス）

1 ［スキャナ登録］タブをクリックし、［短縮宛先］を選択します。

2 ［新規登録］をクリックします。

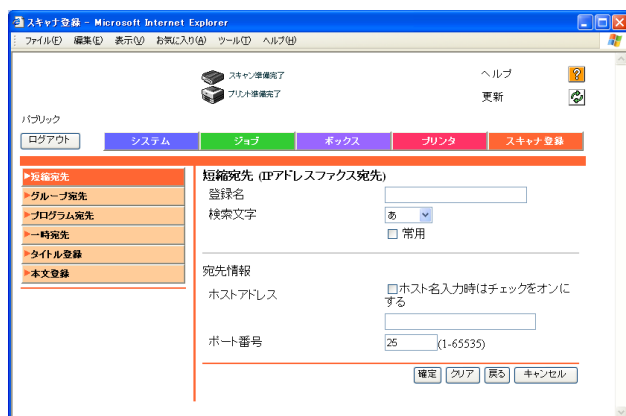
3 ［ダイアル宛先］を選択し、［次へ］をクリックします。

4 各項目を入力し、［確定］をクリックします。

短縮宛先（SIP ファクス）	
登録名	宛先の名称を入力します。
検索文字	宛先検索用の検索文字を選択します。
SIP ファクス送信	SIP ファクスを ON に設定します。
宛先	SIP ファクス番号を入力します。
V34 オフ	SIP ファクスでは使用できません。
ECM オフ	SIP ファクスでは使用できません。
海外通信	SIP ファクスでは使用できません。
宛先確認送信	SIP ファクスでは使用できません。

［OK］をクリックします。

短縮宛先が登録されます。

■ 短縮宛先の登録（IP アドレスファクス）

1. ［スキャナ登録］タブをクリックし、［短縮宛先］を選択します。
2. ［新規登録］をクリックします。
3. ［IP アドレスファクス宛先］を選択し、［次へ］をクリックします。

4. 各項目を入力し、［確定］をクリックします。

短縮宛先（IP アドレスファクス）	
登録名	宛先の名称を入力します。
検索文字	宛先検索用の検索文字を選択します。
ホストアドレス	相手先の IP アドレスまたはホスト名を入力します。ホスト名を入力する場合は、[ホスト名入力時はチェックをオンにする] をチェックします。
ポート番号	ポート番号を設定します。

［OK］をクリックします。

短縮宛先が登録されます。

11

11.9 グループ宛先

短縮に登録されている宛先の中から、複数の送信先をグループとして登録できます。

■ グループ宛先の登録（インターネットファクス）

1. ［スキャナ登録］タブをクリックし、［グループ宛先］を選択します。

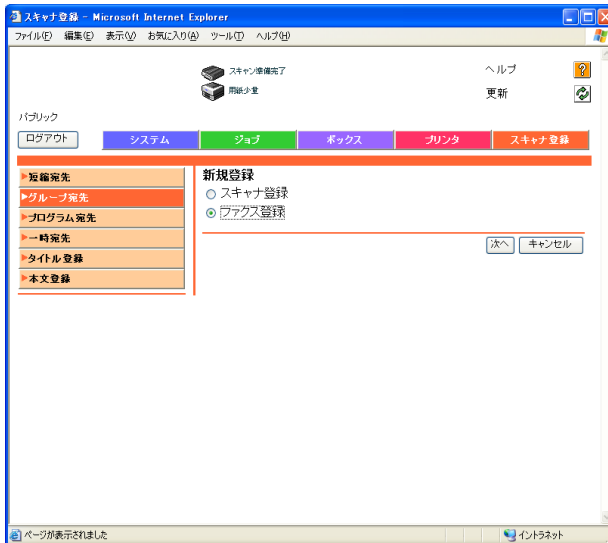
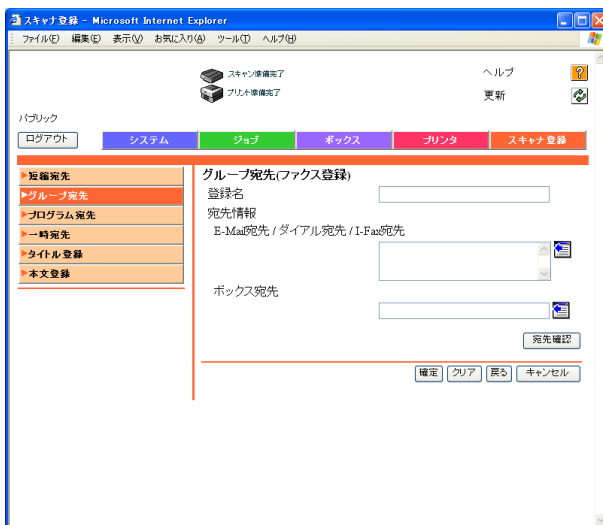
2. ［新規登録］をクリックします。

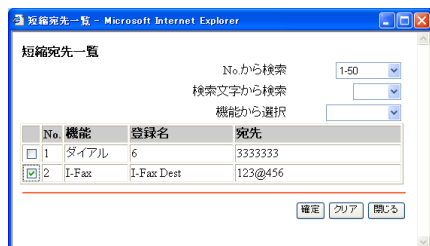
3

［ファクス登録］を選択し、［次へ］をクリックします。

4

登録名を入力します。

5

をクリックします。

6 表示される宛先一覧画面で、グループに登録したい I-Fax 宛先を選択し、［確定］をクリックします。

7 ［確定］をクリックします。

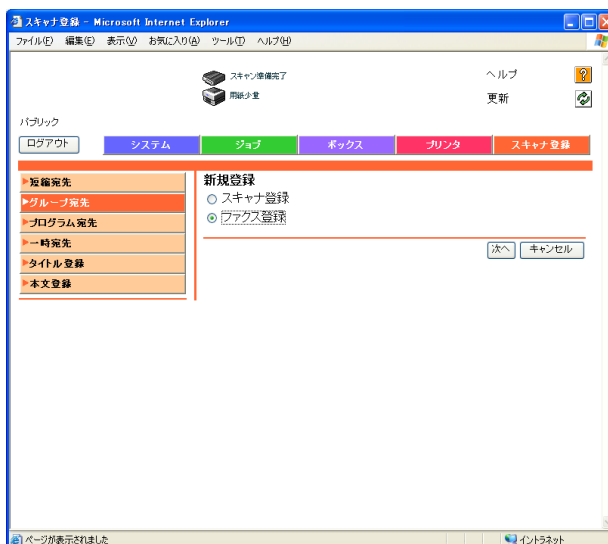
8 ［OK］をクリックします。

グループ宛先が登録されます。

■ グループ宛先の登録（SIP ファクス）

1 ［スキャナ登録］タブをクリックし、［グループ宛先］を選択します。

2 ［新規登録］をクリックします。

3 ［ファクス登録］を選択し、［次へ］をクリックします。

4 登録名を入力します。

5 をクリックします。

6 表示される宛先一覧画面で、グループに登録したい SIP ファクス宛先を選択し、[確定] をクリックします。

7 [確定] をクリックします。

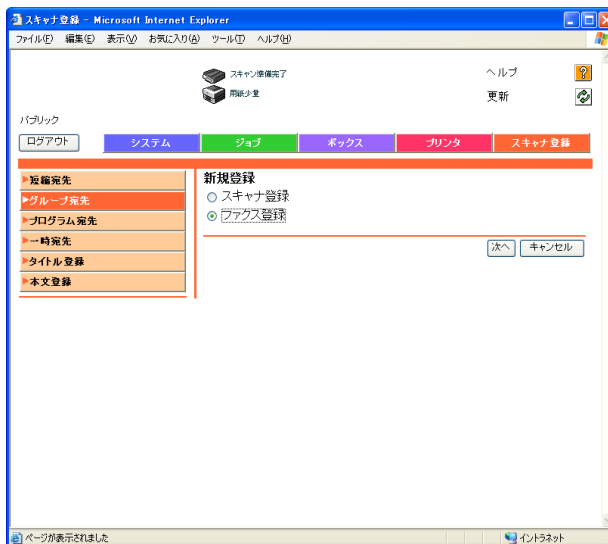
8 [OK] をクリックします。

グループ宛先が登録されます。

■ グループ宛先の登録（IP アドレスファクス）

1. ［スキャナ登録］タブをクリックし、［グループ宛先］を選択します。

2. ［新規登録］をクリックします。

3. ［ファクス登録］を選択し、［次へ］をクリックします。

4 登録名を入力します。

5 をクリックします。

6 表示される宛先一覧画面で、グループに登録したい IP アドレスファクス宛先を選択し、［確定］をクリックします。

7 ［確定］をクリックします。

8 ［OK］をクリックします。

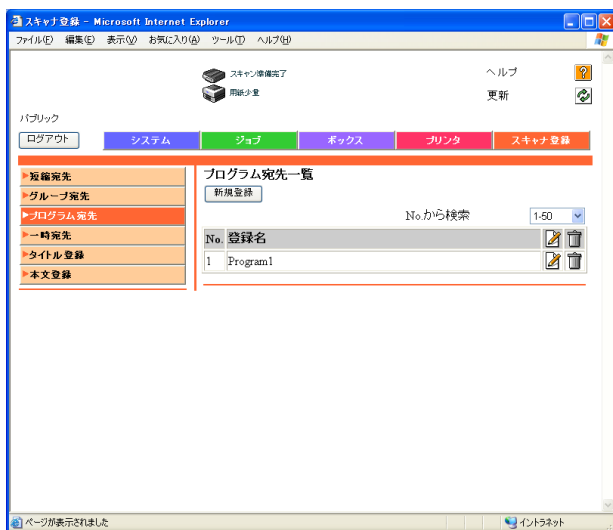
グループ宛先が登録されます。

11.10プログラム宛先

送信条件と宛先をプログラムとして登録できます。

■ プログラム宛先の登録（インターネットファクス）

1 ［スキャナ登録］タブをクリックし、［プログラム宛先］を選択します。

2 ［新規登録］をクリックします。

3 ［I-Fax 宛先］を選択し、［次へ］をクリックします。

各項目を入力し、［確定］をクリックします。

プログラム登録（インターネットファクス）	
登録 No.	登録番号を入力します。
登録名	登録名を入力します。
宛先表から選択	をクリックして一覧画面から宛先を選択すると、短縮番号が表示されます。
ダイレクト入力	E-Mail アドレスを直接入力します。
E-Mail アドレス	ダイレクト入力を選択した場合、E-Mail アドレスを入力します。

解像度	相手先受信能力にあわせて、解像度を選択します。
用紙サイズ	相手先受信能力にあわせて、用紙サイズを選択します。
圧縮形式	相手先受信能力にあわせて、用紙サイズを選択します。
解像度	読込解像度を選択します。
ファイル形式	ファイル形式を選択します。(インターネットファクスでは、TIFF 以外は選択できません)
タイトル	タイトルを指定します。[指定なし] を選択した場合は、デフォルトのタイトルを使用します。
本文	本文を指定します。[指定なし] を選択した場合は、デフォルトの本文を使用します。
片面 / 両面	片面/両面/表紙 + 両面を選択します。
原稿画質	文字、写真など原稿の画質を選択します。
連続読み設定	する / しないを選択します。
濃度	濃度を選択します。
下地調整	下地の濃さを調整します。
読込みサイズ	原稿サイズ(自動、定形サイズ)を選択し、通紙方向を指定します。
E-Mail 通知	インターネットファクスでは使用できません。
宛先	インターネットファクスでは使用できません。
ファイル名	インターネットファクスでは使用できません。
両面とじ方向	原稿とじ位置を選択します。
特殊原稿	混載原稿 /Z 折れ原稿 / 長尺原稿を指定できます。
枠消し	原稿の周囲の消去幅を指定します。
スタンプ	済みスタンプの ON/OFF を設定します。

ひとこと

タイトル、本文の内容は をクリックすると確認できます。

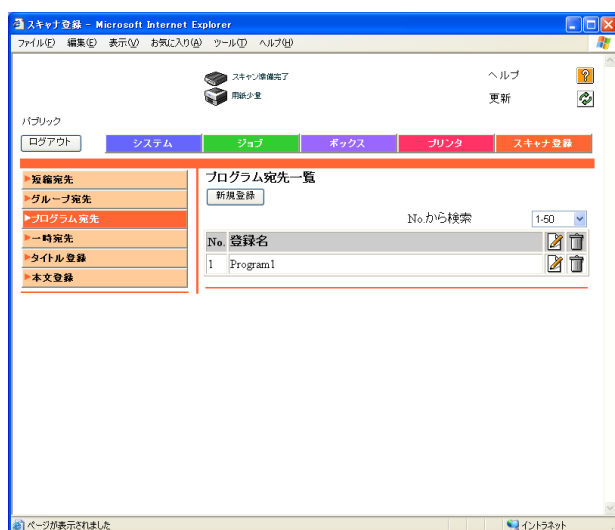
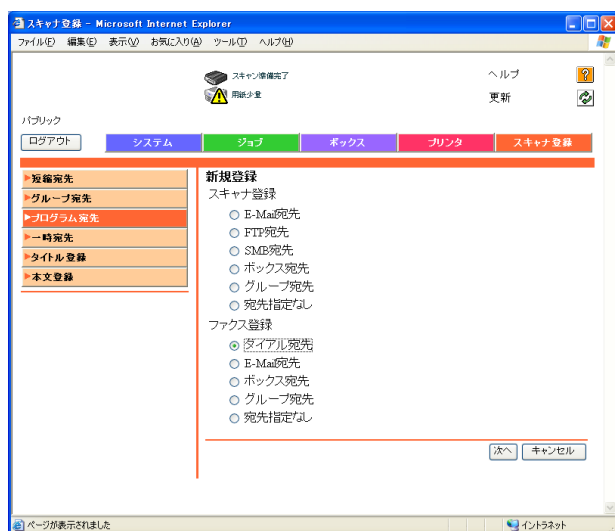
5

[OK] をクリックします。

プログラム宛先が登録されます。

■ プログラム宛先の登録（SIP ファクス）

1. ［スキャナ登録］タブをクリックし、［プログラム宛先］を選択します。

2. ［新規登録］をクリックします。

3. ［ダイアル宛先］を選択し、［次へ］をクリックします。

各項目を入力し、［確定］をクリックします。

プログラム登録（SIP ファクス）	
登録 No.	登録番号を入力します。
登録名	登録名を入力します。
SIP ファクス送信	SIP ファクス送信をするかどうかを設定します。
宛先表から選択	をクリックして一覧画面から宛先を選択すると、短縮番号が表示されます。
ダイレクト入力	宛先を直接入力します。

11

宛先	ダイレクト入力を選択した場合、SIP ファクス番号を入力します。
V34 オフ	SIP ファクスでは使用できません。
ECM オフ	SIP ファクスでは使用できません。
海外通信	SIP ファクスでは使用できません。
宛先確認送信	SIP ファクスでは使用できません。
解像度	解像度を選択します。
ファイル形式	ファイル形式を選択します。
片面 / 両面	片面／両面／表紙 + 両面を選択します。
原稿画質	文字、写真など原稿の画質を選択します。
連続読み設定	する / しないを選択します。
濃度	濃度を選択します。
下地調整	下地の濃さを調整します。
読込みサイズ	原稿サイズ（自動、定形サイズ）を選択し、通紙方向を指定します。
タイマー通信	SIP ファクスでは使用できません。
パスワード送信	SIP ファクスでは使用できません。
F コード	SIP ファクスでは使用できません。
両面とじ方向	原稿とじ位置を選択します。
特殊原稿	混載原稿 /Z 折れ原稿 / 長尺原稿を指定できます。
枠消し	原稿の周囲の消去幅を指定します。
スタンプ	済みスタンプの ON/OFF を設定します。

［OK］をクリックします。

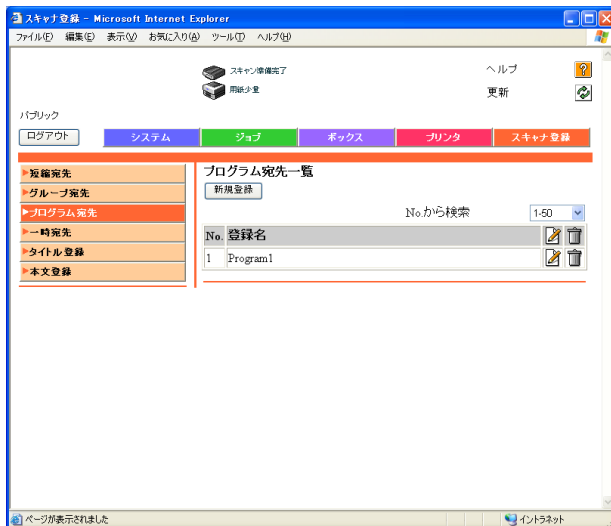
プログラム宛先が登録されます。

■ プログラム宛先の登録（IP アドレスファクス）

1. ［スキャナ登録］タブをクリックし、［プログラム宛先］を選択します。

2. ［新規登録］をクリックします。

3. ［IP アドレスファクス宛先］を選択し、［次へ］をクリックします。

11

各項目を入力し、［確定］をクリックします。

プログラム登録（IP アドレスファクス）	
登録 No.	登録番号を入力します。
登録名	登録名を入力します。
宛先表から選択	をクリックして一覧画面から宛先を選択すると、短縮番号が表示されます。
ダイレクト入力	IP アドレスまたはホスト名を直接入力します。

ホストアドレス	ダイレクト入力を選択した場合、相手先の IP アドレスまたはホスト名を入力します。ホスト名を入力する場合は、[ホスト名入力時はチェックをオンにする] をチェックします。
ポート番号	ポート番号を設定します。
解像度	解像度を選択します。
ファイル形式	ファイル形式を選択します。
タイトル	IP アドレスファクスでは使用できません。
本文	IP アドレスファクスでは使用できません。
片面 / 両面	片面／両面／表紙 + 両面を選択します。
原稿画質	文字、写真など原稿の画質を選択します。
連続読み設定	する / しないを選択します。
濃度	濃度を選択します。
下地調整	下地の濃さを調整します。
読込みサイズ	原稿サイズ（自動、定形サイズ）を選択し、通紙方向を指定します。
E-Mail 通知	IP アドレスファクスでは使用できません。
宛先	IP アドレスファクスでは使用できません。
ファイル名	IP アドレスファクスでは使用できません。
パスワード送信	IP アドレスファクスでは使用できません。
F コード	IP アドレスファクスでは使用できません。
両面とじ方向	原稿とじ位置を選択します。
特殊原稿	混載原稿 /Z 折れ原稿 / 長尺原稿を指定できます。
枠消し	原稿の周囲の消去幅を指定します。
スタンプ	済みスタンプの ON/OFF を設定します。

5 [OK] をクリックします。

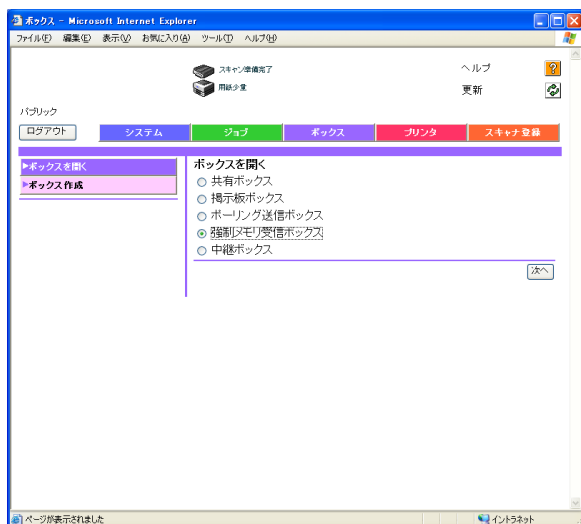
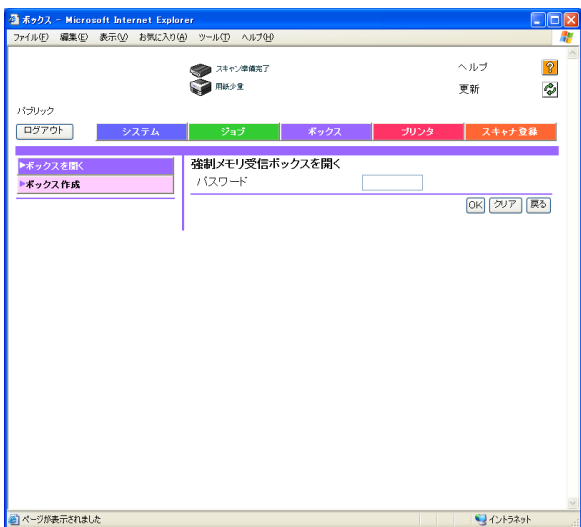
プログラム宛先が登録されます。

11.11強制メモリ受信ボックス

PageScope Web Connection から強制メモリ受信ボックスを開いて内容を確認することができます。

■ 強制メモリ受信ボックスを開く

1. ［ボックス］タブをクリックして［ボックスを開く］を選択します。

2. ［強制メモリ受信ボックス］を選択して［次へ］をクリックします。

3. 必要に応じてパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

ボックスの内容を確認します。

	ドキュメントの詳細情報を表示します。
	ドキュメントをダウンロードします。
	ドキュメントを削除します。

第 12 章
付録

困ったときの対処、文字の入力方法について説明します。またファクスで使用する用語の解説を記載していますので、必要に応じてお読みください。

12.1 メモリへの蓄積枚数について

本機にはオプションで 40 GB のハードディスクが用意されています。

オプションのハードディスクをインストールすると、ファクス画像をハードディスク中の約 30GB の領域に保存することができます。

ハードディスクには、各機能（コピー、プリント、スキャン、ボックス、ファクス）から保存 / 受信した原稿を A4 判 700 文字程度の当社標準原稿を、9000 枚程度蓄積することができます。

ハードディスクが装着されていない場合、画像メモリ容量は 32MB で、蓄積枚数は約 2000 枚です。

オプションのハードディスクについては、サービス管理店にお問い合わせください。

原稿の読み込み中に、メモリがいっぱいになりオーバーフローすることがあります。この場合は、途中まで読み込んだ原稿を送信するか、もう一度最初から送信するかを選択することができます。

12.2 文字を入力するには

短縮宛先やプログラム宛先の登録などで名前を入力するときに表示される、文字入力画面の操作について手順を説明します。
数字を入力するときはテンキーから直接入力もできます。

文字入力画面には以下のような種類があります。

例

パスワード入力画面：

不定形紙名称変更画面：

ここでは、文字入力の方法を不定形紙名称変更画面で説明します。

ひとこと

ユーザ名、プログラム名、BOX 名、グループ名、アドレス帳に「¥」や「～」を使用した場合、PC から参照すると文字化けをおこすことがあります。

■ 英数字を入力する

1 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- ❍ 大文字、記号を入力する場合は、[Shift] を押します。
- ❍ 全角の英数字を入力する場合は [全角] を押します。
- ❍ 数字はテンキーからでも入力できます。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。

■ ひらがなを入力する

1 [日本語] を押します。

2 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- ❍ 濁音（「がぎぐげご」など）や半濁音（「ぱぴぷぺぽ」)、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力する場合は、[他かな] を押します。

3 [無変換] を押します。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。

詳しく説明します

- 入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【クリア】を押します。

ひとこと

[キャンセル] を押すと設定は変更されません。

詳しく説明します

- 入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【クリア】を押します。

ひとこと

[キャンセル] を押すと設定は変更されません。

■ カタカナを入力する

1. ［日本語］を押します。
2. ［カタカナ］を押します。
3. 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。
   - ❍ 濁音（「ガギグゲゴ」など）や半濁音（「パピプペポ」）、拗音（「キャキュキョ」など）を入力する場合は、［他カナ］を押します。
   - ❍ 半角のカタカナを入力する場合は［半角］を押します。

   文字ボックスに入力した文字が表示されます。

- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【クリア】を押します。

ひとこと

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

■ 漢字を入力する

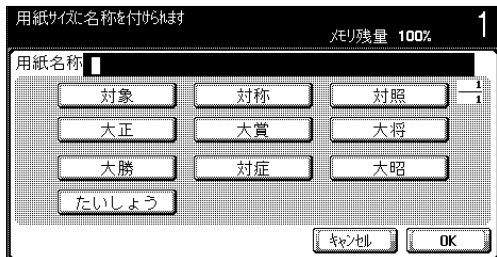
1 ［日本語］を押します。

2 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

❍ 濁音（「がぎぐげご」など）や半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力する場合は、［他かな］を押します。

3 ［変換］を押します。

変換候補選択画面が表示されます。

4 表示された候補の中から入力したい漢字のキーを押します。

- 熟語単位で変換できます。
- 入力した文字が、変換の対象になります。
- 変換を中止するときは、［キャンセル］を押します。

5 ［OK］を押します。

文字ボックスに確定した文字が表示されます。

候補が 12 個以上ある場合に、［↑］または［↓］のキーが現れます。

- ［↑］を押すと前候補が表示されます。
- ［↓］を押すと次候補が表示されます。

- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【クリア】を押します。

ひとこと

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

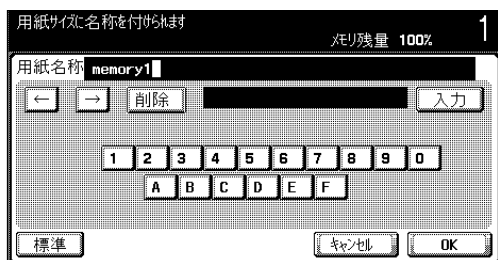
■ 文字コードで入力する

16 進数（1 ～ 0、A ～ F の組合わせ）の文字コードで、文字や記号を入力します。

1 ［文字コード入力］を押します。

12

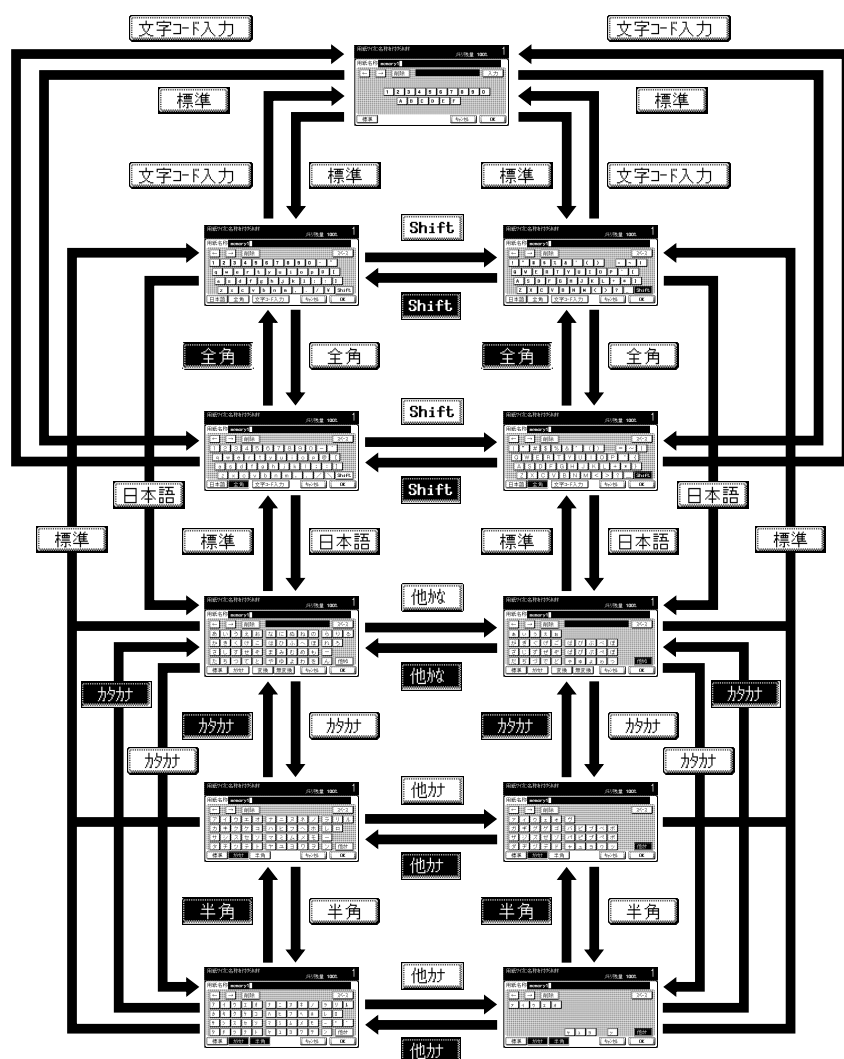
2

表示されているキーボードから、文字コードを入力し、［入力］を押します。

文字コードにしたがって、文字ボックスに文字が表示されます。

- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【クリア】を押します。
- 設定する項目によって、使用できない文字コードがあります。

ひとこと

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

入力画面

<table>
<tr><td>ひらがな</td><td>あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもやゆよらりるれろわをんがぎぐげござじずぜぞだぢづでどばびぶべぼぱぴぷぺぽ

ぁぃぅぇぉゃゅょゎっ　ー</td></tr>
<tr><td>カタカナ（全角）</td><td>アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲンガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボパピプペポヴ

ァィゥェォャュョヮッ　ー</td></tr>
<tr><td>カタカナ（半角）</td><td>ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺｻｼｽｾｿﾀﾁﾂﾃﾄﾅﾆﾇﾈﾉﾊﾋﾌﾍﾎﾏﾐﾑﾒﾓﾔﾕﾖﾗﾘﾙﾚﾛﾜｦﾝ

ｧｨｩｪｫｬｭｮｯ ｰﾟﾞ</td></tr>
<tr><td>英数字／記号
（全角）</td><td>ＡＢＣＤＥＦＧＨＩＪＫＬＭＮＯＰＱＲＳＴＵＶＷＸＹＺａｂｃｄｅｆｇｈｉｊｋｌｍｎｏｐｑｒｓｔｕｖｗｘｙｚ
（スペース）！”＃＄％＆’（）＋，－．／＼：；＜＝＞？＠［］＾＿‘｛｜｝～＊０１２３４５６７８９</td></tr>
<tr><td>英数字／記号</td><td>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz
(ｽﾍﾟｰｽ)!"#$%&'()+,-./\:;<=>?@[]^_`{|}~*0123456789</td></tr>
</table>

12.4 インターネットファクス用語集

インターネットファクス通信で一般に使われる用語について説明します。

	用語	説明
記号・アルファベット	DSN	DSN =Delivery Status Notifications の略。受信側のメールサーバにメールが到着した時に送信側に送られる配送状態通知メッセージのことです。
	MDN	MDN=Message Disposition Notifications の略。 送信側が開封確認を要求している場合に送られる開封確認メッセージのことです。
	POP3	Post Office Protocol - Version 3 の略。 電子メールの送受信で、一般的に使われている通信プロトコル（通信の約束ごと）のひとつです。メールボックスの認証、メールのダウンロードや一覧情報の確認、メールの削除などの機能をもちます。
	SMTP	Simple Mail Transfer Protocol の略。 電子メールの送受信で、一般的に使われている通信プロトコル（通信の約束ごと）のひとつです。
あ行	インターネットファクス	イントラネット（企業内ネットワーク）やインターネットを経由し、読み込んだ原稿をインターネットファクスやコンピューターとのあいだで電子メールの添付文書（TIFF 形式）として送受信する通信形態のことです。

12

12.5 ファクス用語集

ファクス通信で一般に使われる用語について説明します。
本機で搭載されていない機能の用語についても説明されている場合があります。

	用語	説明
記号・アルファベット	2in1	2 枚の原稿を 1 枚の用紙に集約し、見開きの状態にして送信する機能のことです。
	bps	bit per second の略です。 データ伝送の単位で、1 秒間に送るデータ量を表します。
	ECM	（Error Correction Mode: 誤り訂正方式） G3 通信の誤り再送方式です。相手に正しくデータが送られたかどうかを確認し、正しく送られていない場合はそのデータを再送しながら通信します。相手側が ECM モードをもっていれば、本機では ECM オフを指定しない限り、ECM で通信されます。
	F コード	ITU-T（国際電気通信連合）で標準化された T.30 ＊のサブアドレスの使い方について、日本通信機工業会が定めた通信手順のことです。F コード機能をもつファクス間の通信では、メーカーが異なる場合も、F コードを使用したいろいろな機能を利用することができます。本機では、掲示板、中継依頼、親展通信、パスワード送信で F コードを使っています。（＊通信の規格のことです）
	G3	ITU-T（国際電気通信連合）が標準化したファクスの通信モードのひとつです。通信モードには、G3、G4 があります。G3 は、現在最も多く使われているモードです。
	PB	プッシュ回線のことです。
	Super G3（SG3）	ITU-T　V.34 に準拠した G3 通信のモードです。通常の G3 通信より高速（最高 33,400bps）で通信することができます。
	V34	スーパー G3 のファクス通信時に使われる通信方式のことです。相手機又は自社機が内線交換機経由で回線に接続されているなどの場合、回線の状況によっては、スーパー G3 モードで通信できない場合があります。このような場合は、V34 オフを選択することによって、スーパー G3 モードをオフにして送信することをおすすめします。
	Z 折れ原稿	折り目がついているために原稿サイズを正しく検知できない原稿の場合に、いったん原稿サイズを確定してから原稿を読み込み送信する機能のことです。この機能は、原稿を ADF で読み込む場合にだけ使用できます。
あ行	一括送信	宛先、送信時刻、メモリ送信や解像度などの送信条件が同じ文書がメモリに蓄積されると、指定した時刻にひとつの文書として自動的に送信されることです。

	用語	説明
か行	海外通信	国外の相手と通信をすることです。海外通信モードに設定すると、ゆっくりとしたスピードで通信します。国内でも、通信状態の悪いところへ通信するときは、海外通信モードに設定しておくと、確実に通信することができます。
	解像度	原稿を読み取る細かさのことです。解像度の数値が大きいほど、画質は細かくなり、送信にかかる時間（電送時間）が長くかかります。必要に応じた解像度を選択してください。
	加入回線	日本電信電話株式会社（NTT）グループが提供している公衆電話回線のことです。
	強制メモリ受信	受信した文書をメモリに蓄積し、必要に応じてプリントする機能のことです。
	クイックメモリ送信	原稿を 1 ページ読み取ると同時にファクス送信を始める方法のことです。原稿の枚数が多い場合にもメモリオーバーすることなく送信する機能のことです。
	グループ	複数の短縮 No. をグループ化しておくことです。同じ宛先に順次同報や順次ポーリング受信をすることが多い場合に便利です。
	掲示板	閲覧したい文書を掲示したり、ポーリング送信したい文書を蓄積しておく機能のことです。
	原稿枚数	原稿の総ページ数を付けて送信することで、クイックメモリ送信の場合に使います。原稿が正しく届いたかを確認するのに便利です（メモリ送信の場合は、自動的に総ページ数が付けられます）。
	混載原稿	サイズの異なる原稿をセットし、それぞれの原稿サイズを検知して送信する機能のことです。
さ行	再送信	メモリに保存されている送信できなかった文書を選択して、同じ宛先か、または宛先を変更してもう一度送信する機能のことです。
	下地調整	原稿の背景色の濃さを調整して送信する機能のことです。
	主走査	原稿を読み取るときの横方向のことです。
	初期値	工場出荷時に、あらかじめ設定されている値のことをいいます。初期値のいくつかは、設定メニューで変更することができます。お使いの状況に合わせ、よく使う値を初期値に設定しておくと便利です。
	親展通信	特定の人にだけ見せたい原稿を送受信する機能です。親展送信した原稿は、受信側の親展ボックスに蓄積され、受信時には印刷されません。親展ボックスの暗証番号を入力するなどの操作をすると、受信した文書が印刷されます。
	手動送信	相手側の状態を確認しながら送信する場合の操作です。
	送信予約	送信中やプリント中に、次の送信を予約する機能のことです。

12

	用語	説明
た行	ダイアル方式	PB（プッシュ式回線）、10PPS（ダイアル式回線 / 10PPS）、20PPS（ダイアル式回線 /20PPS）の 3 種類があります。
	代行蓄積文書	用紙切れなどで、受信文書をプリントできない状態のとき、自動的に受信文書をメモリに蓄積する機能です。用紙補給などの処置をすると、代行蓄積文書が印刷されます。
	代行転送	操作パネルの設定確認ボタンを使い、出力待ちの受信原稿を手動で転送する機能のことです。代行転送は、ファクス画面が表示されているとき、紙なし、または紙づまりで動作が中断しているときに設定します。
	タイマー通信	指定した時刻に通信する機能のことです。深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。
	短縮 / アドレス	頻繁に送信する宛先のファクス番号を登録しておく機能のひとつです。短縮 / アドレスを登録するときに、宛先名と検索文字を登録しておくと、短縮選択の検索文字を利用して宛先を指定することもできます。
	着信	ファクスに電話がかかってきた状態をさします。
	着信拒否番号	着信拒否したい相手の電話番号を予め登録し、迷惑ファクスを受信しないようにする機能のことです。登録されている電話番号と着信電話番号が一致した場合、［着信拒否］とメッセージを表示し受信されません。
	中継配信局	中継指示局からの中継依頼を受けて、中継配信先に同報をするファクスのことです。本機には、中継配信の機能はありません。
	中継指示局	中継同報の指示をするファクスのことです。
	中継同報	他のファクス（中継配信局と呼びます）を経由して、同報送信をする機能のことです。同報先が遠隔地に複数ある場合、同報先のひとつを中継局に設定し、中継局から同報送信をすることで、全体の通信料金を削減することができます。
	長尺原稿	A3 サイズ（420 mm）より長い、長尺サイズの原稿を送信する機能のことです。長い原稿を送信したい場合は、長尺原稿を指定することにより送信することができます。
	電送時間	ファクスを送る時間のことです。解像度が高く、用紙サイズが大きいほど、電送時間が長くかかります。
	伝送速度	ファクスではモデムの伝送速度のことをいいます。本機では、33,600bps などの高速な伝送速度で通信できます。海外通信モードに設定しておくと、7,200bps や 4,800bps のノイズに強い伝送速度で通信します。
	同報	ひとつの原稿を 1 回の操作で複数の相手に送信することです。

	用語	説明
は行	パスワード送信	パスワードをつけて送信する機能のことです。相手機が閉域受信を設定している場合、送信側からは閉域受信パスワードと同じパスワードを送る必要があります。
	発信	電話をかけることをさします。ファクスでは、原稿を送信したり、ポーリングをするためにダイアルすることです。
	発信元名	漢字、英数カナで表す自局の名称のことです。受信側で、送信原稿の先端に発信元印字の一部として記録されます。
	発信元記録	ファクス送信をしたときに、受信側の記録紙の先端に印刷される、送信日時、名前、電話番号、ページ番号などのことです。
	ファクス ID	ファクス通信をするときに、お互いを確認するための識別コードのことです。通常は、ファクスの電話番号を登録します。
	副走査	原稿を読み取るときの縦方向のことです。
	プログラム	頻繁に送受信する宛先のファクス番号や、定型で使う送信の操作手順などを登録しておく機能のことです。プログラム選択のプログラムキーを押すだけで、宛先を指定したり、自動的に機能を設定して通信することができます。
	ポーズ	間隔をあけてダイアルすることです。本機ではポーズを 1 回押すと、1 秒の間隔をあけることができます。
	ポーリング	相手側にセットされているか、またはメモリに蓄積されている原稿を、受信側からの操作で送信させる機能です。
ま行	メモリ	データをいったん蓄積しておく場所です。通信の指示をするときや、代行文書を蓄積するときに使われます。
	メモリオーバーフロー	読み込んだ原稿や代行文書を蓄積しているときに、ファクス画像メモリが一杯になった状態をいいます。
	メモリ送信	原稿を読み取り、メモリに蓄積してからファクス送信を始める方法のことです。メモリ送信を使用すると、発信元記録のページ数に自動的に総ページ数が付けられ、送信結果レポートに送信文書の 1 ページ目の画像が記載されます。ただし、原稿のページ数が多い場合や、原稿の画質が細密なために情報量が多い場合はメモリオーバーすることがあります。
や行	読み込み	原稿を光学的に走査して、画像データに変換して取り込むことです。
	読込みサイズ	原稿を読み込むサイズを指定して送信する機能のことです。受信側の用紙幅が送信原稿より小さい場合、通常は縮小して記録されます。縮小したくない場合に、原稿サイズを受信側の用紙サイズに指定すると、原寸で送信することができます。

	用語	説明
ら行	リダイアル	相手機が、話中のときなどに、時間をあけて再びダイアルをすることです。 手動でリダイアルする方法と、自動的にリダイアルされる自動リダイアルがあります。
	両面とじ方向	ADF を使って両面原稿を送信する場合に原稿の綴じ位置を設定する機能です。両面原稿の綴じ位置には、原稿の上側（または下側）に綴じ位置がある上下綴じと、原稿の左（または右側）に綴じ位置がある左右綴じがあり、原稿の裏面の上下関係が異なります。
	リモート受信	外部電話からリモート受信番号を使って受信の指示をする機能のことです。
わ行	枠消し	ADF を開いたまま原稿を読み取ったり、冊子になっている原稿を読み込むときなどに、上下左右に写る黒い影を消して送信する機能のことです。

第 13 章
索引

13.1 使用別索引

■ あ行

■ か行

■ さ行

■ た行

■ な行

■ は行

■ ま行

■ ら行

13.2 項目別索引

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名 ____________________

電話番号 ____________________

担当部門 ____________________

担当者 ____________________

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL ____________________

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。　**http://bj.konicaminolta.jp**

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号　フリーダイヤル：0120-510010（受付時間 ： 土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）